三瀦町公民館新築工事

竣工図

（建築）

平成５年３月

発注者　三　瀦　町
設計監理　株式会社　三島設計事務所
請負者　株式会社　松村組福岡支店

■ 図面リスト

< 共通 >

0001	特記仕様書 (工事概要・総則)	
0002	〃 (建築工事) 1	
0003	〃 (〃) 2	

< 意匠 >

1001	附近見取図・敷地面積	1：2500 1：500
1002	配置図	1：200
1003	面積表	1：200
1004	外部・内部仕上表	
1005	内部仕上表	
1006	1階 平面図	1：100
1007	2階 平面図	1：100
1008	3階 平面図・屋根伏図	1：100
1009	西南 立面図	1：100
1010	東北 立面図	1：100
1011	断面図	1：100
1012	矩計詳細図 1	1：30
1013	矩計詳細図 2	1：30
1014	1・2階風除室，階段1 平面詳細図	1：50
1015	1階談話室，ロビー，便所 平面詳細図	1：50
1016	談話室，倉庫1，化粧室，便所G·L 展開図	1：50
1017	1階印刷コーナー，倉庫，事務室，階段2 平面詳細図 断面詳細図	1：50
1018	事務室，倉庫，湯沸室，印刷コーナー，職員便所 展開図	1：50
1019	1階図書室，ポンプ室，図書事務，倉庫 平面詳細図	1：50
1020	図書室，図書事務，倉庫 展開図	1：50
1021	テラス 平面詳細図	1：50
1022	2階多目的ホール，ステージ，控室，ホワイエ，収納庫 平面詳細図	1：50
1023	2階便所 平面 平面詳細図 化粧室，障害者用便所 展開図	1：50
1024	3階 平面詳細図	1：50
1025	2階多目的ホール，ステージ 展開図	1：50
1026	多目的ホール，控室，収納庫，物入 展開図	1：50
1027	3階調整室，空調機械室 展開図	1：50
1028	エントランスホール，ホワイエ，廊下 展開図	1：50
1029	エントランスホール，ホワイエ 展開図 屋外階段 詳細図	1：50
1030	1階 天井伏図	1：100
1031	2・3階 天井伏図	1：100
1032	1階 家具，建具配置図	1：100
1033	2階 家具，建具配置図	1：100
1034	3階 建具配置図	1：100
1035	建具表 1	
1036	建具表 2	
1037	家具リスト1	1：30
1038	家具リスト2	1：30
1039	家具リスト3	1：30
1040	家具リスト4	1：30
1041	サイン工事リスト1	
1042	サイン工事リスト2	
1043	既存 事務室 詳細図 展開図	1：30 1：50
1044	改修 渡り廊下 詳細図 展示室 展開図	1：30 1：50
1045	外構 配置図	1：200
1046	屋外通路 平面詳細図 側立面図	1：30 1：50

< 構造 >

2001	一般適用事項 1	
2002	〃 2	
2003	杭伏図	1：100
2004	基礎，1階 伏図	1：100
2005	2階 伏図	1：100
2006	3・R階 伏図	1：100
2007	1階 柱断面リスト	1：100 1：40
2008	2・3階 柱断面リスト	1：100 1：40
2009	梁，スラブ，壁リスト	
2010	鉄骨小屋伏図 詳細図	1：100 1：30
2011	基礎，雑 配筋図	1：40
2012	雑 配筋図	1：40
2013	架構 配筋図	1：40
2014	地質調査配置図，柱伏図	

< 電気設備 >

3001	特記仕様書	
3002	設備機材等指定表（電気の部）	
3003	凡例	
3004	配置図	1：200
3005	受変電設備系統図，キュービクル姿図	
3006	自家発電設備図	
3007	幹線設備系統図	
3008	分電盤結線図	
3009	1階 平面図（幹線，動力，コンセント設備）	1：100
3010	2階 平面図（幹線，動力，コンセント設備）	1：100
3011	3階 平面図（幹線，動力，コンセント設備）	1：100
3012	照明器具姿図	
3013	1階 平面図（電灯設備）	1：100
3014	2階 平面図（電灯設備）	1：100
3015	3階 平面図（電灯設備）	1：100 1：50
3016	電話，放送，テレビ共同受信，インターホン設備系統図	
3017	放送設備姿図	
3018	1階 平面図（通信設備）	1：100
3019	2階 平面図（通信設備）	1：100
3020	3階 平面図（通信設備）	1：100
3021	系統図，凡例	
3022	1階 平面図（防災設備）	1：100
3023	2階 平面図（防災設備）	1：100
3024	3階 平面図（防災設備）	1：100
3025	吊物装置，幕設備断面図	1：30
3026	幕設備，ぶどう棚 平面図	1：30
3027	吊物装置配線図	1：100
3028	調光装置 設備図 姿図	
3029	舞台照明 設備図	1：100
3030	舞台音響 設備図	
3031	舞台音響 システム系統図	
3032	音響設備 2階 平面図	1：100
3033	音響設備 3階 平面図	1：100
~~3034~~	~~拡声設備図（別途工事）参考図~~	~~1：100~~

< 空気調和設備 >

4001	仕様書（空気調和設備）	
4002	設備機材等指定表（機械の部）	
4003	空気調和，換気設備 機器表	
4004	空気調和，換気設備 凡例，系統図	
4005	1階 平面図（ダクト）	1：100
4006	2階 平面図（ダクト）	1：100
4007	3階 平面図 屋根伏図（ダクト）	1：100
4008	1階 平面図（配管）	1：100
4009	2階 平面図（配管）	1：100
4010	3階 平面図 屋根伏図（配管）	1：100
4011	1階 平面図（自動制御）	1：100
4012	2階 平面図（自動制御）	1：100

< 給排水衛生設備 >

5001	仕様書（給排水衛生設備）	
5002	設備機材等指定表（機械の部）	
5003	配置図	1：200
5004	給排水衛生設備 凡例 系統図 器具表 機器表	
5005	1階 平面図	1：100
5006	2階 平面図	1：100
5007	3階 平面図 屋根伏図	1：100
5008	浄化槽 設備（1）	1：50
5009	浄化槽 設備（2）	1：50
5010	浄化槽 設備（3）	1：50
5011	浄化槽 設備（4）	
5012	浄化槽 設備（5）	1：50

< 昇降機設備 >

6001	ELV 機械室 平面詳細図	
6002	ELV 機械室 平面詳細図	1：50

表紙共 ~~124~~ 枚
125

工 事 概 要

1. 工事名称：三潴町公民館新築工事
2. 工事場所：福岡県三潴郡三潴町玉満 2949－1 他
   （老人いこいの家＋既存改善センター）
3. 敷地面積：9,511.00 m²（2,454.00 m² ＋ 7,057.00 m²）
4. 用途地域：都市計画区域外　防火地域：—
   容積率：—　建ぺい率：—
5. 工事種別：増築
6. 建築概要

構造・規模：鉄筋コンクリート造（一部：鉄骨造）3階建

	申請部分	申請以外の部分	計
敷地面積	9,511.00 m²	—	9,511.00 m²
建築面積	1,367.19 m²	1,291.53 m²	2,658.72 m²
延床面積	2,067.61 m²	1,550.77 m²	3,618.38 m²

建築面積：1,367.19 m²　建ぺい率：—

床面積　　■ 申請以外の部分

		建築面積	延床面積
1階：1,271.79 m²	既	863.23 m²	1,193.16 m²
2〃：732.69 〃	老	428.30 m²	357.61 m²
3〃：63.13 〃	計	1,291.53 m²	1550.77 m²

延べ面積：2,067.61 m²　容積率：—
軒高：11.90 m
高さ：14.30 m

7. 外構：舗装（インターロッキング、タイル）
   ：植込（盛土及び縁石のみ）
   ：排水（場内雨水）
   ：植栽（一部移植5本 一部伐採）

8. その他の工事：昇降機設備工事
   ：舞台設備工事
   ：浄化槽設備工事
   ：外構工事

9. 工事範囲　設計図書に示された範囲とし、見積要項書、現場説明記録書、質疑応答書もこれに含み、工事範囲は次の区分による。
   1. 本体工事
   2. 屋外通路工事
   3. 外構工事
   4. 改修工事（既存構造改善センター）

10. 別途工事　下記の工事は別途工事とする。
   1. 造園工事（新植、　及土壌改良）
   2. 家具（応接室の書架等除く）
   3. 電話工事（電話機器及配線工事）
   4. OA机器工事
   5.
   6. 緞帳
   7. レリーフ
   8. 什器、備品

※ 〇で囲まれた項目が適用される。

項目 / 特記事項

工 総 則

① 適用
・この特記仕様書は、本工事に適用する仕様を特記するものである。図面及び特記仕様に記載のない事項はすべて共通仕様書による。
・一般仕様として下記の共通仕様書（番号に〇印を付したもの）を適用する。
1 建設大臣官房官庁営繕部監修 建築工事共通仕様書 年版
② （社）日本建築家協会監修 建築工事共通仕様書 1992 年版
③ 建設大臣官房官庁営繕部監修 機械設備工事共通仕様書 年版
④ 建設大臣官房官庁営繕部監修 電気設備工事共通仕様書 年版
5 （社）日本建築家協会監修 設備工事共通仕様書 年版

② 施工基準と優先順位
・本工事は下記の工事請負契約約款に基づき施工されるものとする。
四会連合協定工事請負契約約款（1992 年版）
・本工事は下記により施工し、相互間の内容に相違がある場合の優先順位は、記載の順序とする。
1 現場説明書（質疑応答書を含む）
2 本特記仕様書
3 設計図面
4 共通仕様書
5 JIS その他公共規格

③ 疑義
・本工事施工中に生じた疑義は、請負者において質問を行い、工事前の質疑応答書に準ずる記録書として作成しておくものとする。
・設計図書に標準的な部分を表示した場合、これに準ずる他の部分も類似的な部分に見做って施工するものとする。

4. 支給材料等
支給材料、支給機器、貸与品は下記による。

⑤ 同等以上の材料等
本工事に使用する建築材料等は、本特記仕様書において指定されたもの、又はこれと同等以上のものを使用する。同等以上のものを使用する場合は、工事監理者の承認を受けるものとする。

⑥ 製造所仕様
本特記仕様書、共通仕様書に規定されていない特別な材料等の仕様は、当該製品の製造所の指定仕様によるものとする。

⑦ 材料試験
本工事に使用する材料のうち、設計図書に定められたもの、又は工事監理者の指示のあるものは、その試験成績表を提出し、又は工事監理者の認める試験所で試験を行い、確認を受けなければならない。なお試験に要する費用はすべて請負者の負担とする。

⑧ 申請手続
本工事に関係ある法令、条例及び規則等は良くこれを遵守し、必要ある届出手続等はすべて請負者が行い、これに要する費用は請負者の負担とする。

⑨ 軽微な変更
納まり、取合いのための変更、または多少の位置の変更等、軽微な変更は請負金額の範囲内において施工するものとする。

⑩ 第三者損害に対する配慮
本工事の施工にあたり、騒音、振動、塵埃、落下物、地盤沈下、道路損傷、通行障害、その他近隣に対する公害が発生しないよう各関係法令を遵守し、関連官公庁の指導を受けて施工にあたるものとする。損傷その他の危害が発生した場合は、速やかに適切な措置及び賠償をしなければならない。

⑪ 工事保証
建物竣工引渡後かしの担保期間内において工事不良のため生じた損害は、請負者の負担において、敏速、丁寧に復旧するものとする。

⑫ 施工計画
本工事の仮設、施工方法等施工に対する計画は、設計図書に特別に定めない限り、請負者の責任において定めるものとする。

⑬ 既設建物との取合
既設建物と今回工事の取合い部分、その他本工事の範囲外の部分に、汚染、損傷を生じた場合は、原型と同仕上げ材で完全に補修するものとする。

⑭ 別途工事との関連
別途工事についての工事工程ならびに関連のある工事の内容に関しては、別途工事業者と密接に連絡して調整しなければならない。

⑮ 発生材の処理
本工事に伴う発生材は、産業廃棄物として行政庁の指導を受け、承認を受けた場所に搬出するものとする。

⑯ 指示
本工事の施工にあたって、下記に定める項目のうち〇印を付したものについては、工事監理者の指示を受けるものとし、記録書を提出するものとする。
(1) 別契約の工事関係者との協力
(2) 発生材の処理方法
(3) 補足工程表（期間又は工種別）の作製
(4) 提出見本品の種類
(5) 設計変更の手続及び見積方法

⑰ 立合い
本工事の施工にあたって、下記に定める項目のうち〇印を付したものについては、工事監理者の立会いを受けるものとする。
(1) 指示された施工又は試験
(2) 各法令に基づく諸官庁の検査

⑱ 検査
本工事の施工にあたって、下記に定める項目のうち〇印を付したものについては、工事監理者の検査を受け、承認を得るものとする。
① 指示された材料、製品及び部品の検査
② 指示された工程完了時点での中間検査
③ 竣工検査

⑲ 承認
本工事の施工にあたって、下記に定める項目のうち〇印を付したものについては、工事監理者の承認を受けるものとする。
① 補足工程表及び変更工程表
② 施工図、現寸図
③ 見本

⑳ 提出書類等
本工事の施工にあたり、下記に定める書類等（番号に〇印を付したもの）を工事監理者に提出して承認を受けるものとする。工事監理者は下記に定めるもののほか、必要な書類等の提出と承認を求めることがある。

番号	提出書類	期限	部数	備考
①	工事請負契約書写	契約時	1 部	
②	工程表	契約後	2 部	
3	請負代金内訳書	契約後 日以内	1 部	
④	履行保証契約書及び保証書写	契約後 日以内	1 部	
⑤	現場代理人、監理技術者、主任技術者、専門技術者届	契約後 日以内	2 部	経歴、資格を記す
⑥	現場責任者届	契約後 日以内	2 部	経歴、資格を記す
⑦	下請負業者等届	契約後 日以内 その都度	2 部	
⑧	使用材料業者等承諾願	契約後 日以内 その都度	2 部	
⑨	材料試験成績報告書	試験後 日以内	2 部	
⑩	工事記録報告書	月報として 毎月	2 部	内容 三島設計事務所様式による
⑪	打合せ記録簿	その都度	2 部	内容
⑫	変更工事見積書	その都度	2 部	
⑬	出来形調書	その都度	2 部	
⑭	官公署出願書類控	その都度	2 部	
⑮	工事竣工検査願	工事完了 日前	2 部	
⑯	工事竣工引渡書類 完了届、引渡書、検査済証、使用許可書、届出書、工事保証書、鍵引渡書、各種使用説明書、工具引渡書	竣工時	2 部	
⑰	工事竣工引渡物品 鍵および鍵箱、工具および工具箱、予備材料、その他の資料、図面、器具類	竣工時	1 組	
⑱	竣工図（図面の範囲は指示による）（下記参照）	竣工後 日以内	部	製本形式 原図の保管先 マイクロフィルムの作成
⑲	工事写真（撮影箇所は指示による）	その都度	カラー ~~モノクロ~~ サイズE 撮影枚数 30枚/月 部数 2	一定の台紙に貼付し、撮影月日を明記すること。竣工時にアルバムに製本する。
⑳	竣工写真（撮影個所は指示による）	竣工後 日以内 キャビネ版 40枚程度	アルバム部数：2部 カラー ~~モノクロ~~ サイズ ネガサイズ	パネルの作成 ・520×740 ・アルミ額縁 ・写真名記入 撮影者：指定有 外観 2部
21	その他			

⑱ 竣工図
1. 縮小写真製本（ソフト表紙）：A1 版：2 部
2. 〃（ハード表紙）：A2 版：1 〃
3. 一般図縮小版（ソフト表紙、製本）：B4 版：1 〃
4. マイクロフィルム：ジャケット入：1 〃
※原図 [illegible]
※三島設計にて原図保管

㉑ 工事区分
本工事の施工にあたり各工事の区分は、下記に〇印を付したものを適用する。

区分	No.	項目	建築	電気	衛生	空調	別途	備考
一般事項	1	仮設用の電力、上下水、ガスの使用料金、及び負担金	○	○	○	○		
	2	電気、上水道、下水道、ガス引込み負担金			○			
	3	本受電引き渡しまでの使用料金	○	○	○	○		
	4	本受電引き渡しまでの基本料金	○	○	○	○		
躯体貫通	5	はり貫通スリーブ（RC造）		○	○	○		
	6	はり貫通スリーブ（S・SRC造）						
	7	壁、床、貫通部スリーブ、箱入れ		○	○	○		
	8	同上貫通部スリーブ補強	○					
	9	同上貫通部孔埋め躯体補修	○	○	○	○		
	10	二重スラブ内、連通管及び通気管、水抜き管	○					
	11	水切付スリーブ	○					
機器基礎	12	機器基礎（躯体と一体の基礎）	○					
	13	独立機器基礎						
	14	アンカーボルト、箱入れ、チャンネル土台		○	○	○		
	15	機器基礎用床補強						
	16	屋上等防水層に関する基礎及び防水仕舞	○					
	17	屋根、外部及び基礎						
開口補強	18	工事制作間仕切、床の孔明け取付け枠及び補強	○					
	19	天井取付器具の取付け		○	○	○		
	20	同上開口補強	○					
	21	設備機器取付け用ALC等の孔明け及び補強						
	22	設備機器取付け用ブロック積みの開口部取り付け枠	○					
	23	天井吊機器の吊ボルト		○	○	○		
	24	同上用C型鋼補強	○					
機械室・点検口	25	機器搬出入、案内用フック	○					
	26	電気配線用ピット蓋共						
	27	機械室基礎コンクリート及び床仕上げ	○					
	28	マシンハッチ及び床仕上げ	○					
	29	煙突						
	30	外部取付ガラリ	○					
	31	リターングリル	○					
	32	ドアーグリル	○					
	33	点検口及び仕上げ	○					
	34	マンホール	○		○			
	35	タラップ	○					
	36	汚水槽及び雑排水槽の躯体及びマンホール蓋取付						
厨房・洗面所	37	厨房器具						
	38	同上フード及び排気ダクト						
	39	浴槽、バスユニット、洗面ユニット						
	40	風呂釜、バーナー、排気筒及び接続配管						
	41	流し台（既製品、造り付け）	○					
	42	陶器製流し			○			
	43	給排水金物及び配管			○			
	44	化粧鏡	○		○			
	45	消火器			○			
	46	グリーストラップ						
	47	土間、基礎コンクリート						
	48	排水溝及びフタ						
	49	床排水工事（目皿共）			○			
屋外工事	50	屋外排水溝及び蓋	○					
	51	雨水排水工事及び会所	○		○			
	52	雑排水工事及び会所			○			
	53	汚水排水工事及び会所			○			
	54	下水本管への接続（雨水）			○			
	55	同上（下水）			○			
	56	電力引込みハンドホール		○				
	57	電話引込みハンドホール						
	58	植込み客土及び排水層					○	
	59	植栽					○	
	60	散水栓			○			
	61	ガソリントラップ			○			
	62	出入口マット下排水管（第一会所まで）						
その他	63	感知器連動防火防煙シャッター（二次側配管配線共）	○	(○)				
	64	感知器連動防煙垂れ壁（二次側配管配線共）						
	65	感知器連動防火戸（二次側配管配線共）						
	66	防火ダンパー（二次側配管配線共）						
	67	防煙垂れ壁						
	68	エンジンドアー	○					
	69	軽量シャッター						
	70	エレベーター						○（ELV工事）
	71	エスカレーター						
	72	ダムウエーター						
	73	エアーシューター						
	74	ゴンドラ及び制御盤共一式 レール共						
	75	電気時計						
	76	看板取付用下地補強及び[illegible]						
	77	避雷針及び接地工事						
	78	高架水槽						
	79	換気扇等取付枠共						
	80	同上電源工事各種銘板						
	81	設備機器表示板		○	○	○		
	82	ベンチレーター（自然換気）						
	83	し尿浄化槽設備工事			○			
	84	し尿浄化槽RC造躯体及び防水工事			○			
	85	避難器具						
	86	機械駐車装置及び制御装置 消火設備一式						
	87	舞台装置		○				
	88	防火区画貫通ダクト及び配管等の防火被覆						
	89	排煙口及び手動開放装置	○					
	90	排煙ダクト						
	91	空調、衛生機械2次側配線工事						
	92	自動火災報知用発信機、ベル表示灯収納ボックス		○				
	93	空調自動制御用電気工事						

追 記 事 項

1. 特記仕様書（工事概要・総則）

竣工図

三潴町公民館新築工事	0001
1級建築士事務所登録 福岡県知事登録 第27701号 / 1級建築士 1-631505号 三島成二 / (株)三島設計事務所	4.7 / 34033

Ⅱ 建築工事（GB：ガイドブック）

第1章 一般事項

① 技能士	本工事の施工にあたっては、別に示す一覧表により技能士を現場に常駐させるものとする。（GB－稜表）
② 保証書	本工事の施工にあたって、下記に定める工事については、保証期間を明記した保証書を提出するものとする。・防水工事、フッ素樹脂塗装他（10年保証）
③ 近隣対策	本工事の施工にあたっては、近隣住民及び諸官庁との下記の事前協議事項を遵守するものとする。
④ 負担金	本工事の施工にあたっては、下記に定める項目に要する費用を負担するものとする。・工事概要 21, 工事区分の一般事項 NO.1～4
⑤ 提出書類等	本工事の施工にあたり、下記に定める図書等（番号に〇印を付したもの）を工事監理者に提出して承認を受けるものとする。工事監理者は下記に定めるもののほか、必要な図書等の提出と承認を求めることがある。（現場指示）

番号	提出書類	期限	部数	備考
①	敷地実測図	工事着工 日前	2 部	内容：平板・レベル
②	補足工程表	当該工事 日前	2 部	工事名 期間
③	施工計画書	当該工事着工 日前	2 部	内容 GBによる
④	見本 種類と形状	その都度	数量 1	・イナエオス 150□ ピースを部位別に分類し台板（900×1,200）にリスト貼
5	その他			

⑥ 施工図等

本工事の施工にあたり、下記に定める施工図等~~（番号に〇印を付したもの）~~を工事監理者に提出して承認を受けるものとする。工事監理者は下記に定めるもののほか、必要な施工図等の提出を求めることがある。
（原則として2部提出，期限は現場指示）

番号	工事名	提出施工図等	期限	部数
2－1	2. 仮設工事	定規計画図	着工前	部
2－2		仮設物配置計画図	着工前	部
2－3		仮設電力計画図	着工前	部
2－4		仮設給排水計画図	着工前	部
2－5		仮囲進入路計画図	着工前	部
2－6		危険防止計画図	着工前	部
3－1	3. 土工事	根切計画図	着工前	部
3－2		残土処分計画図	着工前	部
3－3		地質調査図	着工前	部
3－4		山留及び排水計画図	着工前	部
4－1	4. 地業工事	杭打施工計画図	杭打着手 日前	部
4－2		杭位置施工図	杭打着手 日前	部
4－3		試験杭耐力表	施工後 日以内	部
4－4		杭耐力表	施工後	部
4－5		地業施工図	施工前	部
5－1	5. 鉄筋工事	組立加工図	施工前	部
5－2		鉄筋圧接強度試験表	試験後 日以内	部
6－1	6. コンクリート工事	打込計画図	施工前	部
6－2		軀体施工図	施工前	部
6－3		型枠加工図	施工前	部
6－4		コンクリート調合表	試験後 日以内	部
6－5		コンクリート強度試験表	施工前	部
7－1	7. 鉄骨工事	工作図	施工前	部
7－2		建方計画図	施工前	部
7－3		原寸図（工場検査）	原寸図完成時	部
7－4		溶接強度試験表	試験後 日以内	部
8－1	8. ブロック及び煉瓦工事	ブロック及び煉瓦割付図	施工前	部
8－2		プレキャスト 割付図	施工前	部
8－3		コンクリート 製作図	施工前	部
8－4		及びALC パネル 取付詳細図	施工前	部
9－1	9. 防水工事	施工図	施工前	部
10－1	10. 石工事	石割付図	施工前	部
10－2		石取付詳細図	施工前	部
11－1	11. タイル工事	タイル割付図	施工前	部
11－2		接着力試験成績表	試験後 日以内	部
12－1	12. 木工事	下地組詳細図	施工前	部
12－2		矩計図	施工前	部
12－3		屋岡詳細図	施工前	部
13－1	13. 屋根工事	屋根伏図	施工前	部
13－2		屋根納法図	施工前	部
13－3		とい工作取付図	施工前	部
13－4		ルーフドレン廻詳細図	施工前	部
14－1	14. 金属工事	各種金物製作図	施工前	部
14－2		各種金物取付図	施工前	部
15－1	15. 左官工事	施工図	施工前	部
15－2		各部仕上区分表	施工前	部
16－1	16. 建具工事	建具配置図	施工前	部
16－2		建具、枠製作取付図	施工前	部
16－3		建具金物リスト	施工前	部
16－4		試験成績表	試験後 日以内	部
16－5		強度計算書	施工前	部
16－6		カラー見本	施工前	部
17－1	17. ガラス、プラスチック工事	割付図	施工前	部
17－2		取付詳細図	施工前	部
17－3		強度計算書	施工前	部
18－1	18. 吹付工事	各部仕上区分表	施工前	部
18－2		見本板	施工前	部
19－1	19. 塗装工事	各部仕上区分表	施工前	部
19－2		見本板	施工前	部
20－1	20. 内装工事	各部仕上区分図	施工前	部
20－2		割付図	施工前	部
20－3		取付、下地詳細図	施工前	部
20－4		各材料見本	施工前	部
21－1	21. カーテンウォール工事	割付図	施工前	部
		製作図	施工前	部
		取付詳細図	施工前	部
		仕上見本	施工前	部
		強度計算書	施工前	部
		性能試験表	施工後 日以内	部
22－1	22. その他の工事	各部施工図	施工前	部
23－1	23. 外構工事	各部施工図	施工前	部
		CBR試験成績表	試験後 日以内	部
	その他	・外部立面施工図	1:30（全面）	
		・内部展開 〃	1:30（〃）	

第2章 仮設工事

① 敷地測量	工事着手前に下記により測量を行う。測量の種類：平板、レベル、既存施設の位置他　各測量の範囲：敷地全体及周囲　各測量図の縮尺：現場指示
② 仮囲い	構造：工事用フェンス　高さ：1.800　仕上：現場指示　設置範囲：〃
③ 工事名表示	表示位置、数　表示看板　表示名称　文字の字体と大きさ　現場指示
④ ベンチマーク	設置位置と数：現場指示
⑤ 工事監理事務所	構造　規模　設備　表示　事務所備品、消耗品　現場指示
⑥ 工事用水	既存利用可（有償）
⑦ 工事用電力	〃（〃）
⑧ その他の設備	〃（〃）
⑨ 災害防止等	
⑩ 解体、移転	既存アスファルト舗装撤去及、専路補旧

第3章 土工事

① 敷地整理	
② 敷地内障害物整理	
③ 敷地境界標	
④ 根切り	
⑤ 埋め戻しおよび盛土	材料：根切土の良質土　工法：水及機械締め併用
⑥ 地ならし	建物周囲5mの範囲
⑦ 残土処分	場外搬出
8. 山止工法	
⑨ 排水工法	現場指示

第4章 地業工事

① 土質調査	有り
2. 地盤の設計支持力	
3. 地耐力試験	試験の種類　内容　方法　土質工学会「土質調査法第9章」による
④ 杭の試験	杭打ち試験 構造図による。杭の本数　長さ　方法　土質工学会「土質調査法第10章」による　鉛直載荷試験　内容　方法　土質工学会「杭の鉛直載荷試験基準」による　水平載荷試験　内容　方法
⑤ 既製杭	杭の種類 PHC杭(節杭)　規格、材質　杭の径 400～300　長さ 22.0（11+11）　本数　設計支持力（長期）50 t／本　継手、先端形状　工法 セメントミルク注入埋込杭　杭打機　打止り 圧入
6. 場所打ちコンクリート杭	杭の径　鉄筋の種類　コンクリートの種類　設計支持力（長期）t／本　長さ　施工法
⑦ 捨てコンクリート地業	コンクリートの設計基準強度F0＝135　スランプ 15　厚さ 50
⑧ 割栗石、砕石及び砂地業	土間コンクリート ⑦120 栗石
9. 地盤改良地業	
10. 特殊基礎工法	
11. 土間防湿シート	

第5章 鉄筋工事

① 鉄筋の種別	異形鉄筋 SD295A　丸鋼
② 鉄筋継手	D19以上ガス圧接　D16以下重ね継手
3. 溶接金網	規格　形状寸法　線径　網目寸法　施工個所　メーカー
4. スパイラル筋	規格　形状寸法　鉄筋径　メーカー
5. 組立異形鉄筋格子	形状寸法　鉄筋径　間隔　施工個所　メーカー
⑥ 開口補強	規格　形状寸法　メーカー
⑦ スペーサー	材質　メーカー
8. 鉄筋のかぶり厚さの割増し	

第6章 コンクリート工事

① 普通コンクリート	セメント ポルトランドセメント　粗骨材 砕石　細骨材 洗い砂　品質 常用　設計基準強度 F0＝210 Kg/cm²　スランプ＝18cm　水セメント比 55
2. 軽量コンクリート	種別　セメント　人工軽量骨材の種類　人工軽量骨材のメーカー　気乾単位容積重量 ρ＝ t/m³　品質　設計基準強度 F0＝ Kg/cm²　スランプ　水セメント比
③ 混和剤	AE減水剤
④ レディミクストコンクリート	JIS表示許可工場
⑤ 運搬及び打込み	
⑥ 養生	
⑦ 試験、検査	
⑧ 無筋コンクリート（土間）	種別および施工個所　Fc＝180 Kg/cm²
9. 特殊コンクリート	
⑩ 細骨材の塩分対策	塩分許容値　防錆上の措置　建設省仕様
11. 床コンクリートのこて仕上	種別および施工個所
12. 型枠	施工個所／種別／目地／スリット／止水板
⑬ コンクリートアンカープラグ	メーカー
14. プレストレストコンクリート	設計基準強度 F0＝ Kg/cm²　プレストレス導入時圧縮強度　水セメント比 W/C　スランプ　PC鋼材　設計緊張力　施工時最大緊張力　グラウチング　施工業者

第7章 鉄骨工事

① 適用	屋根
② 製作工場	Hグレード以上
③ 工作	行う
④ 鋼材	材料　材質 SS400
⑤ 高力ボルト	規格　メーカー
6. スタッドボルトジベル	メーカー
⑦ デッキプレート	
⑧ ターンバックルブレース	
9. 接合金物	
10. 試験、検査	溶接部　試験の種類　個所　試験数　その他
⑪ さび止め塗装	塗装範囲 JIS K 5621 2回塗　塗装種別
⑫ アンカーボルト	ボルトの保持および埋込み工法
⑬ 柱底ならしモルタル	種別　工法
14. 耐火被覆	建物の部分／工法／耐火時間／厚さ mm／メーカー・施工業者

第8章 ブロック及び煉瓦工事

① コンクリートブロック	形状、(寸法) 基本ブロック　品質：B種　水密性：普通ブロック　組積形式：化粧積、壁下　メーカー：JIS表示許可工場　配筋：GBによる
2. 化粧コンクリートブロック	
3. 煉瓦	品質　品等　寸法　組積形式　メーカー
4. 耐火煉瓦	
5. 抗火石	品質　形状　目地材　メーカー
6. プレキャストコンクリート	種別　コンクリートの種類　鉄筋　取付け工法　表面仕上げ　メーカー　コンクリート強度 F0＝　補強鉄線
7. ALCパネル	品種　種別　施工個所　壁の組積形式　金物の防錆処理　間仕切り壁パネル取付け工法　鋼材の取付け　塗装下地　吹付け材　特殊パネル　目地用鉄筋の取付け　メーカー

第9章 防水工事

① アスファルト防水

施工個所	種別	防水層の押え	保証年限	メーカー・施工業者
屋根	D－1（ラルバーコート）	無し	10	GBによる

2. 合成高分子ルーフィング防水（シート防水）

施工個所	厚さ mm	種別	防水層の押え	保証年限	メーカー

③ 合成高分子塗り防水（塗膜防水）

施工個所	種別	保証年限	メーカー・施工業者
図示	壁下（C－1工法）	10	大日本化工工業 パラテックス 同等以上

4. モルタル防水

施工個所	種別	保証年限	メーカー・施工業者

5. 特殊防水

施工個所	種別	保証年限	メーカー・施工業者

6. 伸縮目地　目地材　寸法

⑦ 立ち上り隅切コーナー　材料：既成品　メーカー：GBによる

⑧ シーリング材

施工個所	種別	メーカー・施工業者
一般	ポリサルファイド系	GBによる

⑨ バックアップ材

施工個所	種別	メーカー・施工業者

⑩ 漏水試験　行なう

第10章 石工事

1. 天然石張り

施工個所	種類、産地、名称	仕上の種類	取付方法	張りしろ	目地

② テラゾーブロック擬石張り

施工個所	種石の種類	仕上の種類	厚さ mm	取付方法	張りしろ	目地
図示	寒水	本磨	図示	湿式	50	白

3. その他の石張り等

施工個所	石の種類	仕上の種類	寸法	取付方法	張りしろ	目地

4. 敷石及び階段石

施工個所	石の種類	仕上の種類	寸法	目地

⑤ メーカー及び施工業者　GBによる

第11章 タイル工事

① タイル張り及び先付け

施工個所	形状寸法	きじ	うわ薬	テクスチャー	役物	裏あし	備考
出入口他	108×50	磁	無	INAX ひいろタイル	有	有	タイル(A)
テラス	100×200	〃	〃	セラパーカー	〃	〃	〃(B)
廊下ギャラリー	100×200	〃	〃	〃	〃	〃	〃(C)
客用WC	150□	磁	有	パブラーラG	無	無	〃(D)
職員WC	50□	〃	〃	ファイン50（ミスティ）	〃	〃	〃(E)
客用WC	150□	磁	有	ボザイン150（ソリーム）	〃	〃	〃(F)
職員WC	100□	〃	〃	ミスティ100（ネット）	〃	〃	〃(G)

② 工法	GBによる
③ メーカー	INAX同等以上
4. 伸縮目地	
⑤ 化粧目地	目地詰め工法：コテ　目地の形状：平　目地の巾：GBによる　化粧目地の材料：既製調合　既製目地材のメーカー・保水材のメーカー：GBによる
6. 見本焼き	種類　期間
7. テスト張り	種類　期間
8. 接着力試験	

第12章 木工事

1. 木材断面寸法　木材断面寸法を表示する寸法は構造材は挽立て寸法とし、造作材はすべて仕上り寸法とする。

2. 構造材

施工個所	部材名称	樹種	等級	含水率	防錆	防腐

3. 下地材

施工個所	部材名称	樹種	等級	含水率	防腐

④ 造作材

施工個所	部材名称	樹種	等級	表面仕上程度	含水率	塗装
多目的ホール	図示	スプルース	A	A	A	OSUC
その他	〃	米栂 スプン	A	A	A	VP

5. 化粧ばり造作用集成材

施工個所	部材名称	表面単板の樹種	表面単板の厚さ	含水率	塗装

⑥ 造作用集成材

施工個所	部材名称	樹種	厚さ	塗装（クリヤの類）
多目的ホール	ベンチ他	スプルース	図示	OSUC
手摺	手摺	〃	〃	〃
ステージ	床 生	境地	〃	〃

⑦ 防腐処理　⑧ 防蟻処理　⑨ 防虫処理　GBによる

第13章 屋根工事

① 金属板ぶき	種別 A：(立はぜ 350) B：(山高 88)　材種、板厚(mm) A：0.5 B：0.6　軒先フレーム B：瓦棒なしパネル(300"幅尺)(既製品)　メーカー・施工業者 A：ヨドルーフ横葺 250 B：ヨドルーフ 88　淀川製鋼、九州フォーライト　下ぶき A：改良ポリエチレン系 ARK（アスファルトルーフィング）（一体成形）　工法　A：木造屋根　B：屋外通路 屋根
2. 波形石綿スレートぶき（外壁を含む）	屋根 種別 役物 シーリング材 重ねしろ 下ぶき　外壁 種別 役物 シーリング材 重ねしろ 下ぶき
3. 特殊スレートぶき	種別　メーカー・施工業者
4. 瓦ぶき	種別　下ぶき
5. アスファルトシングルぶき	種別　メーカー・施工業者
⑥ ガラス、プラスチック屋根	種別：網入型板ガラス　メーカー・施工業者：日本板ガラス（株） ワイヤーウェーブライト同等以上
7. その他の屋根	種別　下ぶき

⑧ とい

施工個所	材種	管径	防露	とい受け金物
一般	硬質塩ビ管	100φ	無し	ステンレス
メーンエントランス	白ガス管	75φ	〃	打込
テラス	ステンレス(HL)	60□	〃	ステン(HL)FB

⑨ ルーフドレーン及び排水金物

施工個所	材種	管径	メーカー	備考
図示	鋳鉄	図示	GBによる	

2. 特記仕様書（建築工事）

竣工図	三猪町公民館新築工事	0002
	1級建築士 登録第27761号　三島 圧一	4.7 / 34033
	(株)三島設計事務所	

第14章 金属工事

項目	内容
① ステンレスの表面仕上げ	板厚 1.6 他　種別 SUS 304 仕上 (HL)ヘアーライン (M)鏡面
② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	無着色陽極酸化皮膜の種類 ・施工個所 ・皮膜厚 着色陽極酸化皮膜の種類 ・施工個所：図示 ・種別、皮膜厚：ステンカラー、C種 塗装仕上げの種類 ・施工個所 ・種別、皮膜厚
③ 鉄の亜鉛めっき	亜鉛めっきの類別：A (ペンタイト鋼板同等以上) 溶融亜鉛めっきの付着量：B 電気亜鉛めっきの皮膜厚：A
④ 鉄部塗装下地	塗装下地の処理種別：B
⑤ 軽量鉄骨天井下地	種別：B (一般型) メーカー：GBにする
⑥ 軽量鉄骨壁下地	種別：A メーカー：GBにする
⑦ 鋼製床下地	種別：ステージ下 メーカー：(株)三洋工業 スリーベース301 同等以上
⑧ インサート、ホールインアンカー	材種：プラスチック　メーカー：GBにする 型式、寸法：タダム　施工業者：
⑨ ラス	ラス型式：メタル　メーカー：GBにする

■鉄部メッキ種別

外部	内部
溶融亜鉛めっき	電気亜鉛めっき

・構造用鉄骨材以外の全ての鉄部に施す (内外部共)

⑩ 金属成型板張り (既製品含む)

施工個所	材質	板厚	製法	型式寸法	表面仕上	メーカー

・EXP.J：アルミ既成品 (渡り廊下へ旧存建物間)
：クリアランス 50mm，水切板付 (W:160)
：床部，壁，床，天井廻り

⑪ 製作金物

種類	材質	型式寸法	表面仕上	メーカー
図示				

12. その他の金属製品

第15章 左官工事

① 防火材料　使用する防火材料は建築基準法に適合し、これらに基づき認定された表示のあるものとする。

② 下地

施工個所	種別	備考
CB，RC	壁塗部：メタルラス，	

③ モルタル塗り

施工個所	塗り厚	上塗りモルタルの混和剤	防水モルタルの防水剤
床	30	GBにする	
外壁	25	〃	
内壁	20	〃	

④ 接地床の張物下地モルタル塗り　接着剤を使用する場合の下地モルタルは、防水モルタルを使用する。ただし土間コンクリートに防水コンクリートを使用した場合は、この限りでない。

5. 塗り壁、天井　材料　種別

6. 人造石塗り又は現場テラゾー塗り (床の場合)

施工個所	種石の種類	仕上げの種類	目地	備考

7. セルフレベリング床下地材　目地　厚さ　メーカー

8. 特殊モルタル塗り　種別　メーカー

第16章 建具工事

① アルミニウム製建具 (カーテンウォール含む)
種別：オーダーメイド
性能

建具タイプ	強さkg/㎡	気密性 ㎥/h㎡	水密性kg/㎡	遮音 dB
図示	240	8	35	25

※カーテンウォール：方立 無目巾 60以下
表面処理：着色陽極酸化皮膜 (電解発色) ステンカラー
取付方法：後付　試験
メーカー 新日軽

② 鋼製建具

種別	材料	防錆処理	遮音	ドア沓摺	メーカー
オーダーメイド	ペンタイト鋼板	溶融亜鉛メッキ	一般 28dB 防音 dB	ステンレス	アルミに同じ

③ 鋼製軽量建具

種別	材料	防錆処理	芯材	メーカー
ハンガードア				三和シャッタースレード

④ ステンレス製建具

種別	材料	表面仕上げの種類	保護塗装	曲げ加工	メーカー
玄関ドア	SUS 304	HL，M 併用	有	有	アルミに同じ

⑤ 自動扉
型式：引分け
制御方式：光電スイッチ，電子マット
工事範囲 電源ならびに一次側配線は別途工事とし、操作スイッチ及び二次側配線は本工事に含む。
メーカー：寺岡オートドア (SOV-150KMM) 同等以上

6. その他の建具

⑦ シャッター

種別	型式構造	機構	開閉機能による種類	シャッターケース	キー
スチール	防火防煙	煙感知器連動	手動巻上 (自動降下)	有	無

工事範囲 電源ならびに一次側配線は別途とし、操作スイッチ及び二次側配線は本工事に含む。
レール、まぐさ、座板、包み板の材質：ステンレス
スラットの材質：スチール塗装
メーカー：鈴木シャッター

8. 防煙設備　種別　工事区分

⑨ 木製建具

建具材の種別	樹種	合板の類別及び樹種	合板の厚さ	ふすま
B	GBにする	1類：桂	6	

10. 防虫網戸　材種　メッシュ寸法

⑪ 建具用金物　メーカーなど GBにする
丁番　本締付モノロック　モノロック　シリンダー箱錠　シリンダー本締り錠　非常錠 (本締り型)　ドアーチェック
ピボットヒンジ　オートヒンジ　フロアヒンジ　ラバトリヒンジ　押板、取手　マスターキー　キーボックス

第17章 ガラス・プラスチック工事

① 一般ガラス
種別：図示
メーカー：GBにする
ガラス押えの材質及び使用区分：軟質塩ビガスケット (カーテンウォール部：ポリサルファイド系シーリング)

② 特殊ガラス　種別：ガラスブロック (ガラス)　寸法 190□×95　メーカー 日本電気硝子同等以上

③ プラスチック　材種：耐候硬化メタクリル樹脂板　メーカー：三菱レイヨン アクリライトMR (アロニクス) 同等以上

第18章 吹付工事

① 防火材料　使用する防火材料は建築基準法に適合し、これらに基づき認定された表示のあるものとする。なお吹付材は基材同等とする。

② 砂壁状吹付材 吹付タイル (A)(B)(C)
種別：合成樹脂エマルション系砂壁状吹付 (ローラー)
メーカー：山本窯業化工(株)，マラスキンローラー同等以上
・(A)(B)：EC仕上 ・(C)：UC仕上
表面仕上

3. 複層模様吹付材　種別　メーカー

4. 弾性吹付材　種別　メーカー

5. 軽量骨材吹付材　種別　メーカー　厚さ

⑥ ロックウール吹付　種別　厚さ　工法 耐火被覆用　メーカー 図示

7. その他吹付材　種別　メーカー

第19章 塗装工事

① 塗装見本
・メーカー作製の塗装見本とする。
・各見本は、その実物下地に塗装した見本を作製する。
見本板寸法
提出部数

② 塗装施工業者　日本塗装工業会会員とする。

③ 塗料等

施工個所	下地面の材質	塗料名、メーカー	塗装工程	膜厚	さび止め指定
図示	仕上表による	GBにする			

第20章 内装工事

1. ビニール床シート及びその他シート張り

施工個所	材種	厚さ	目地処理	接着材	メーカー

② ビニール床タイル及びゴムタイル張り等

施工個所	材種	厚さ	接着材	メーカー
ビニールタイル (A)	PVCラミネート 床材	3	450°	(株)アドヴァン アネイクソン マーブル 同等以上
〃 (B)	半硬質 床材	2	300°	田島(株) マチコV 同等以上

③ ビニール等巾木

施工個所	材種	厚さ	高さ	メーカー
図示	ビニール		75	早川(株) ソフト巾木 同等以上

4. その他の床

施工個所	材種	工法	厚さ	メーカー

⑤ フローリング張り等

施工個所	材種	厚さ	巾	下張り	表面仕上げ	メーカー・施工業者
ステージ	桧 集成材	15	64	パーティクルボード (T20)	ワックス 拭け	(株)三洋工業

※床下収納台車含む

6. たたみ敷

施工個所	たたみ床	たたみ表	たたみべり	メーカー

⑦ カーペット敷

施工個所	材種	厚さ	工法	下地	メーカー
カーペット (A)	ナイロン	5	全面接着	図示	東リ(株) レモート同等以上
〃 (B)	ポリプロピレン	6.5	〃	〃	カプリ-プレイス 〃
(C)	ポリプロピレン	7	〃	〃	ルシール 〃

⑥ クロス・シート張り

施工個所	材種	メーカー (程度)	防火性能の級別
クロス	—	(株)川島織物 ホースウォール3000 程度	1級
ビニールクロス (A)	—	サンゲツ 1000 (土級) 〃	2級
(B)	—	〃 (準不) 〃	〃
化粧フィルム	—	ミニアイカ (株) ベルビアン (3級) 程度	1級

⑨ せっこうボード張り

施工個所	材種	張り方	厚さ	工法	メーカー
	PB		9		タイガーボード 同等以上
図示	化粧PB	図示	9	図示	タイガーミラトーン 〃

⑩ 石綿セメント板張り及びその他のボード張り

施工個所	材種	張り方	厚さ	工法	メーカー
図示	珪カル板	図示	6 10	図示	アスクハイラック 同等以上

⑪ 吸音板及びその他機能板張り

施工個所	材種	寸法	厚さ	工法	下張り	メーカー
吸音材 内装材 (A)	パラマウント硝子工業(株) クリアボード (T25) 同等以上					九州アスコン(株) 貴信産工
〃 (B)	GCボード (T.25) 同等以上					(スパンラール工業)

⑫ 合板張り

施工個所	合板の種類	樹種	難燃の指定	厚さ (単板の厚さ)	寸法	工法	メーカー
掲示板	普通 2類	ラワン	無	9	図示	釘打	JAS 適格品

⑬ 合成樹脂板張り

施工個所	材種	厚さ	工法	メーカー
家庭科	メラミン	1.2		アイカミラミン

⑭ 既成間仕切

施工個所	形式	表面仕上	パネル見込厚	耐火性能	メーカー
倉庫2	(株)岡村製作所 ワークウォール 5/E 同等以上				

⑮ 断熱吸音材

施工個所	材種	厚さ	規格	メーカー
土間スラブ下	フォームポリスチレン 押出法	30		カネカ ドマライト
屋根スラブ下	フォームポリスチレン	25	JIS	

16. フリーアクセス床　種別　メーカー

17. システム天井　種別　メーカー

18. アコーディオンドアー及びスライディングドアー

施工個所	材種	型式	寸法	メーカー

⑲ カーテンボックス

施工個所	材種	型式	寸法	メーカー
図示				

⑳ カーテンレール

施工個所	材種	型式	メーカー
図示	ステンレス	ミニダブル めし合わせ (W.200)	

㉑ カーテン (A)(B)
カーテンの種類(A)一般 (B)暗幕　ひだの種別 倍数 2
防炎加工：有　メーカー ミニコール
(A) エスパ程度　(B) SB-8921 程度

㉒ ブラインド

施工個所	材種	形状	寸法	開閉方式	スラットの型状	型式
ブラインド (A)	アルミ	横型	図示	手動	25%	
〃 (B)	アクリル 織物	縦型	〃	〃	75%	

メーカー：(株)ニチベイ
(A) ユニマンボ 25　(B) ウールライアルーバー

㉓ その他内装材等
(A) 東リ(株) グランドアート GF-2200 (オーバーアシスト)
タイルカーペット (A)(B)
(B) 東リ(株) グランドアート GA-430

第21章 カーテンウォール工事

1. 性能基準

2. 金属系　材質　表面仕上　メーカー

3. コンクリート系　品質　表面仕上　メーカー

第22章 その他の工事

① コーナービード

施工個所	材種	高さ	範囲
(壁) 出隅	アルミ L型	床〜天井	
(天) 出入隅	ハリメタ		

② 階段滑り止め (ノンスリップ)

施工個所	材種	幅	型式	メーカー
屋内階段	ステンレス ゴムタイヤ入	35	フラットエンドタイプ (ゴム入)	ナカエ工業(株)

③ 手摺

施工個所	材種	型式	メーカー
図示			

④ 目地棒

施工個所	材種	寸法	メーカー
床仕上の異なる接続部	ステンレス	12×4	

⑤ 看板

施工個所	材種	寸法	メーカー
外部出入口ドア下	ステンレス	30H	GBにする

⑥ 天井見切縁

施工個所	材種	寸法	メーカー
全て	アルミ	天井見切 タイプ	GBにする

⑦ 天井点検口

施工個所	材種	表面材	寸法	型式	メーカー
25ヶ所 (1F：23ヶ所 2F：2ヶ所)	アルミ	天井同材	450□	額縁タイプ	GBにする

⑧ 床下点検口 (鋳鉄製マンホール) (化粧ふた)

施工個所	型式	径	メーカー

施工個所	材種	型式	寸法	表面仕上	メーカー
内部 (図示)	ステンレス	キー付	600□	床同材	GBにする
外部 (5ヶ所)	〃	〃	450□	〃	〃

9. ピット枠蓋

施工個所	溝巾	ピット枠	蓋板	表面仕上	メーカー

10. 旗竿　材種　高さ　型式　メーカー

11. 旗竿受け金物　種別　メーカー

12. 黒板

施工個所	種別	寸法	枠の材種	黒板の材種	メーカー

⑬ 掲示板

施工個所	種別	寸法	枠の材種	下地	表面材	メーカー
※掲示クロス						

⑭ 靴拭マット

施工個所	寸法	材種	受枠材種	水抜パイプ	メーカー
出入口	図示	ステンレス	ステンレス	有	GBにする

⑮ 室名表示 (特記事項8による)
室名札　材種　寸法　その他
面付 個所　持出 個所　欧文字 個所　ピクトグラフ 個所 (株)トムス (TEL 092-461-0906)

⑯ 建物名表示
材種：ステンレス 鏡面 (文字) 文字：三潴町公民館
寸法：200H　その他 箱文字

⑰ 定礎
材種：御影石 (ピンク系) 文字：彫込文字
寸法：600W×450H　定礎箱
その他

⑱ 郵便受等
材種：ステンレス　型式：防滴　メーカー：田島メタルワーク(株)
(郵便ポスト)：MX-303A (遠方ポスト)：MX-102 表口のみ

19. 焼却炉　設置場所　能力、容量　型式　メーカー

20. 厨房機器

施工個所	種別	型式	寸法	メーカー

21. サニタリーユニット

施工個所	種別	材種	型式	メーカー

㉒ トイレブース

施工個所	種別	材種	型式	メーカー
図示				

㉓ カガミ

施工個所	寸法	種別	メーカー
図示			

㉔ トップライト　施工個所：図示　型式：排煙用　メーカー (株)日光
ライトスモークハッチ SH-AA 130

㉕ 排煙装置
排煙口：アルミルーバー (株)ABC インドラセル 25W×25L×25H
防煙壁：図示 (網入ガラス)

26. 運搬用器具

㉗ 造作家具類　製作図提出のうえ、工事監理者の承認を受けること。

種別	規格	メーカー
図示		(株)可倉装 (TEL：0942-39-2752)

㉘ 既製家具類　製作図提出のうえ、工事監理者の承認を受けること。

種別	規格	メーカー
図示		

29. 屋上換気扇

施工個所	能力、容量	型式	メーカー

30. 煙突用ライニング　径、高さ　型式　メーカー

31. 換気孔　型式　材質　メーカー

32. クーラースリーブキャップ　種別　メーカー

33. 物干金物　種別　メーカー

34. 吊環　種別　メーカー

㉟ 身障者用施設 (給排設備)　種別　メーカー

㊱ タラップ 図示　種別　メーカー

37. その他

第23章 外構工事

① 外柵

施工個所	種別	高さ	控え	メーカー
図示	ネットフェンス	図示	無	朝日スチール工業(株)

・朝日ユニフェンス 同等以上

2. 門

施工個所	材種	型式	メーカー

3. 門扉

施工個所	材種	型式	開閉	巾	高さ	メーカー

④ コンクリート舗装

施工個所	種別	強度Fc	路盤厚	目地板	目地間隔	表面仕上
テラス 屋外ギャラリー等	※土間コンクリート下地					タイル他

5. アスファルト乳剤舗装　路盤上には、プライムコートまたはタックコートを施工する。

施工個所	舗装厚	路盤厚

⑥ 加熱式アスファルトコンクリート舗装　路盤又は基層上には、プライムコートまたはタックコートを施工する。

施工個所	表層厚	路盤厚	CBR試験
通路	50	150	

⑦ コンクリート平板舗装 (インターロッキング)
~~材料 JIS A 5304 (歩道用コンクリート平板) の規格品とする。~~

施工個所	路盤	目地巾
ポーチ廻り	(T.150)	サンドクッション (T.30)

※東洋興業(株) NUBRIC レンガ (230×114×50) 下ロ目

8. 敷地境界石

施工個所	材種	型式

⑨ 擁壁、土留

施工個所	工法	種別	水抜穴	水抜材料
テラス1	既設石積部分修理え			

⑩ 街きょ、縁石及び側溝

施工個所	縁石材料	縁石寸法	側溝
図示			

⑪ グレーチング及び桝蓋 (給排水工事)

施工個所	材種	寸法	許容荷重

⑫ 排水工事 (汚水排水を除く) (給排水工事)
材料　管径　継手個所の地業　接合　会所桝の種別
会所桝の寸法　会所桝の地業　足掛金物　会所桝の蓋の材質　会所桝の蓋強度

⑬ 植栽、造園工事 (別途工事)
生垣　庭木　支柱　ツリーグレイト　芝類
築上庭園　花壇　土壌の改良　客土　肥料　補償規定　その他の工事

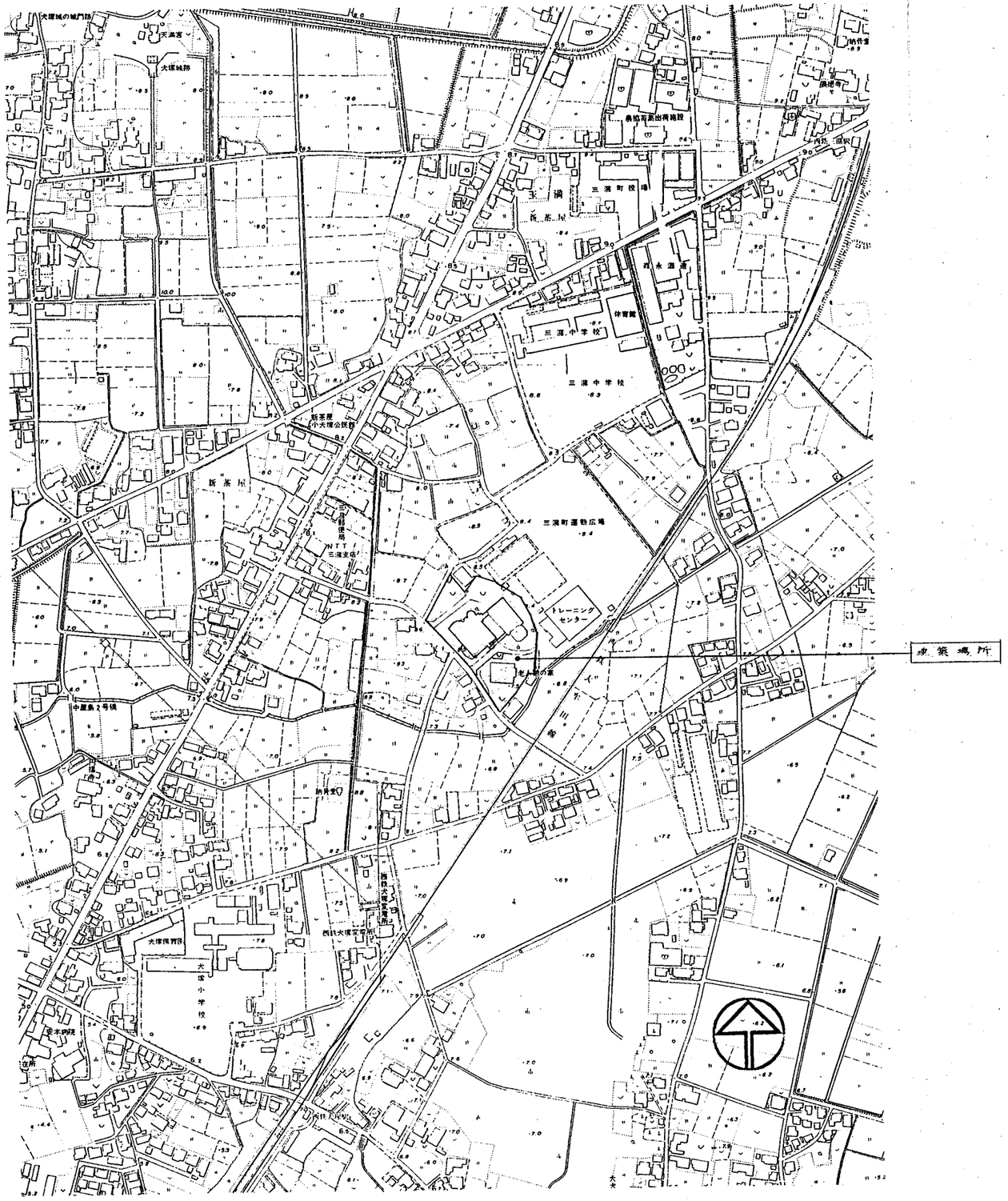
14. スポーツ施設

15. その他の施設

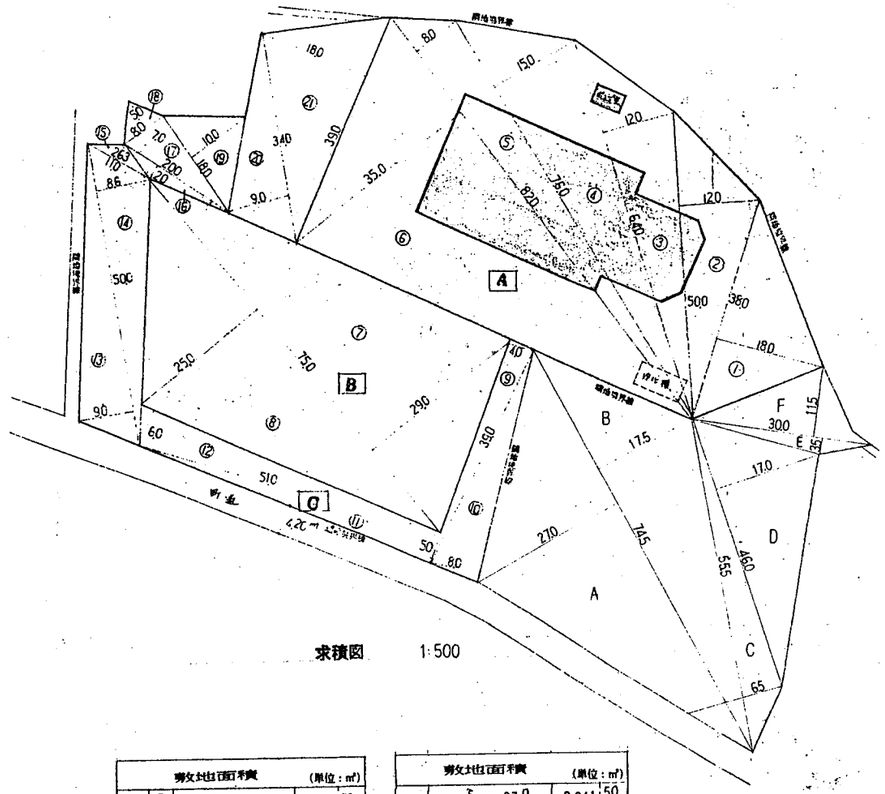
追記事項

3．特記仕様書（建築工事）

竣工図	三潴町公民館新築工事	0003
	1級建築士事務所 登録 1級建築士 第27701号　福岡県 1-631505 号　三角広一	6.7
	(株) 三島設計事務所	34033



附近見取図　　1：2500



求積図　　1：500

		敷地面積	(単位：㎡)
A	①	38.0 × 18.0	684.00
	②	50.0 × 12.0	600.00
	③	64.0 × 12.0	768.00
	④	76.0 × 12.0	1140.00
	⑤	82.0 × 8.0	656.00
	⑥	82.0 × 35.0	2870.00
	計		6718.00
B	⑦	75.0 × 29.0	2175.00
	⑧	75.0 × 25.0	1875.00
	計		4050.00
C	⑨	39.0 × 4.0	156.00
	⑩	39.0 × 8.0	312.00
	⑪	51.0 × 5.0	255.00
	⑫	51.0 × 6.0	306.00
	⑬	50.0 × 9.0	450.00
	⑭	50.0 × 8.6	430.00
	⑮	11.0 × 2.63	29.00
	⑯	20.0 × 2.0	40.00
	⑰	20.0 × 7.0	140.00
	⑱	8.0 × 5.0	40.00
	⑲	18.0 × 10.0	180.00
	⑳	34.0 × 9.0	306.00
	㉑	34.0 × 18.0	702.00
	計		3346.00
合計			14114.00
1/2			7057.00 ----ⓐ

	敷地面積	(単位：㎡)
A	74.5 × 27.0	2,011.50
B	74.5 × 17.5	1,303.75
C	55.5 × 6.5	360.75
D	46.0 × 17.0	782.00
E	30.0 × 3.5	105.00
F	30.0 × 11.5	345.00
計		4,908.00
1/2		2,454.00 ----ⓑ

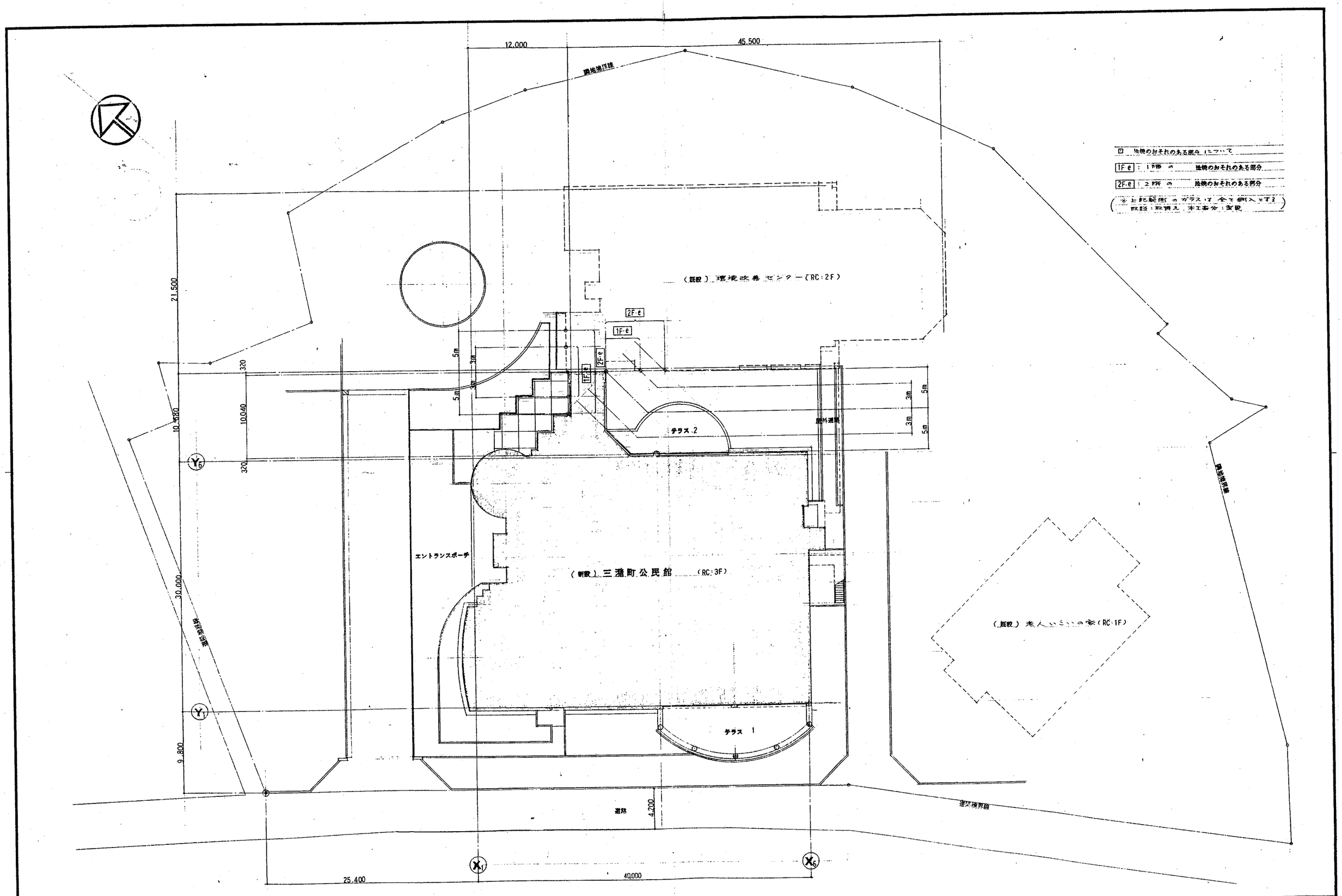
□ 敷地面積合計

ⓐ + ⓑ = 9,511.00 ㎡

三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

竣工図

三潴町公民館新築工事	4/7	24033
附近見取図 ・ 敷地面積	1：2,500 1：500	1001



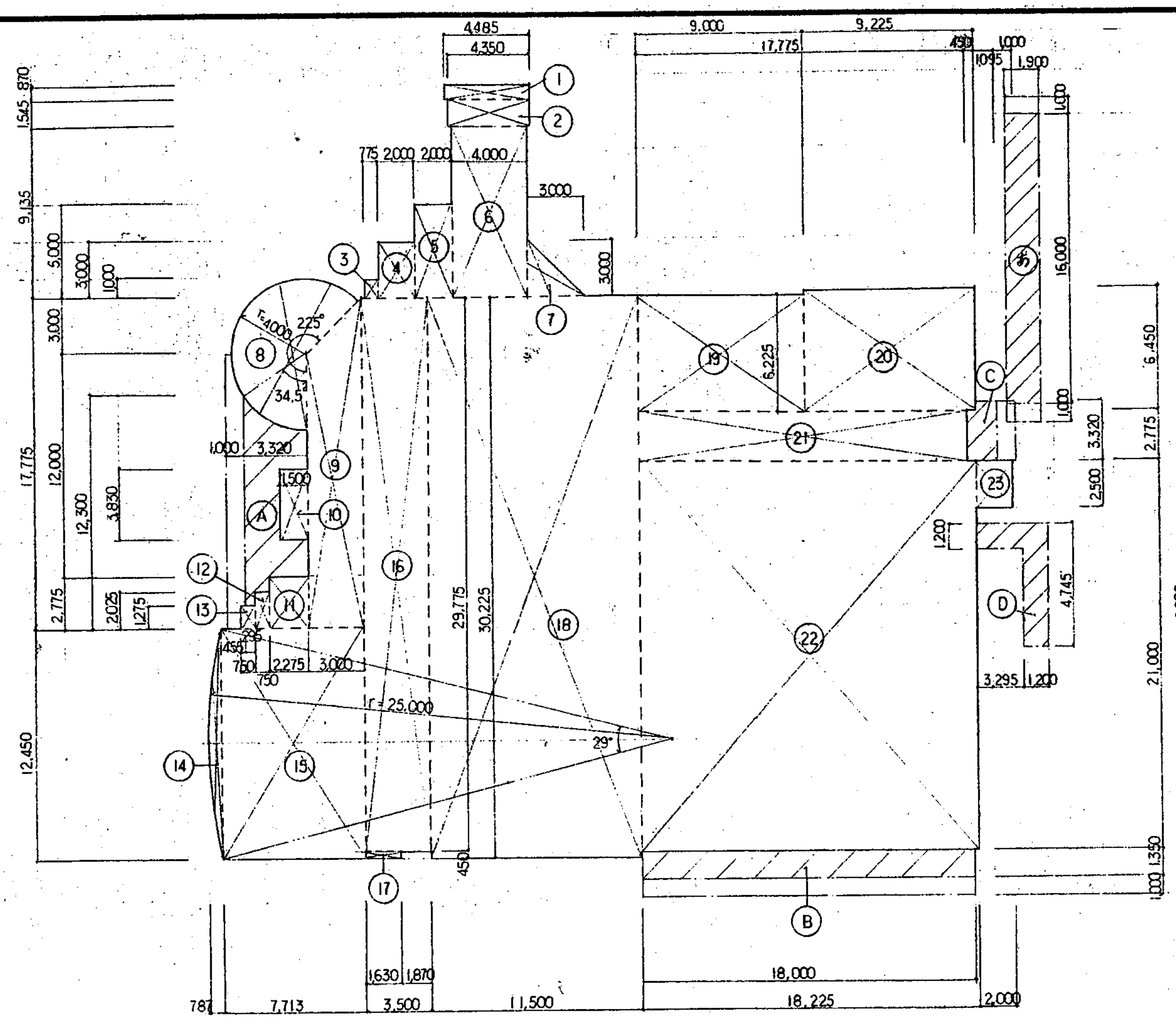
□ 地機のおそれのある部分 について

1F-e : 1階 の 地機のおそれのある部分

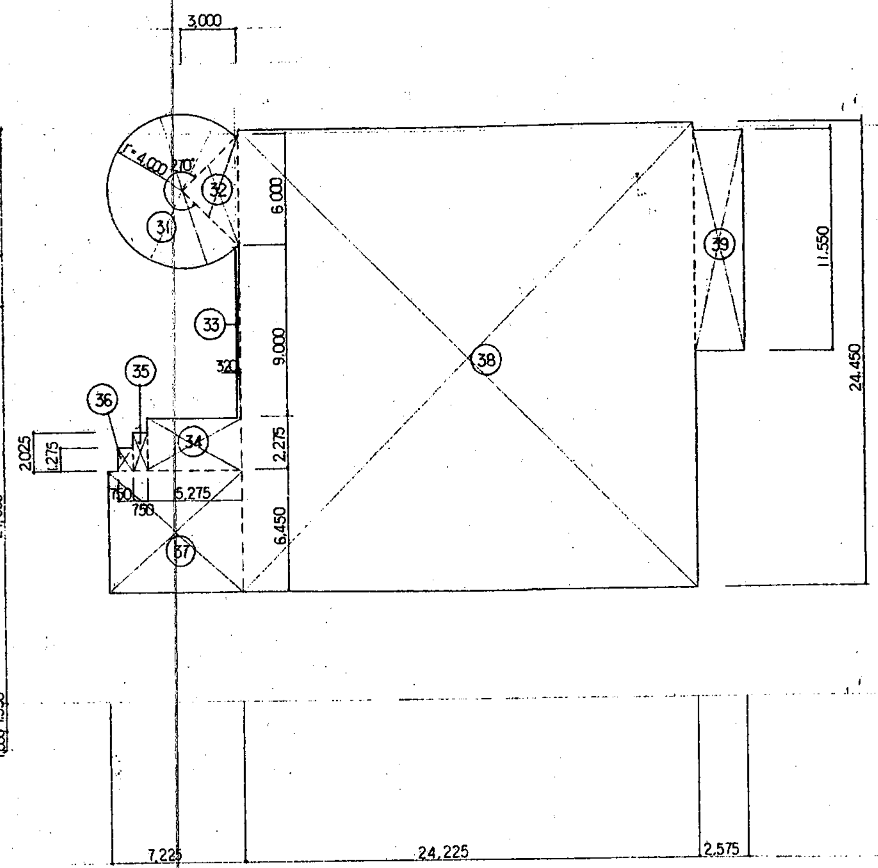
2F-e : 2階 の 地機のおそれのある部分

（※上記範囲のガラスは 全て網入とする
既設：取替え 本工事分：新設）

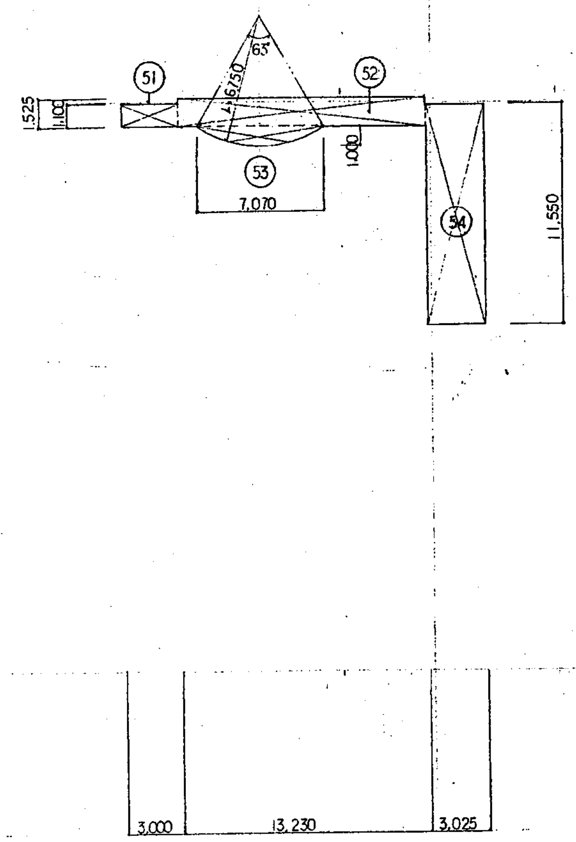
三島設計事務所 MISHIMA ARCHITECTS OFFICE	機工図	三潴町公民館新築工事	4.7	1003
		配置図	1:200	1002



（建築面積）1階 求積図



2階 求積図



3階 求積図

求積表

		M²
①	4,485 × 0.870 =	3.9019
②	4,350 × 1.545 =	6.7207
③	0.775 × 1.000 =	0.7750
④	2.000 × 3.000 =	6.0000
⑤	2.000 × 5.000 =	10.0000
⑥	4.000 × 9.135 =	36.5400
⑦	3.000 × 3.000 × 1/2 =	4.5000
⑧	4.000 × 4.000 × π × 225°/360° =	31.4159
⑨	14.775 × 3.000 + 3.000 × 3.000 × 1/2 =	48.8250
⑩	1.500 × 3.830 =	5.7450
⑪	2.275 × 2.775 =	6.3131
⑫	0.750 × 2.025 =	1.5187
⑬	0.750 × 1.275 =	0.9562
⑭	25.000 × 25.000 × π × 29°/360°	
	− 12.450 × 24.213 × 1/2 =	7.4445
⑮	7.713 × 12.450 =	96.0268
⑯	3.500 × 29.775 =	104.2125
⑰	1.630 × 0.450 =	0.7335
⑱	11.500 × 30.225 =	347.5875
⑲	9.000 × 6.225 =	56.0250

		M²
⑳	9.225 × 6.450 =	59.5012
㉑	17.775 × 2.775 =	49.3256
㉒	18.225 × 21.000 =	382.7250
㉓	2.000 × 2.500 =	5.0000
㉛	4.000 × 4.000 × π × 270°/350° =	37.6991
㉜	6.000 × 3.000 × 1/2 =	9.0000
㉝	0.320 × 9.000 =	2.8800
㉞	5.275 × 2.275 =	12.0006
㉟	0.750 × 2.025 =	1.5187
㊱	0.750 × 1.275 =	0.9562
㊲	7.225 × 6.450 =	46.6012
㊳	24.225 × 24.450 =	592.3012
㊴	2.575 × 11.550 =	29.7412

		M²
○51	3.000 × 1.100 =	3.3000
○52	13.230 × 1.525 =	20.1757
○53	6.750 × 6.750 × π × 63°/360°	
	− 7.070 × 5.750 × 1/2 =	4.7230
○54	3.025 × 11.550 =	34.9387
Ⓐ	(14.775 + 12.300) × 3.320 × 1/2	
	− 1.275 × 0.295	
	− 2.025 × 0.750	
	− 2.775 × 2.275	
	− 3.830 × 1.500	
	− 4.000 × 4.000 × π × 345°/360° =	26.1743
Ⓑ	18.000 × 1.350 =	24.3000
Ⓒ	0.450 × 2.775 + 1.095 × 3.320 =	4.8841
Ⓓ	1.200 × 3.295 + 1.200 × 4.745 =	9.6480
あ	16.000 × 1.900 =	30.4000

床面積表

床面積	1 階	①+②+③------+------㉑+㉒+㉓ =	1271.7931	1271.79 M²
	2 階	㉛+㉜+㉝+㉞+㉟+㊱+㊲+㊳+㊴ =	732.6982	732.69 M²
	3階	○51+○52+○53+○54 =	63.1374	63.13 M²
	延床面積			2067.61 M²

建築面積表

公民館	1階床面積 +Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ+Ⓓ =	1336.7995	1336.79 M²
屋外通路	あ =	30.4000	30.40 M²
合 計			1367.19 M²

三島設計事務所 MISHIMA ARCHITECTS OFFICE	竣工図	三瀦町公民館新築工事	4.7	34033
		面積表	1:200	1003

外部仕上表

部位	仕上
屋根（多目的ホール）	木毛板（ア.25），アスファルトルーフィング（22kg），
	フッ素樹脂鋼板横葺（ポリスチレンフォーム敷打，働巾250）
（陸屋根）	コンクリートこて押え，アスファルト露出防水（シルバーコート仕上）
外壁	コンクリート打放し，吹付タイル（A)(B)
根廻	モルタル
窓廻（窓まぐさ）	防水モルタル，吹付タイル(B)
（窓台）	塗膜防水；吹付タイル(B)
建具	アルミサッシ，アルミカーテンウォール，スチールドア 他
竪樋	硬質塩ビ管 VP
犬走り	モルタルこて目地

部位	仕上
出入口1（床）	タイル（A）
（上裏）	石綿板（ア.6），VP（ステンレス，ハット型ボード目地）
出入口2（床）	タイル（A）
出入口3（床）	タイル（A）
（上裏）	石綿板（ア.6），VP（ステンレス，ハット型ボード目地）
テラス1（床）	タイル（B）
（化粧柱）	コンクリート打放し，吹付タイル（A）（B）
（化粧梁）	コンクリート打放し，吹付タイル（A）（B）
（屋根）	網入波板ガラス φ6.8 ，（鉄部：UE）
テラス2（床）	タイル（B）
屋外ギャラリー（床）	タイル（C）

部位	仕上
屋外通路（床）	モルタルこて目地
（屋根）	フッ素樹脂鋼板折版葺（鼻板：屋根同材既成品）
（その他）	軒樋：塩ビ既成品（竪樋：硬質塩ビ管 VP）
屋外階段	スチール製 UE
設備スペース（基礎）	鉄筋コンクリートこて押え（ア.200）
（柵）	ネットフェンス（H：2,000）

内部仕上表

(1) 壁下地：<モ>モルタル下地，<珪>石綿珪カル板（ア.10）下地（不燃 第1061号），<有PB>有孔PB（ア.12）（準不燃材料 第2014号）
(2) 防露壁：外壁に面する内壁は，発泡ウレタン（ア.10），石綿珪カル板（ア.10）JB下地
(3) 掲示壁：合板（ア.9）下地，掲示クロス

階			1																1・2（共通）			
室名		防火材料認定番号	風除室	エントランスホール	ロビー	廊下	渡り廊下	図書室	図書事務・書庫	事務室	倉庫 2	印刷コーナー	自動販売機コーナー	湯沸室	職員便所	談話室	倉庫 1	倉庫 3	便所（L)(G) 化粧室	障害者便所	E.L.V.ホール	E.L.V.機械室
天井高			2,300	3,000～3,600	3000～3,600	2,750・3000	2,750	2,750・3,000	2,750	2,750	2,500	2,750	2,750	2,400	2,400	2,750～3,600	2,500	2,200	2,400	2,400	2,500	
床	タイル		○（A）	○（A）一部											○（D）				○（E）	○（D）		
	タイルカーペット				○（A）			○（A)(B）													○（A）	
	ビニールタイル			○（A）	○（A）	○（A）	○（A）		○（B）	○（B）	○（B）	○（B）	○（B）	○（B）		○（A）一部	○（B）	○（B）	○（A）化粧室			
	カーペット							○（A）幼児コーナー								○（B）						
	その他																					○防塵塗装
色彩																						
巾木（H：75）	テラゾーブロック		○	○ 一部																		
	ビニール巾木			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○ 化粧室	／	○	
	木製 VP																					
	その他																					○モルタル防塵塗装
色彩																						
壁	吹付タイル	高材同特第0004号	○（A）	○（C）	○（C）	○（C）	○（C）						○（C）						○（B）化粧室		○（B）	
	ビニールクロス	壁紙 0003号（2級）		○（A）一部		○（A）一部		○（A）	○（B）	○（B）												
	VP	高材同特第0001号									○	○	○ 一部	○			○	○				
	タイル													○（F）一部	○（F）				○（G）	○（F）		
	その他															○クロス 壁紙0003号（2級）						○グラスウール（ア50）ネット押え 不燃 第1032号
	<下地>		<モ>	<モ><珪>	<モ>	<モ><珪>	<モ>	<モ><珪>	<モ><珪>	<モ><珪>	<モ>	<モ><珪>	<モ>	<モ>	<モ>	<モ>	<モ>	<モ>	<モ>	<モ>	<モ>	
色彩																						
天井	石綿板（ア.6），塩ビフィルム	不燃石綿スレート 第1002号	○																			
	PB（ア.9）JB，目透し併用 EP吹付	準不燃材料 第2015号 高材同特第1001号																				
	化粧P.B（ア.9）	準不燃材料 第2016号							○	○	○	○	○	○	○		○			○		
	PB（ア.9）クロス	準不燃材料 第2015号 壁紙 0003号（2級）		○	○	○	○	○								○					○	
	PB（ア.9）目透し，VP	準不燃材料 第2015号 高材同特第1001号																	○			
	その他										○一部CON打放し EP吹付							○CON打放し EP吹付				○グラスウール（ア50）ネット押え 不燃 第1032号
色彩																						
その他	壁面レリーフ																					
	ピクチャーレール					○	○															
	掲示壁					○	○									○クロス貼						
	ブラインド（A）（B）+BOX							○（A)(B）	○（A）	○（A）						○（B）						
	カーテン（A）（B）+BOX							○（A）幼児コーナー（BOX無し）														
	パーティション（可動）										○											
	造付家具													○{流し台，ガス台 吊戸棚，フード 水切棚}		○ミニキッチン			○ 化粧台			
	ブース														○				○			
	防露壁							○	○	○												
	その他											○郵便返却ポスト							○化粧鏡	○手摺		

三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

竣工図

三潴町公民館新築工事	4.7	34033
外部・内部仕上表		1004

内部仕上表

部位	階		1～2			2							3									
	室名	防火材料認定番号	階段 1	階段 2	ポンプ室	ホワイエ	多目的ホール	ステージ	控室	倉庫	収納庫 1·2·3		調整室	倉庫	空調機械室							
	天井高		2,500			3,000	6,000～7,000	4,300	2,500	2,500			2,400									
床	タイルカーペット					○（A）																
床	カーペット						○（C）		○（A）				○									
床	ビニールタイル		○（A）	○（A）（B）						○（B）												
床	天然木フローリング							○														
床	モルタル				○						○防塵塗装			○	○防塵塗装							
床																						
床	その他																					
色彩																						
巾木（H:75）	ビニール巾木		○	○		○			○	○			○									
巾木（H:75）	木製OSUC						○	○														
巾木（H:75）	モルタル				○						○			○	○							
巾木（H:75）																						
巾木（H:75）																						
巾木（H:75）																						
巾木（H:75）																						
色彩																						
壁	吹付タイル	基材同等第0004号	○（C）	○（C）		○（C）																
壁	天然木シート	難燃0001号					○ 腰															
壁	吸音用内装材	不燃第1032号					○（A）上部															
壁	VP	基材同等第1001号						○		○			○ 不燃									
壁	ビニールクロス	難燃0003号（2級）							○（B）						不燃第1032号 ○ グラスウール（ア50）ネット押え							
壁	その他				不燃第1032号 ○ グラスウール（ア50）ネット押え																	
壁	<下地>		<モ>	<モ><埋>		<モ>	[illegible]<埋>腰	<モ><埋>	<モ><埋>	<モ>	<モ><埋>		<有PB>	<モ>仕上								
色彩																						
天井	PB（ア9）.JB.目透し張り EP吹付	準不燃材料第2015号 基材同等第1001号																				
天井	吸音用内装材	不燃第1032号					○（B）															
天井	化粧PB（ア9）	準不燃材料第2016号						○	○	○			○ 不燃									
天井	PB（P.9）クロス	準不燃材料第2015号 難燃0003号（2級）	○	○		○																
天井																						
天井																						
天井	その他				不燃第1032号 ○ グラスウール ⑩50 ネット押え						準不燃材料第2031号 ○ 木毛板 現わし			準不燃材料第2031号 ○ 木毛板 現わし	不燃第1032号 ○ グラスウール（ア50）ネット押え							
色彩																						
その他	手摺		○																			
その他	掲示板					○																
その他	防露壁							○														
その他	化粧台								○													
その他	ピクチャーレール					○																
その他	収納台車							○														
その他	TELカウンター		○																			
その他	カーテン（A）（B）+BOX						○（B）															
その他	ブラインド（A）（B）+BOX								○（A）													
その他																						
その他																						
その他	その他																					

□ 一般図凡例

- ══ ：鉄筋コンクリート造壁
- ▭ ：コンクリートブロック造壁
- ▭ ：軽鉄下地壁
- ⊠ ：雨水桝（給排工事）
  （但し、タイル貼部化粧蓋は建築工事⊠）
- □ ：床板ブロック（300×300×60）
- ○ T·T' ：硬質塩ビ管 100φ（'17 75φ）VP
- ○ T(1) ：白ガス管 75φ（躯体打込み）　｝竪樋
- ○ T(2) ：ステンレス管 60ᴾ（H.L）
- ◎ RD ：鋳鉄製ルーフ　｝ドレイン
- ◎ BD ：〃 バルコニー
- ○ SS ：ステンレス.ストレーナー
- ◿ ：床下点検口（600ᴾ）

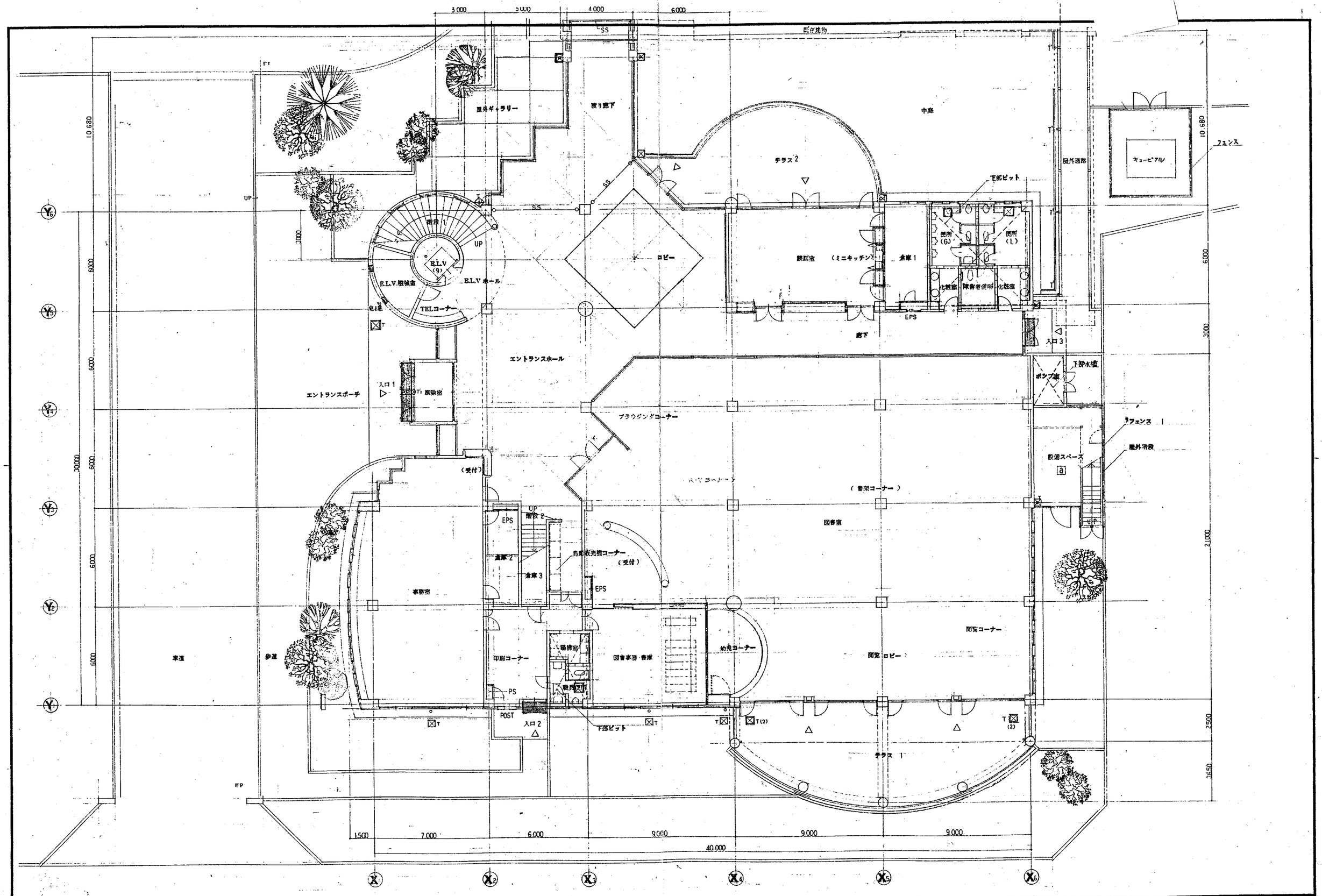
□ 設備機器基礎リスト

	W	L	H
a	設備スペース全体		
b	500	900	200
c	2.000	4.000	200
d	500	5.000	200
e	1.600	2.500	200
f	1.000	3.200	200
g	700	700	200

（※配筋は、D-13 タテ·ヨコ 交 @150 とする）

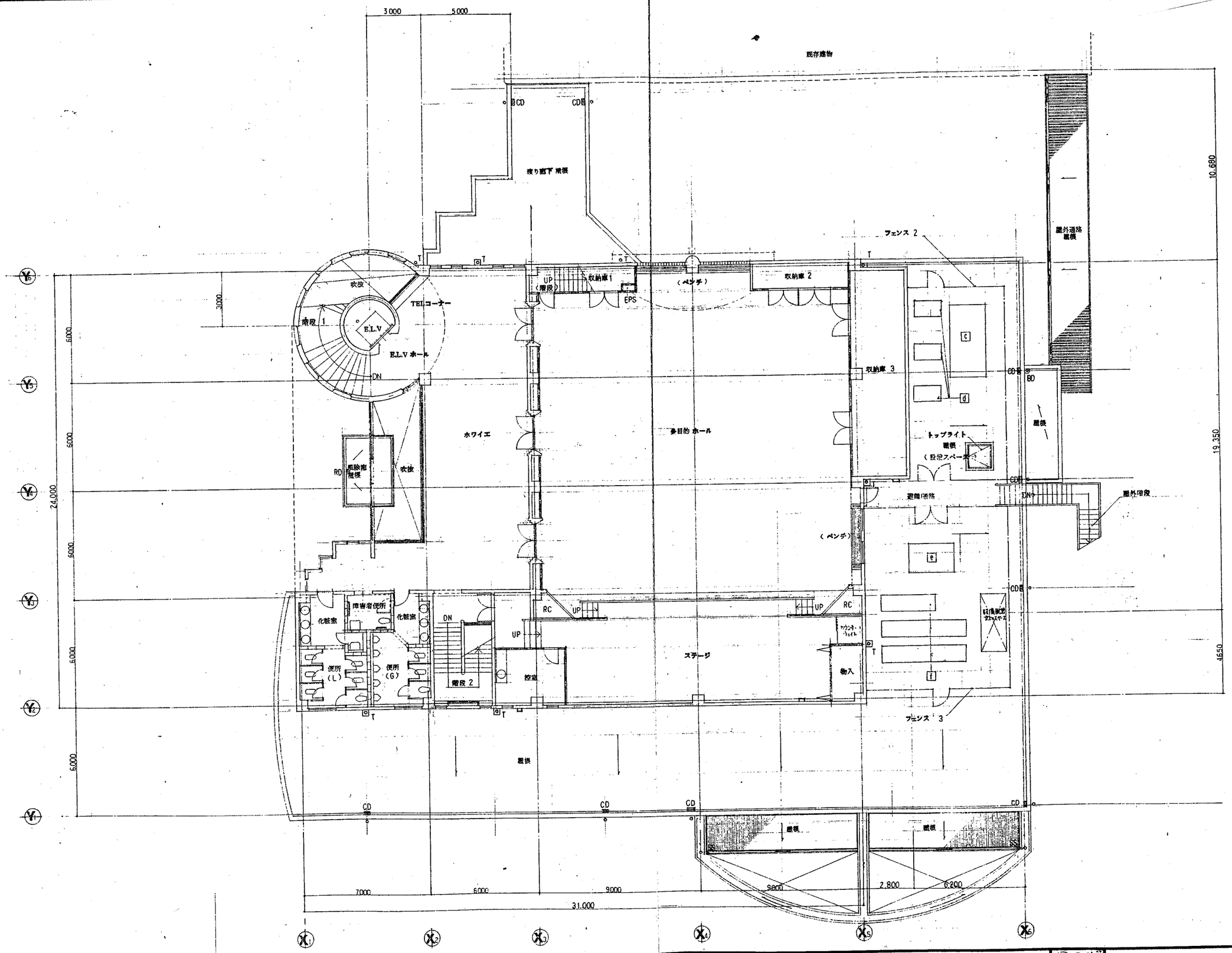
三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

建工	三猪町公民館新築工事	4.7	34033
	内部仕上表		1005



三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

竣工	三浦町公民館新築工事	4.7	3-0038
	1 階 平面図	1:100	1006



三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

竣工

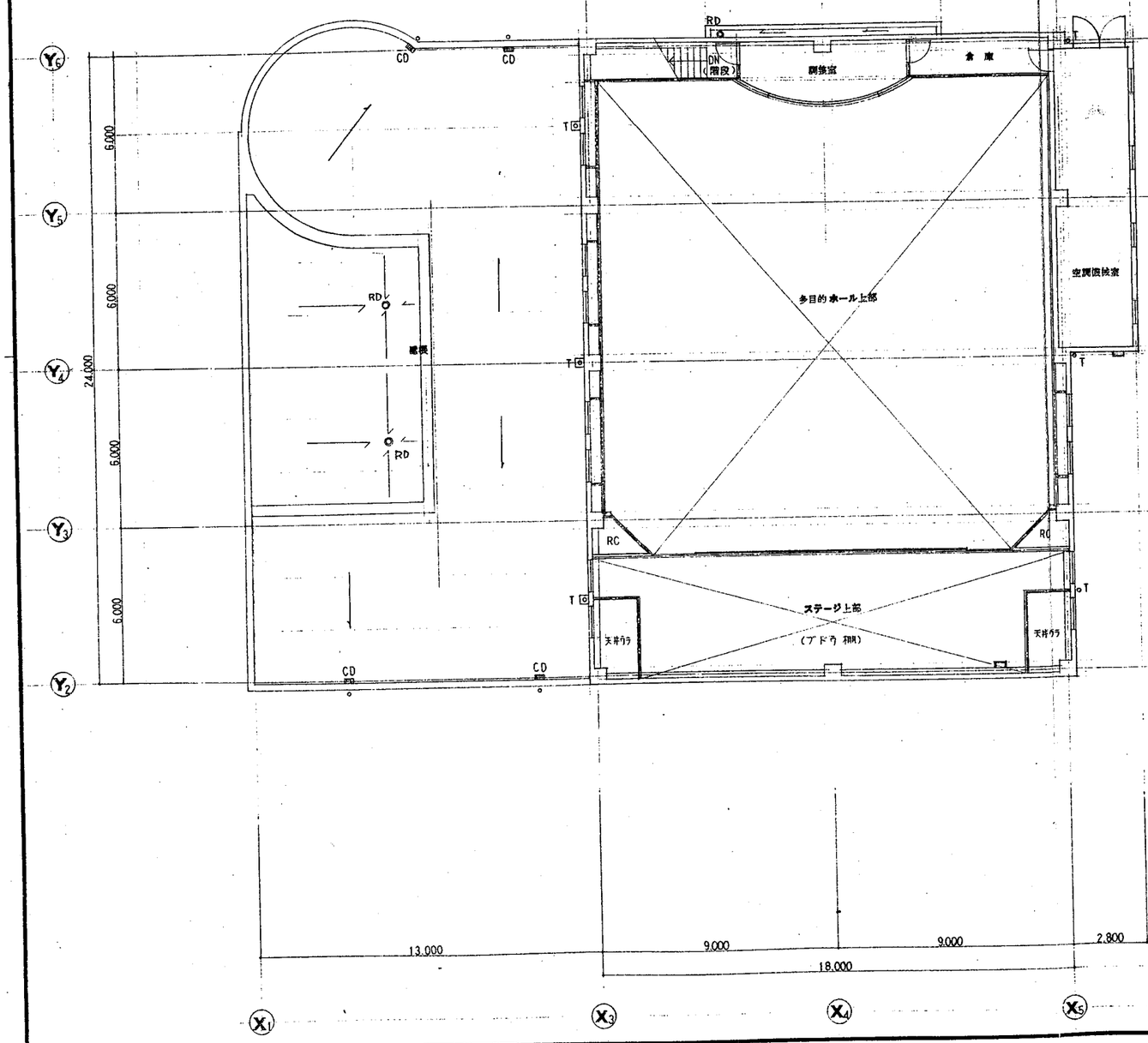
三潴町公民館新築工事

2 階　平面図

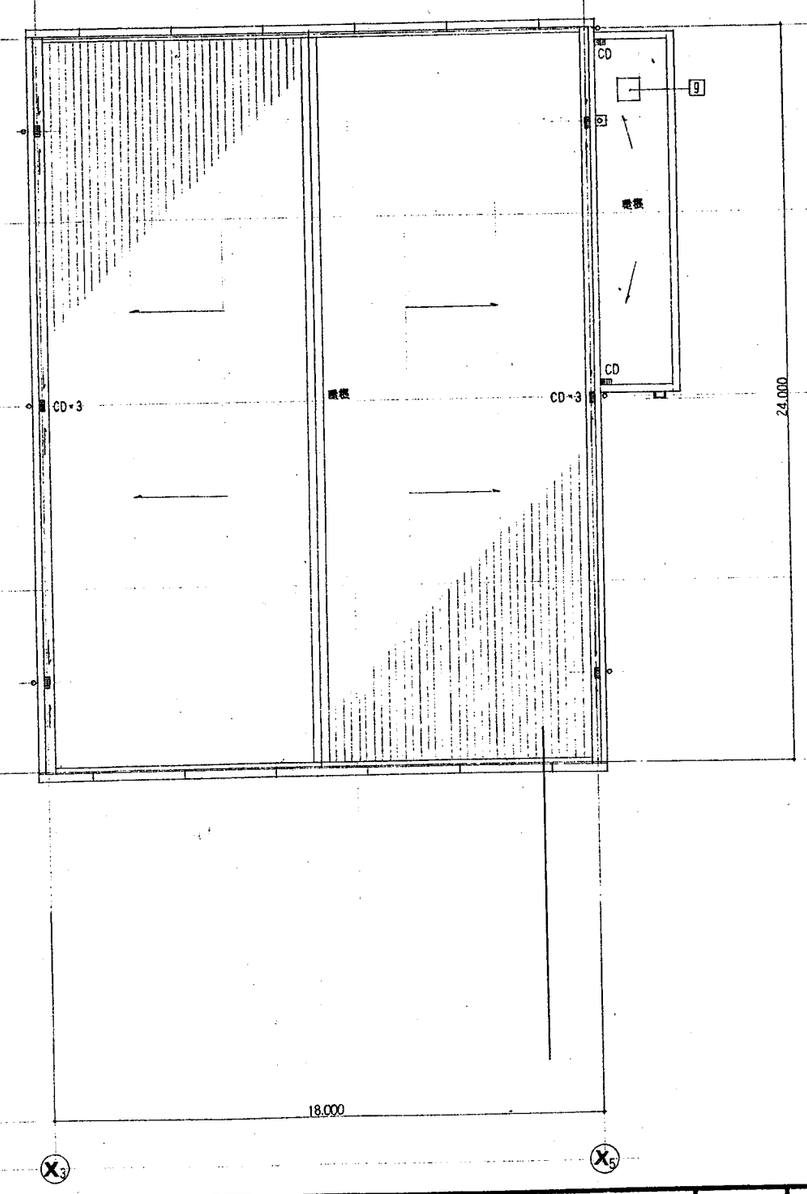
1:100

1007

3階 平面図 1:100

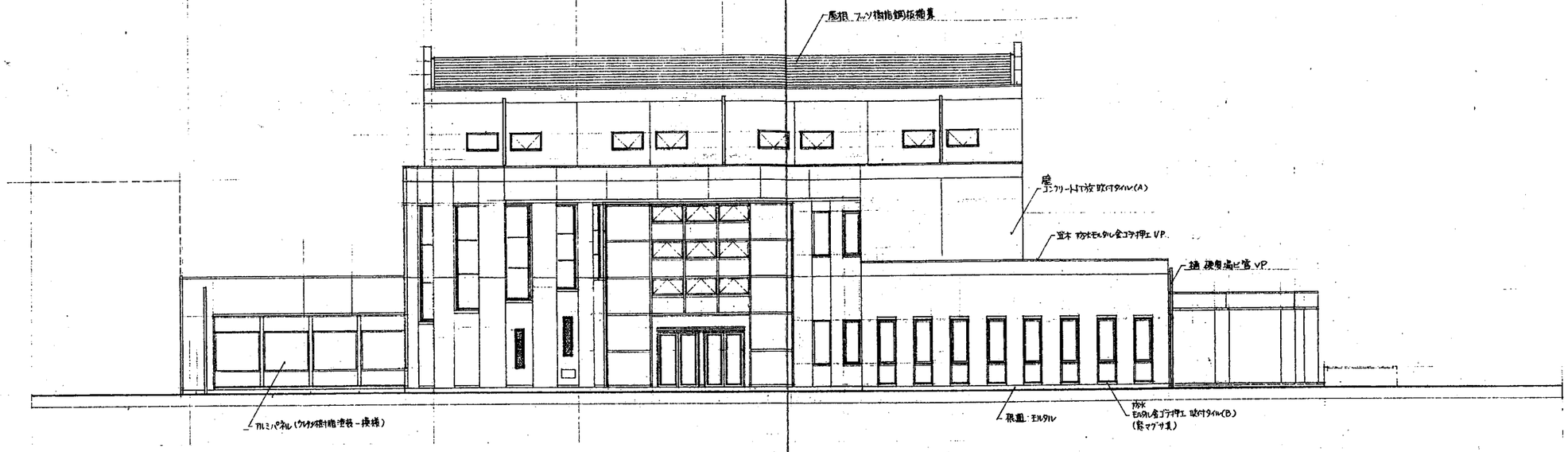


屋根伏図 1:100

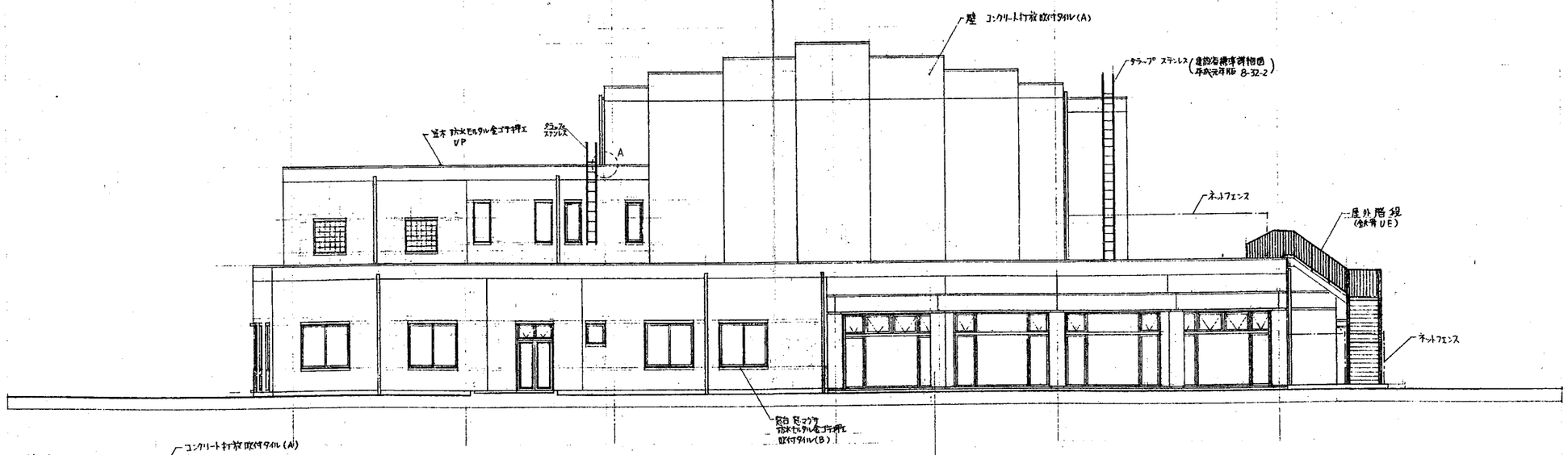


三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

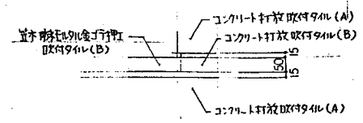
設工	三浦町公民館新築工事	A-7	34033
	3階 平面図 屋根伏図	1:100	1008



西　立面図 1:100

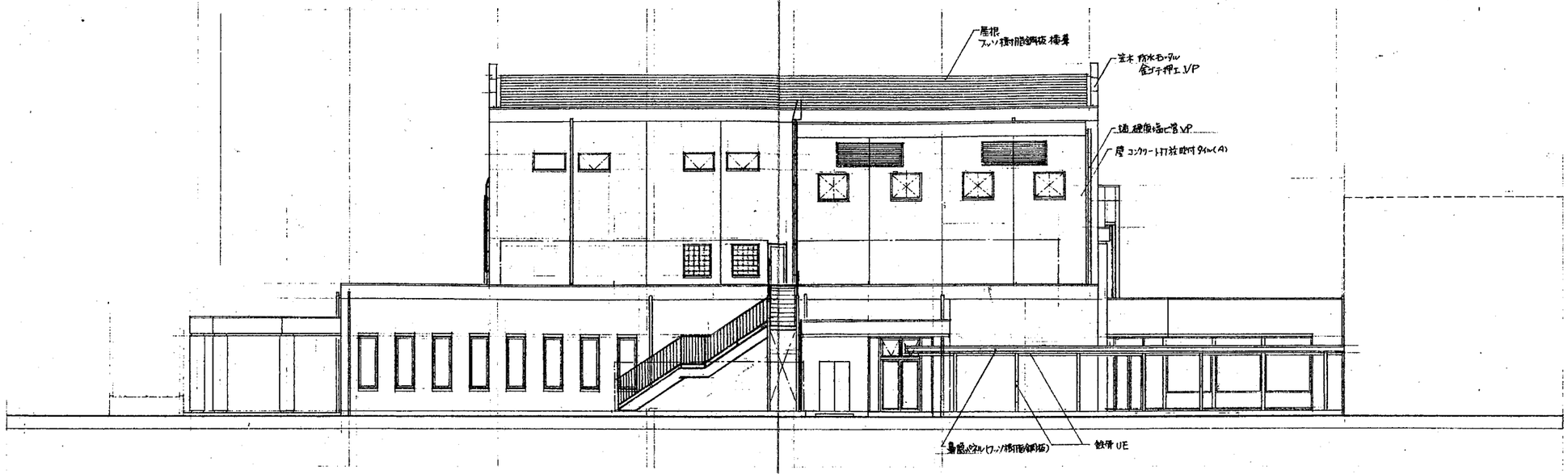


南　立面図 1:100

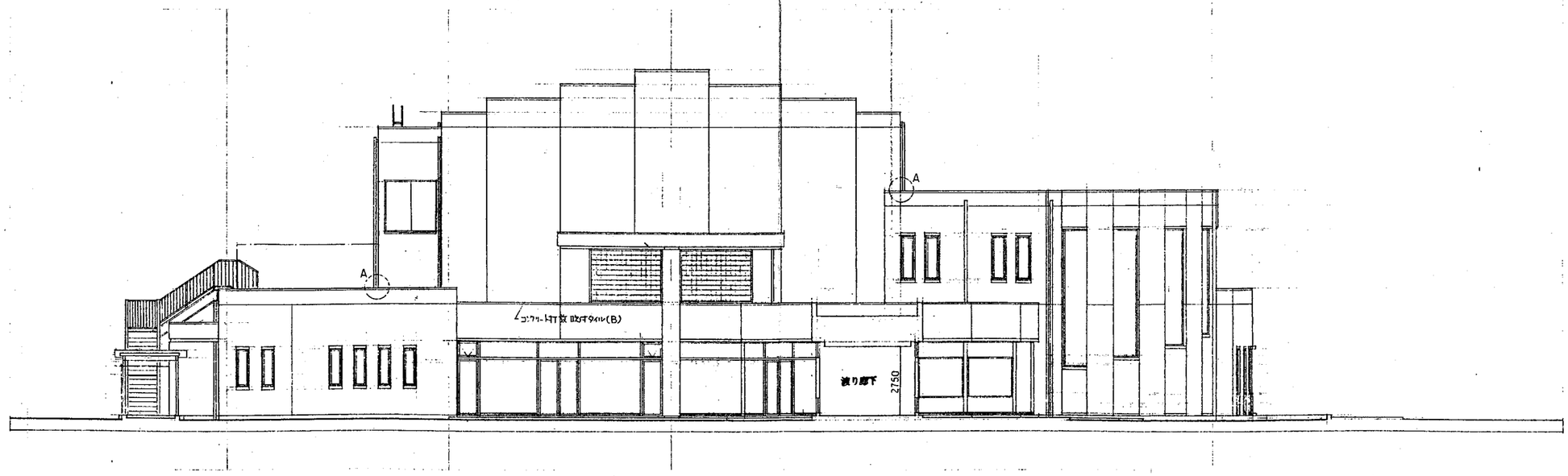


A部分 詳細図 1:10

三島設計事務所 MISHIMA ARCHITECTS OFFICE	竣工	三潴町公民館新築工事	4 7	84033
		西南 立面図	1:100	1009



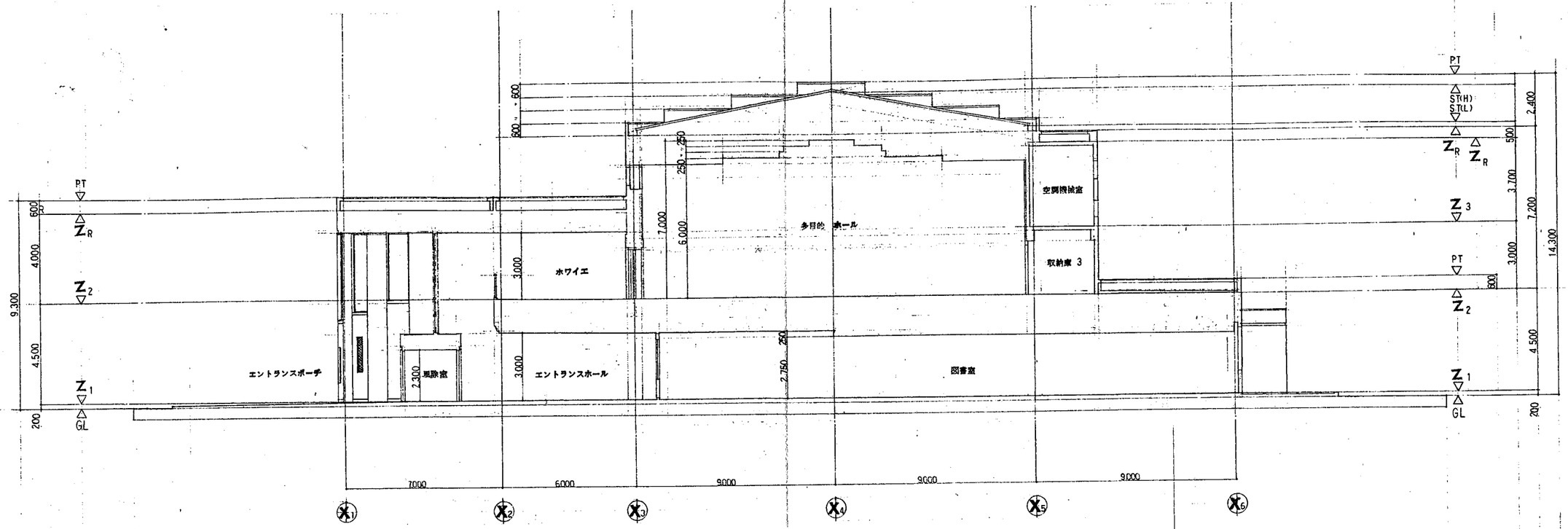
東　立面図　1:100



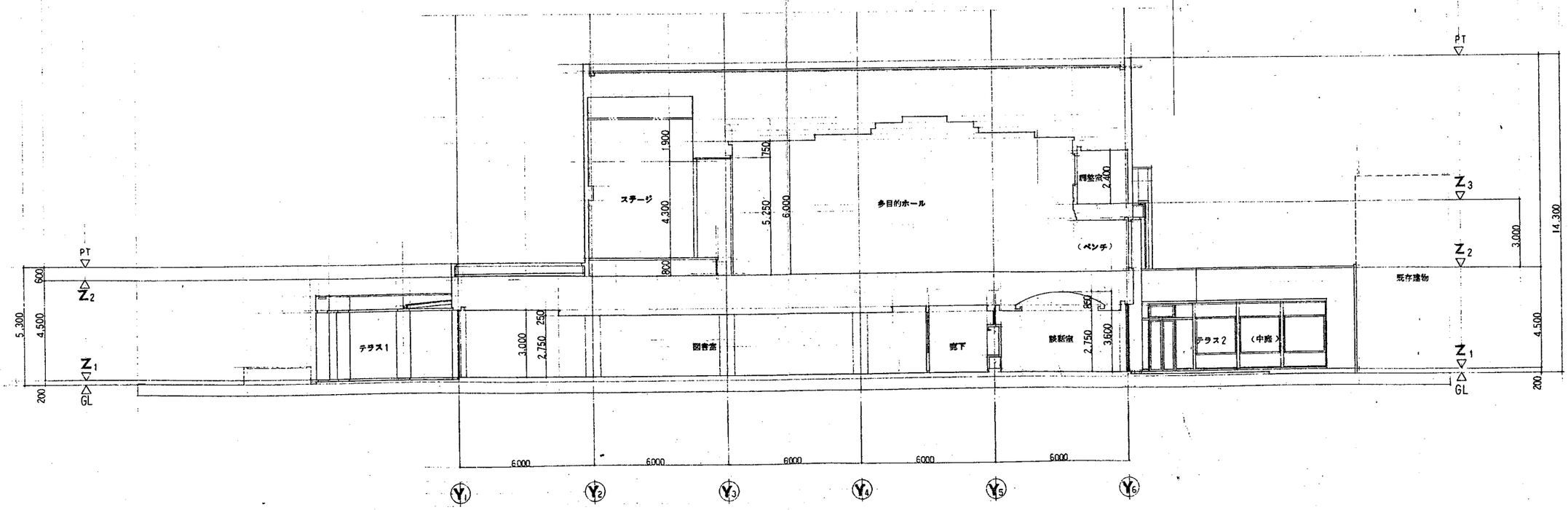
北　立面図　1:100

三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

三浦町公民館新築工事			
東 北　立面図	1:100	1010	



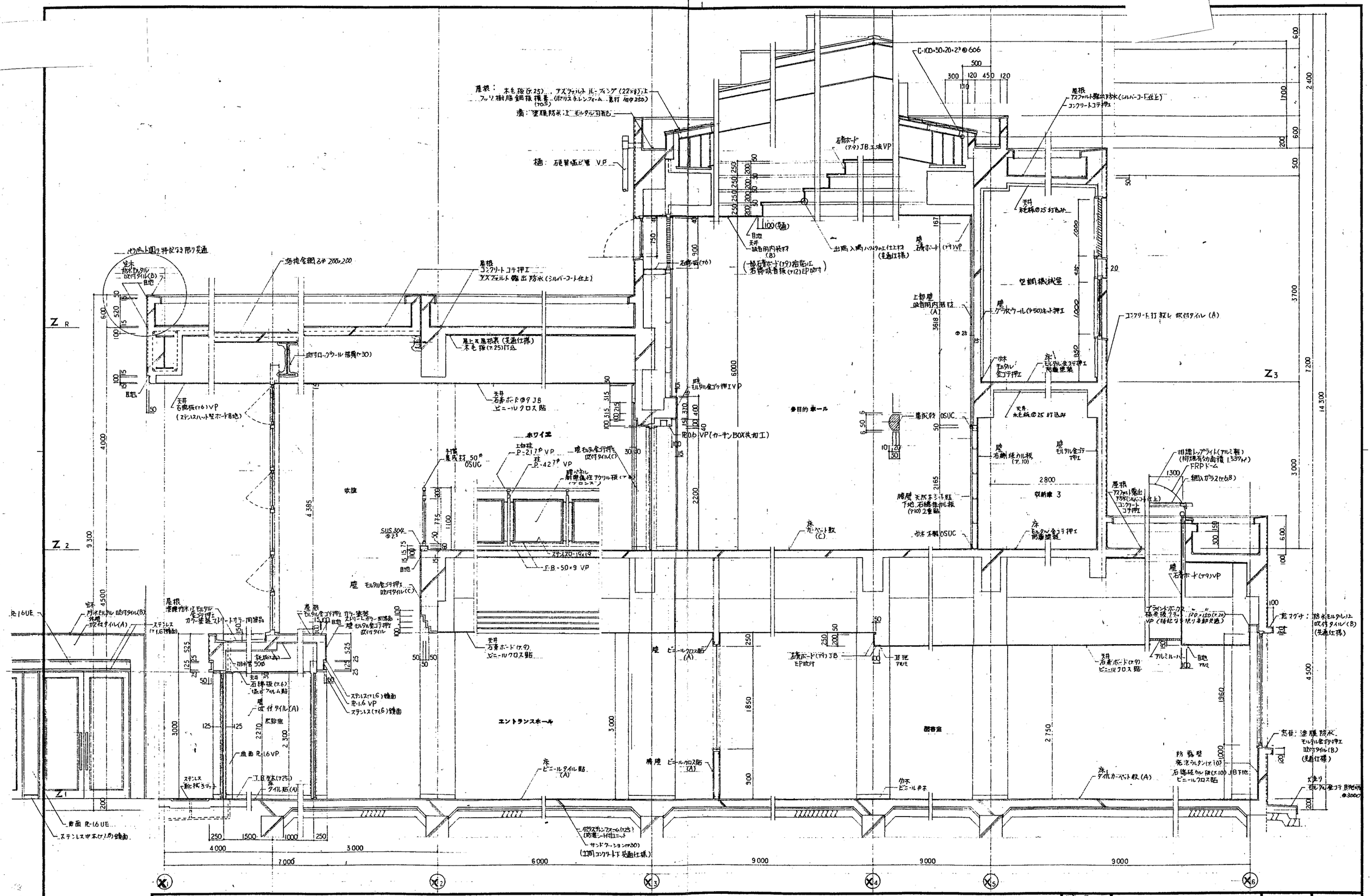
断面図 1

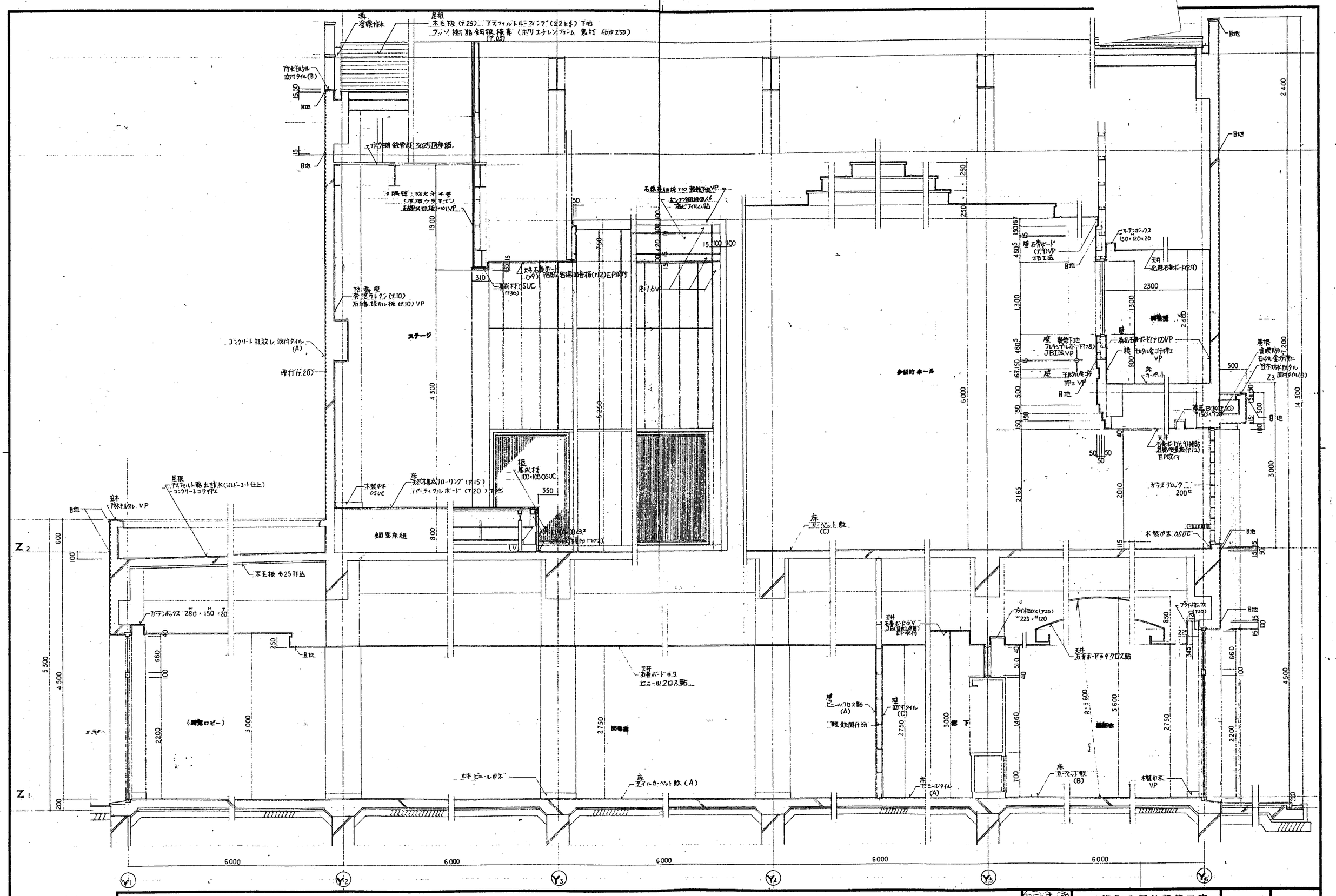


断面図 2

三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

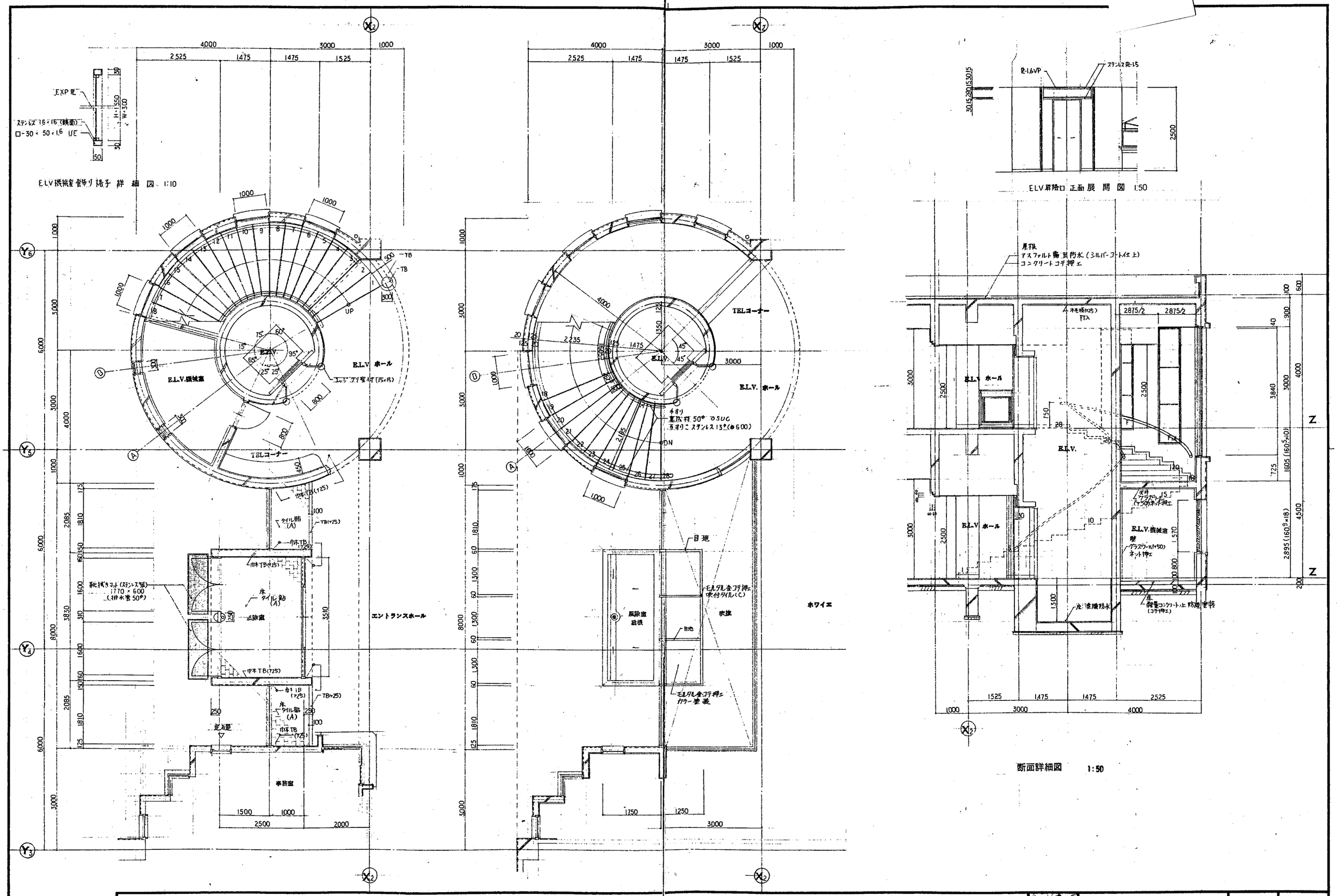
三潴町公民館新築工事	4.7	34033
断面図	1:100	1011


エントランスホール
多目的ホール
ホワイエ
吹抜
空調機械室
収納庫 3
調理室
屋根：木毛板(t25)…アスファルトルーフィング(22kg)上…フッ素樹脂鋼板葺…(ポリスチレンフォーム…)
壁：塗膜防水上モルタル刷毛
樋：硬質塩ビ管 V.P
屋根 アスファルト露出防水(シルバーコート仕上)
コンクリートコテ押エ
天井 木毛板@25 打込み
天井 石膏板(t6)VP
(ステンレスハット型ボード目地)
天井 石膏ボード(t9)JB
ビニールクロス貼
R20.6 VP(カーテンBOX共加工)
集成材 OSUC
壁 モルタル金コテ押エ VP
壁 モルタル金コテ押エ
吹付タイル(C)
壁パネル
解体鋼板 アクリル板(t7)
(ブロンズ)
SUS 304 @2.5
ステンレス20-19×19
F.B-50×9 VP
壁 モルタル金コテ押エ
吹付タイル(C)
天井 石膏ボード(t9)
ビニールクロス貼
壁 ビニールクロス貼
(A)
天井 石膏ボード(t9)JB
EP吹付
目地
アルミ
天井 石膏ボード(t9)
ビニールクロス貼
アルミルーバー
目地
アルミ
壁 石膏ボード(t9)VP
壁 ガラスウール(t50)ネット押エ
コンクリート打放し 吹付タイル(A)
集成材 OSUC
壁 石綿硅カル板
(t10)
壁 モルタル金コテ押エ
天井 木毛板@25 打込み
1時間トップライト(アルミ製)
(1時間耐火効力面積 1.537㎡)
FRPドーム
網入ガラス(t6.8)
壁 石膏ボード(t9)VP
壁 モルタル金コテ押エ
前面塗装
床 カーペット敷
(C)
床 カーペット敷(A)
壁 ビニールクロス貼
(A)
床 ビニールタイル貼
(A)
ビニールクロス貼
(A)
床 タイル貼(A)
ビニールクロス貼
ビニールクロス貼
壁 ビニールクロス貼
(A)
ポリスチレンフォーム(t25)
(防湿シート付ユニット)
サンドクッション(t30)
(1時間コンクリート下地仕様)
壁 塗膜防水
モルタル金コテ押エ
吹付タイル(B)
(共通仕様)
壁マグサ：防水モルタル上
吹付タイル(B)
(共通仕様)
防音壁
発泡ウレタン(t10)
石膏硅カル板(t10)JB下地
ビニールクロス貼
床 タイルカーペット敷(A)
外壁 塗り
モルタル金コテ目地
@3000
Z R
Z 2
Z 1
Z 3
X1
X2
X3
X4
X5
X6
4000
3000
7000
6000
9000
9000
9000
14300
7200
3700
2400
三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE
三浦町公民館新築工事
矩計詳細図 1
4.7
1:30
34033
1012



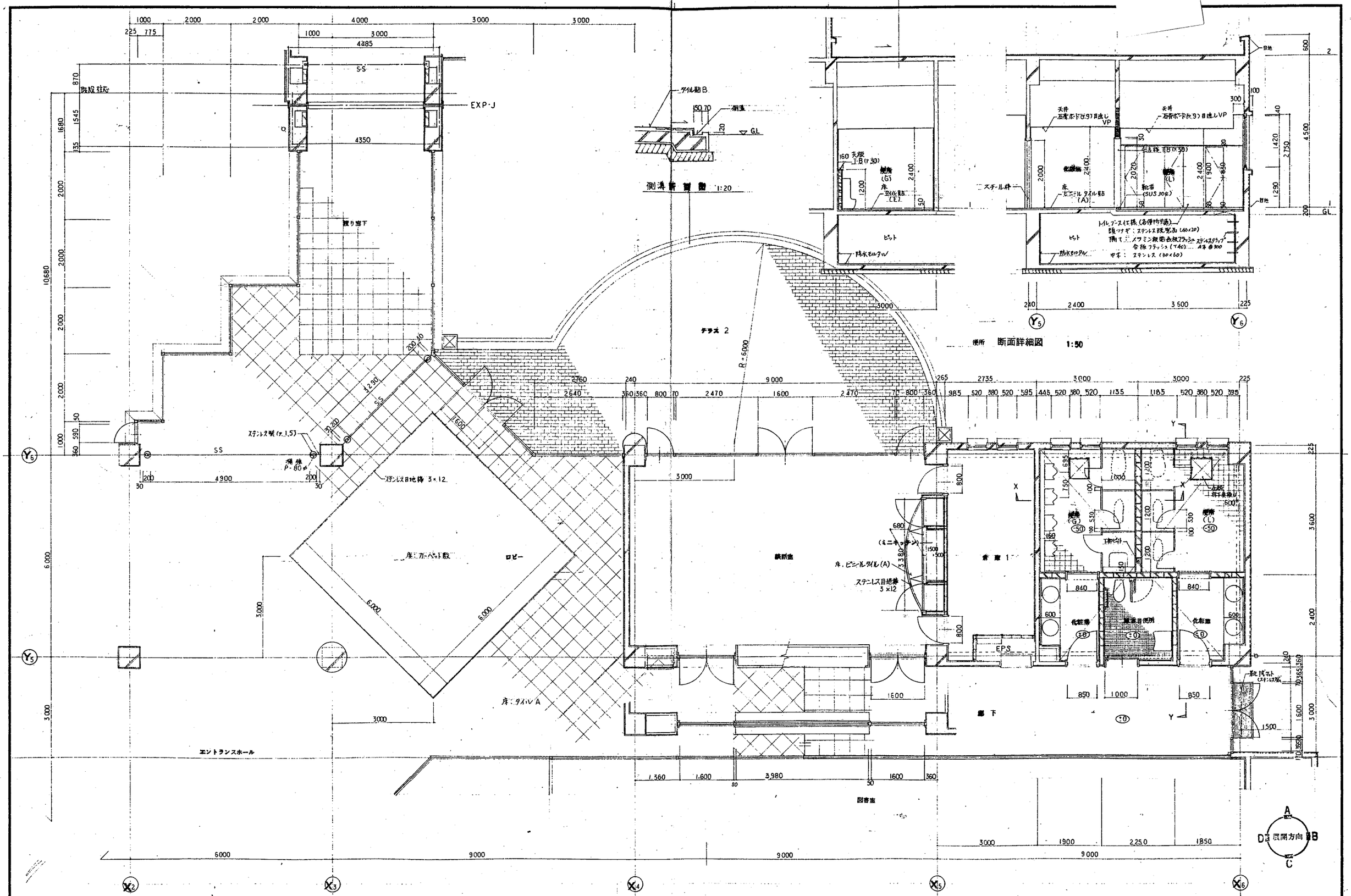
三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

施工図	三潴町公民館新築工事	S.1/	84033
	矩計学細図 2	1:30	1013



三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

竣工図	三潴町公民館新築工事	4/7	34033
	1・2階 機械室・階段 平面詳細図	1:50	1014



三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

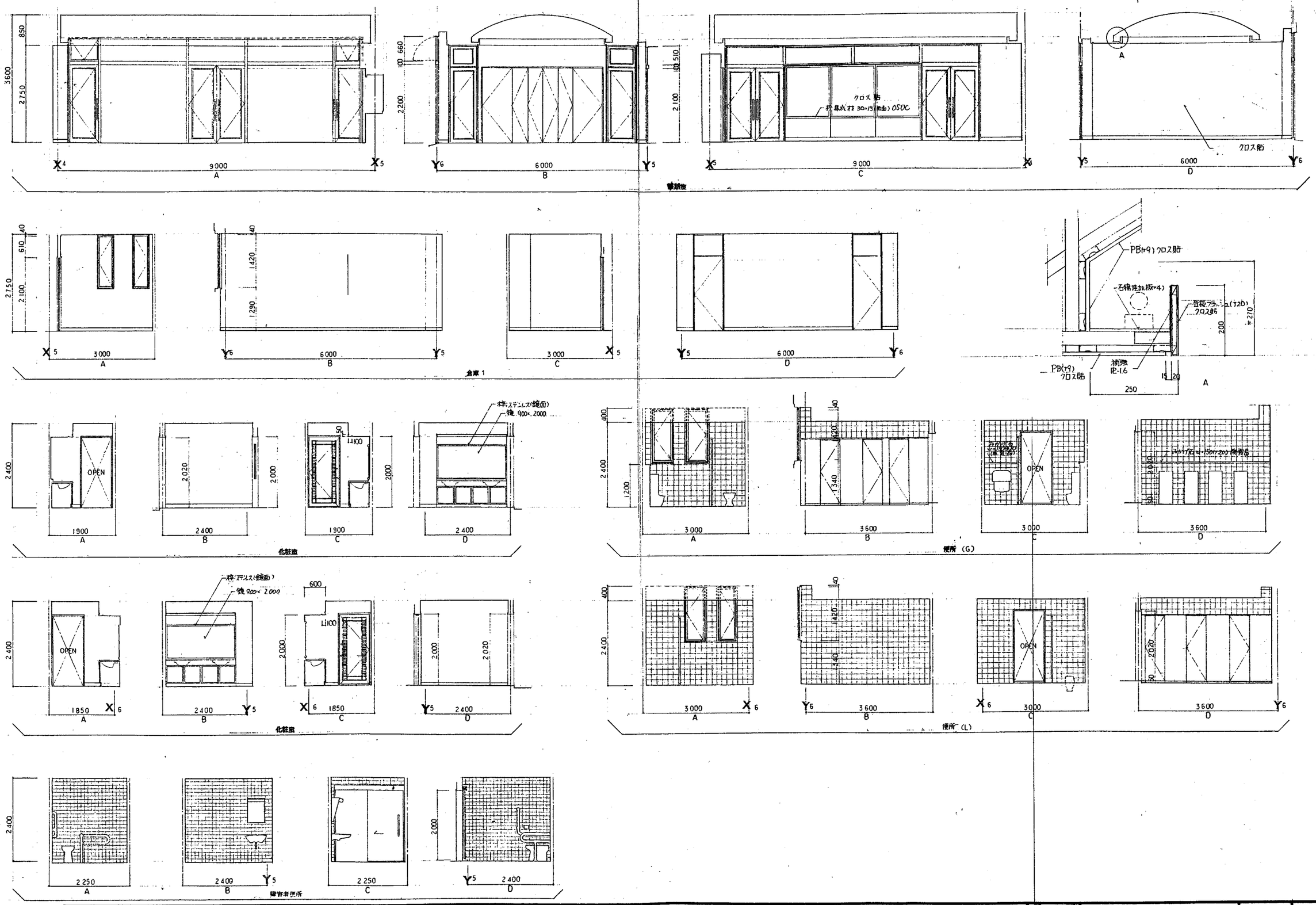
竣工図

三潴町公民館新築工事

1階 談話室・ロビー・便所 平面詳細図

4.7 | 1:50

34033 | 1015



三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

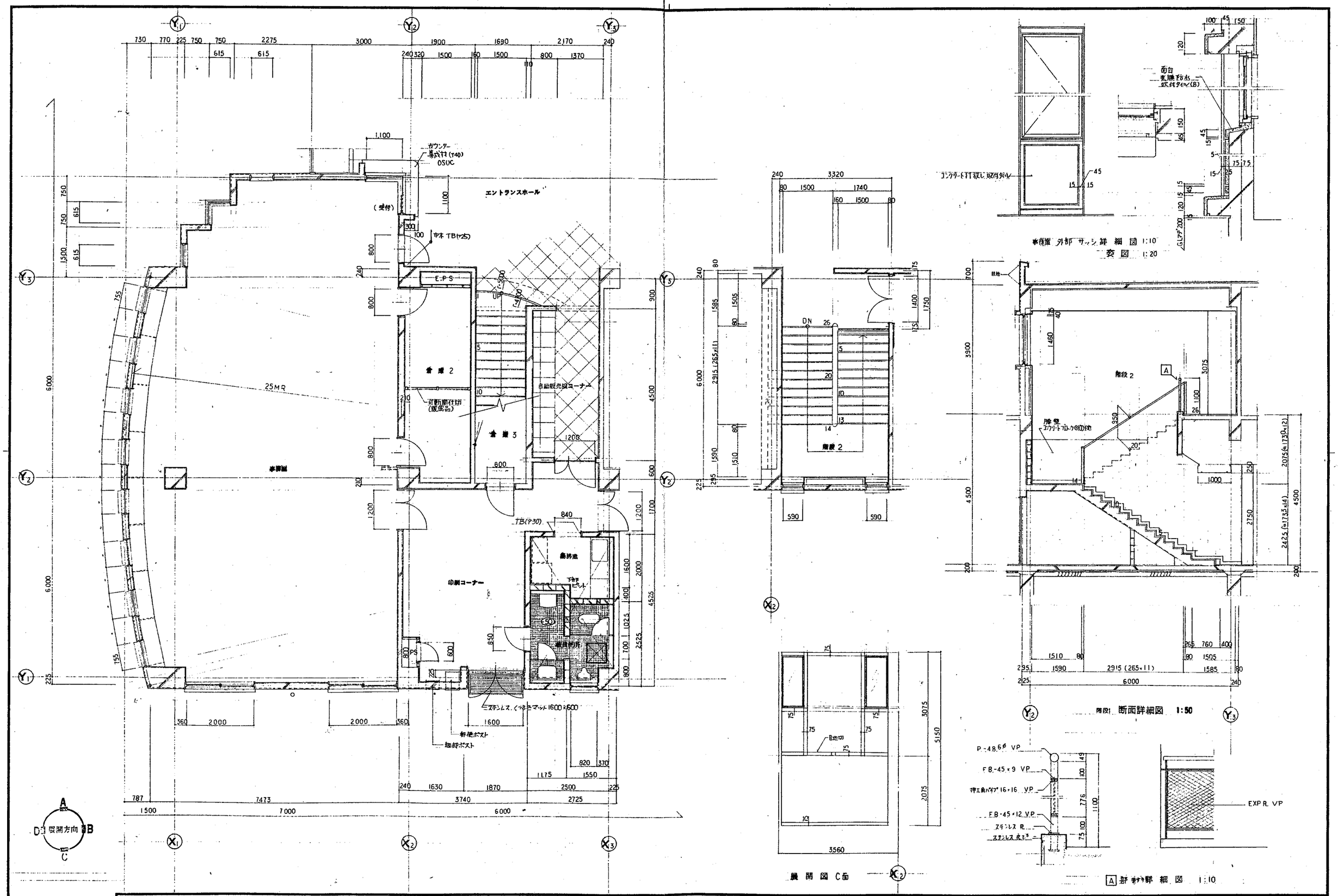
竣工図

三沸町公民館新築工事

飯炊室・倉庫1
化粧室・便所 G・L
展開図

4.7
1:50

34033
1016



三島設計事務所
MISHMA ARCHITECTS OFFICE

竣工図

三潴町公民館新築工事

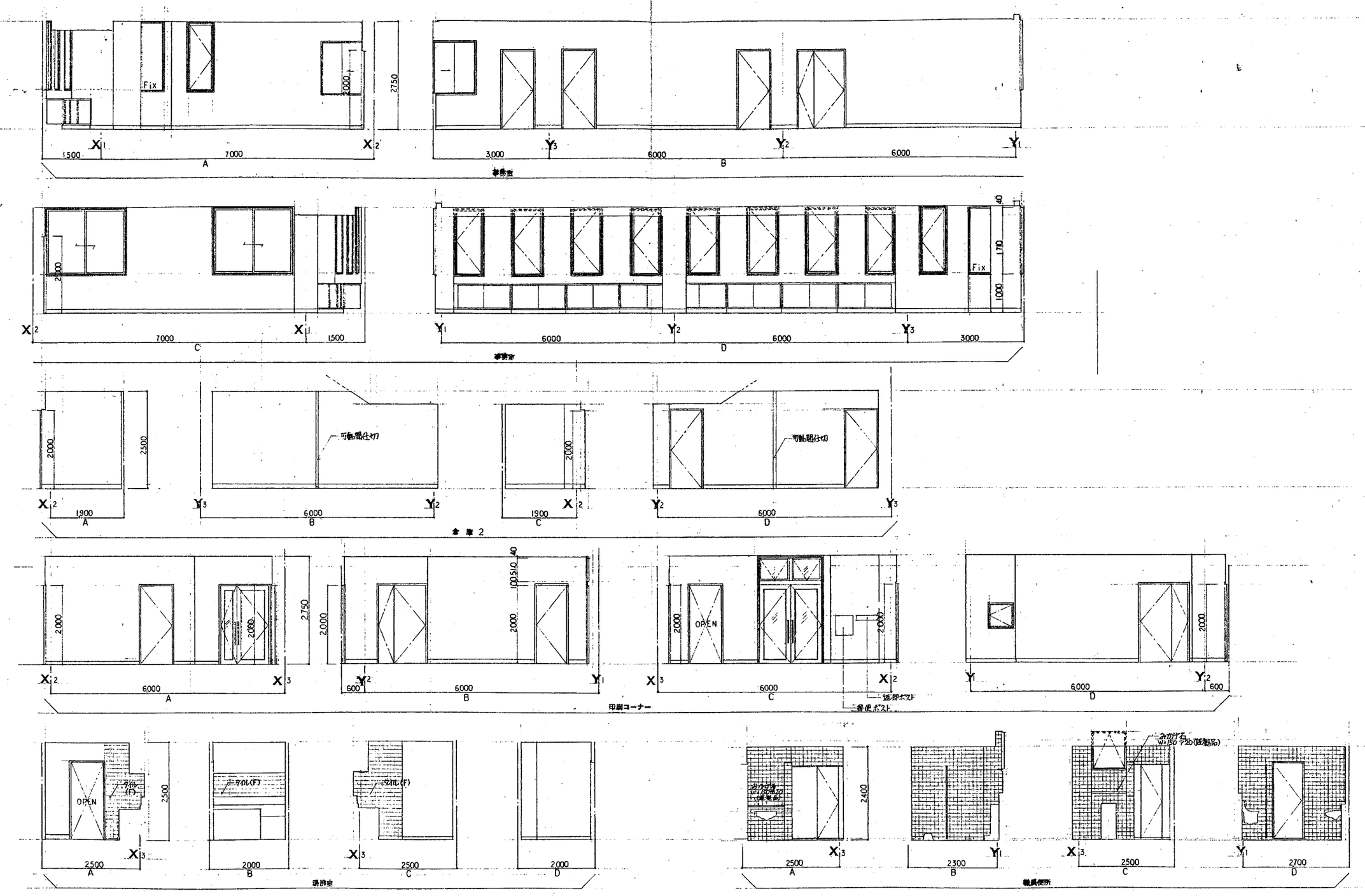
1階 印刷コーナー・倉庫・事務室・階段2 平面詳細図 断面詳細図

1:50

A.T

34C33

1017



三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

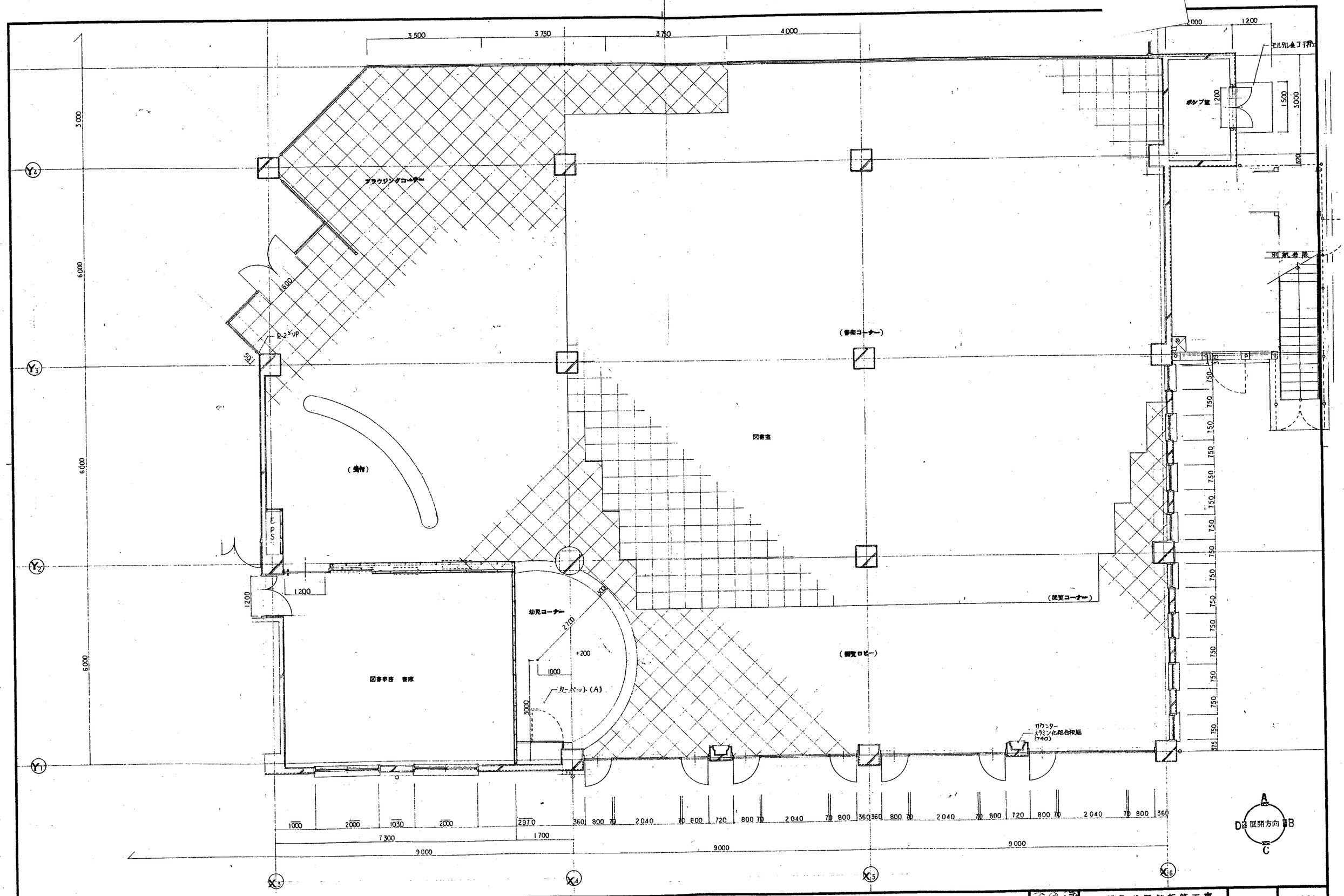
竣工図

三潴町公民館新築工事

事務室 倉庫 湯沸室 印刷コーナー 職員便所 展開図

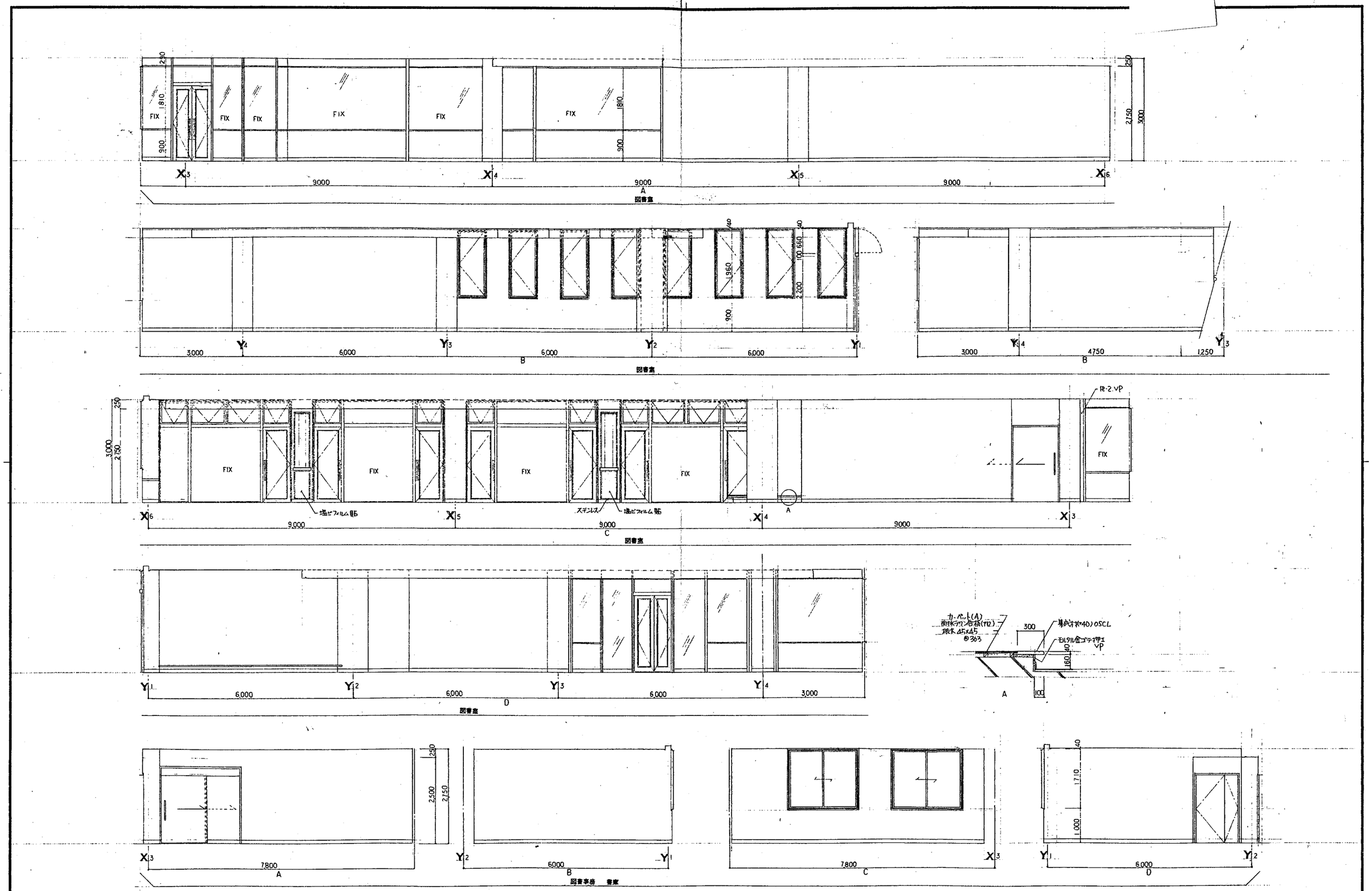
4/7 1:50

34033 1018



三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

三潴町公民館新築工事	4.7	4033
1階 図書室・ポンプ室 図書事務 書庫 平面詳細図	1:50	1019



三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

竣工図

三潴町公民館新築工事

図書室
図書事務・書庫

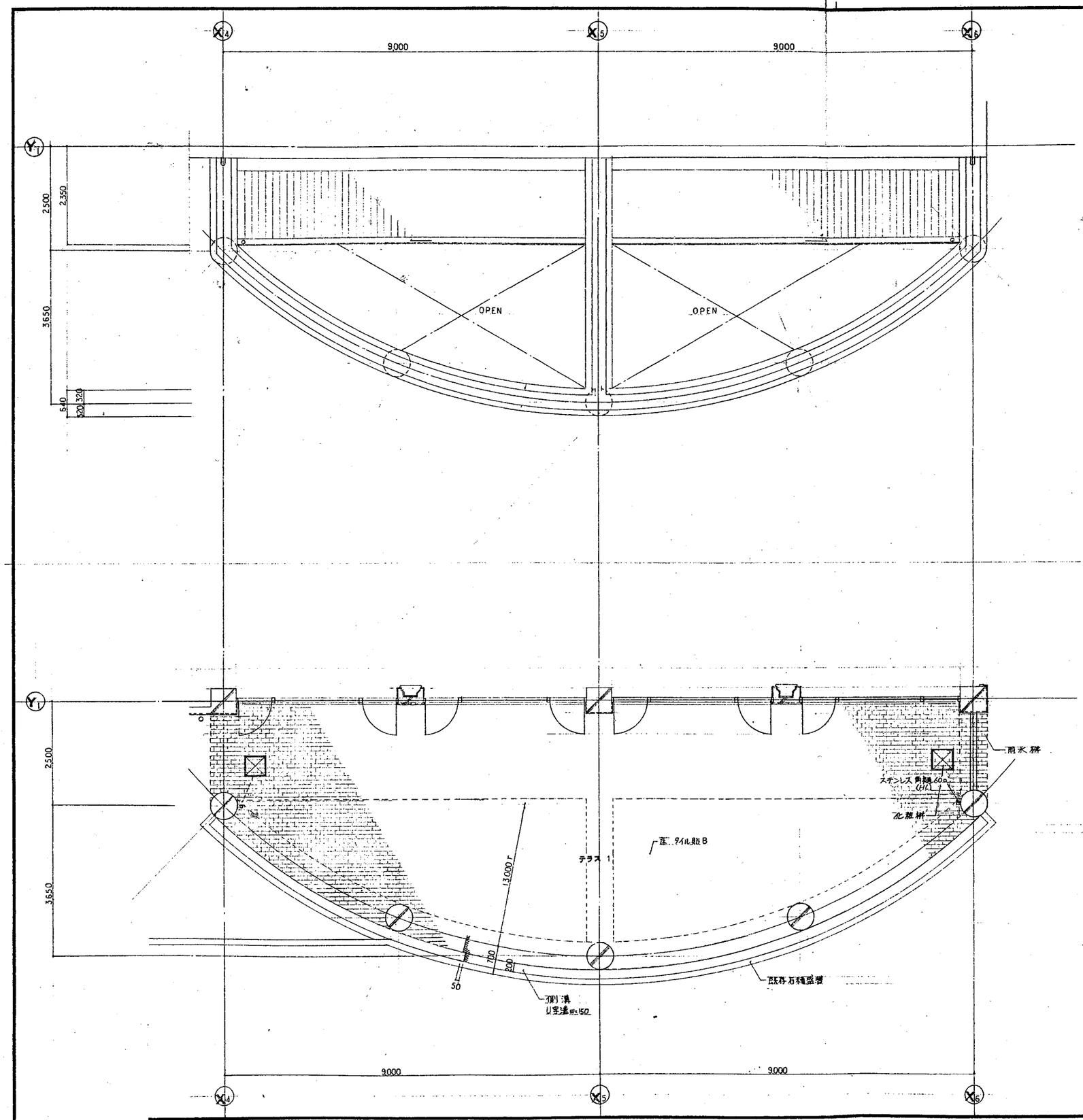
展開図

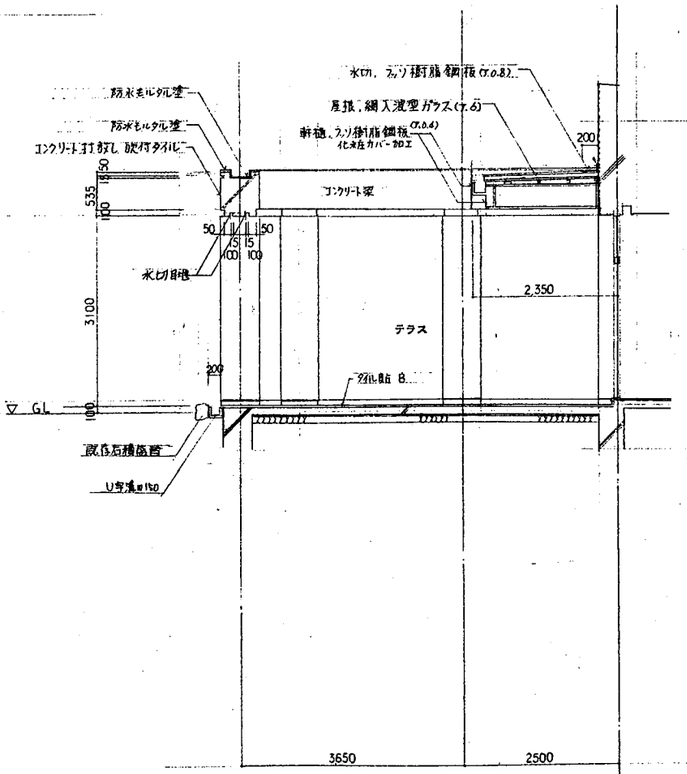
4/7

1:50

34033

1020

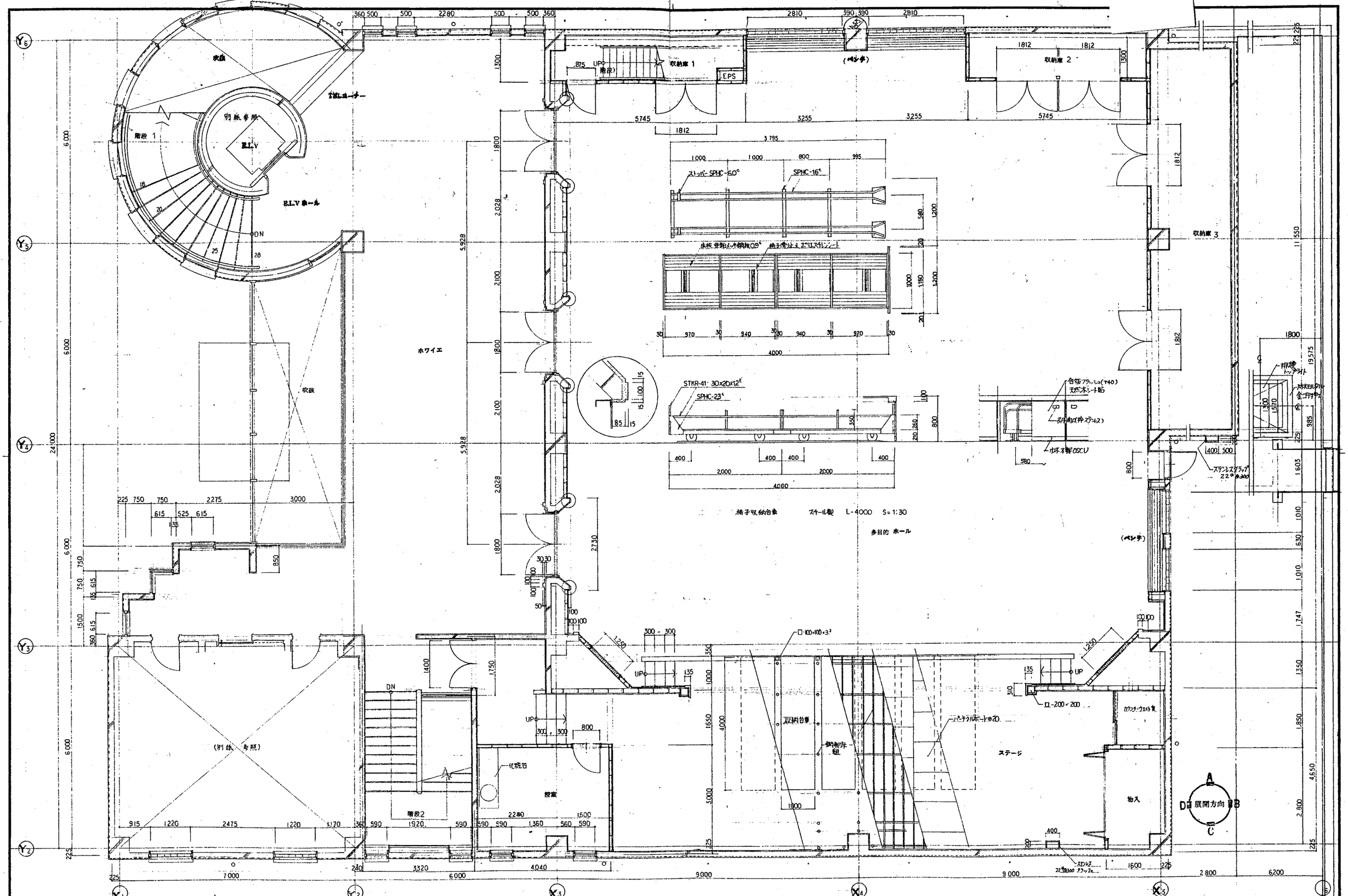




テラス 断面詳細図 1:50

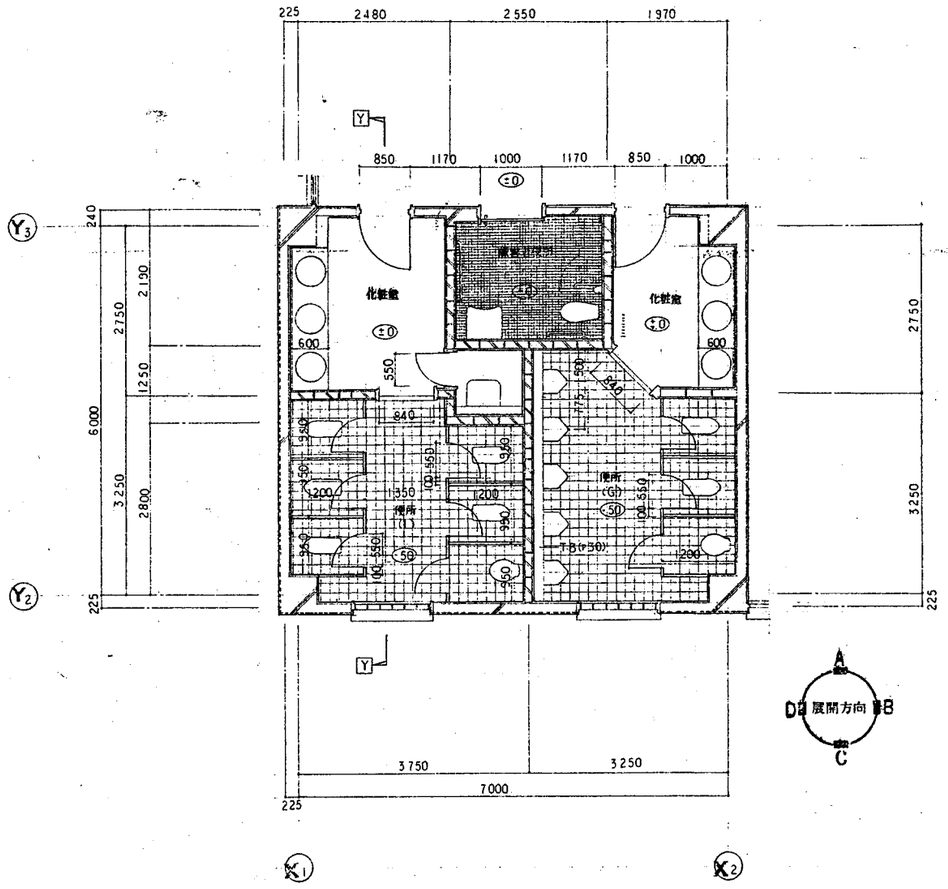
三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

竣工図	三浦町公民館新築工事	4.7	24033
	テラス 平面詳細図	1:50	10.21

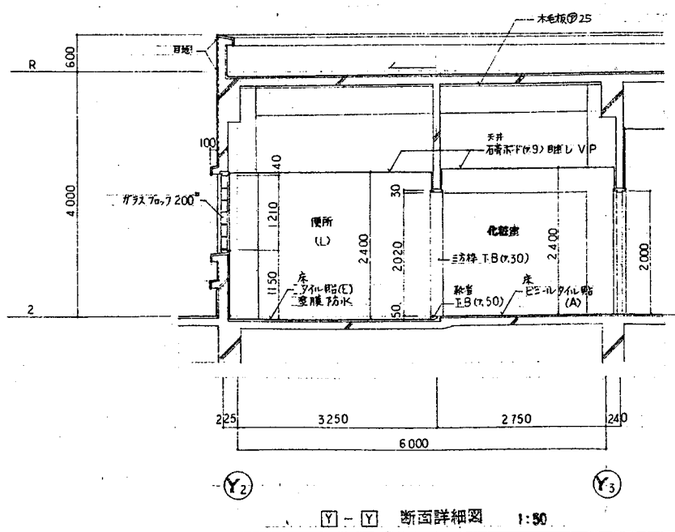


三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

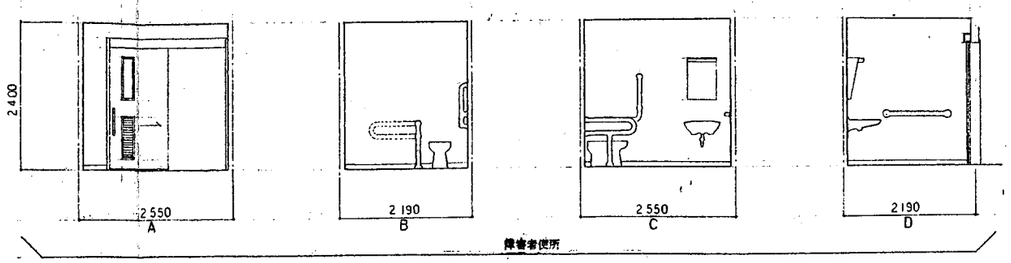
竣工図	三浦町公民館新築工事	1/7	34033
	2階 多目的ホール・ステージ・控室・ホワイエ・収納庫 平面詳細図	1:50	1022

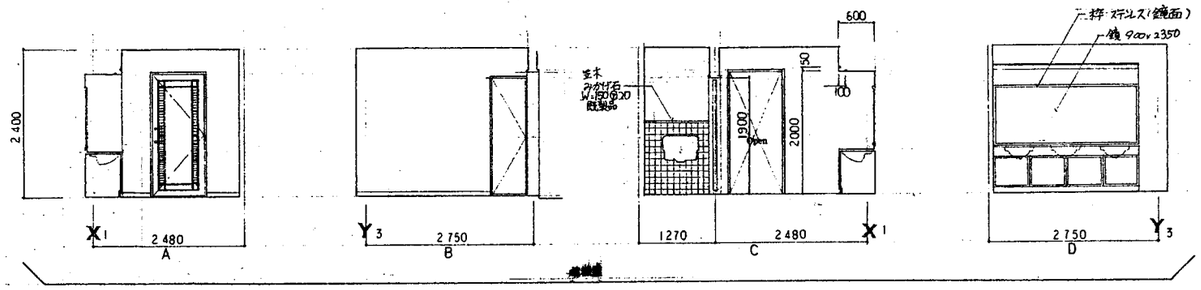


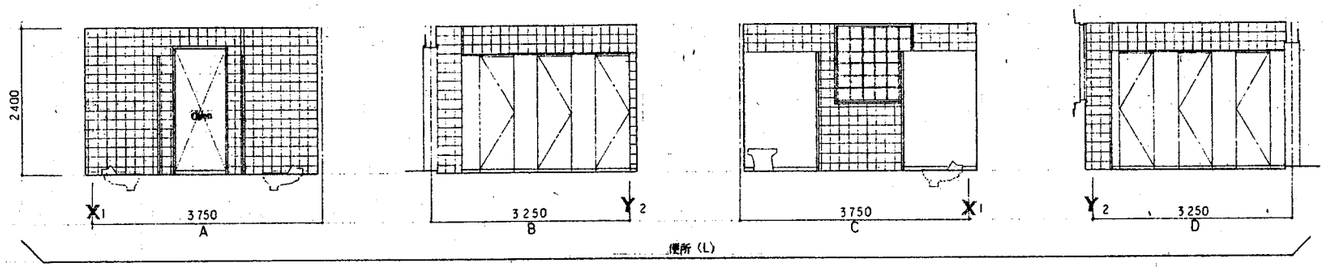
化粧室 (便所 平面詳細図 1:50

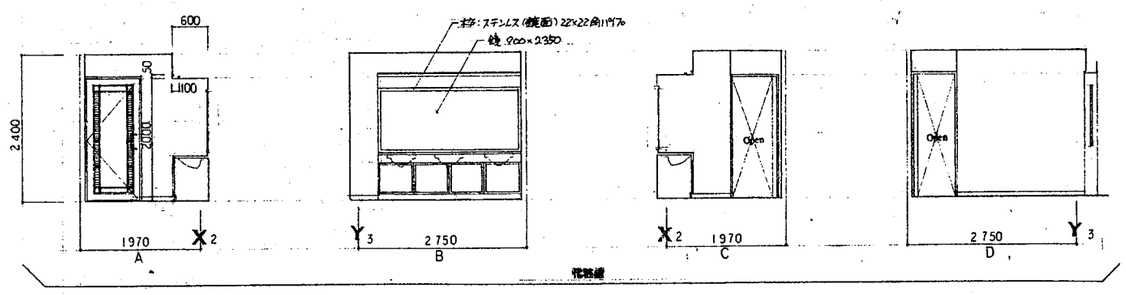


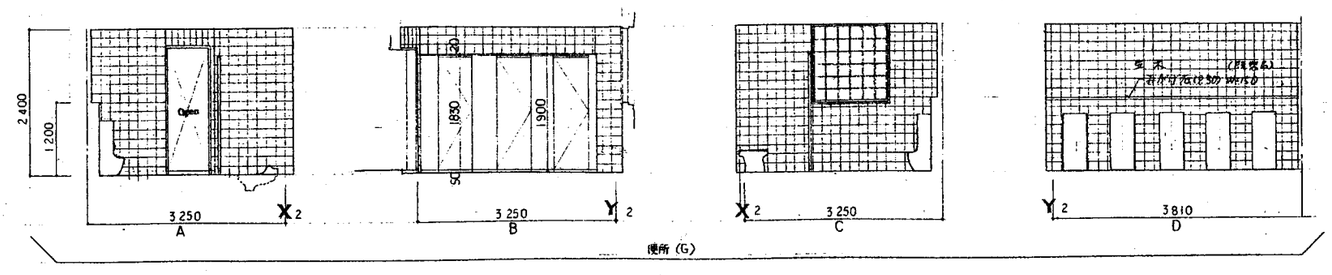
Y - Y 断面詳細図 1:50





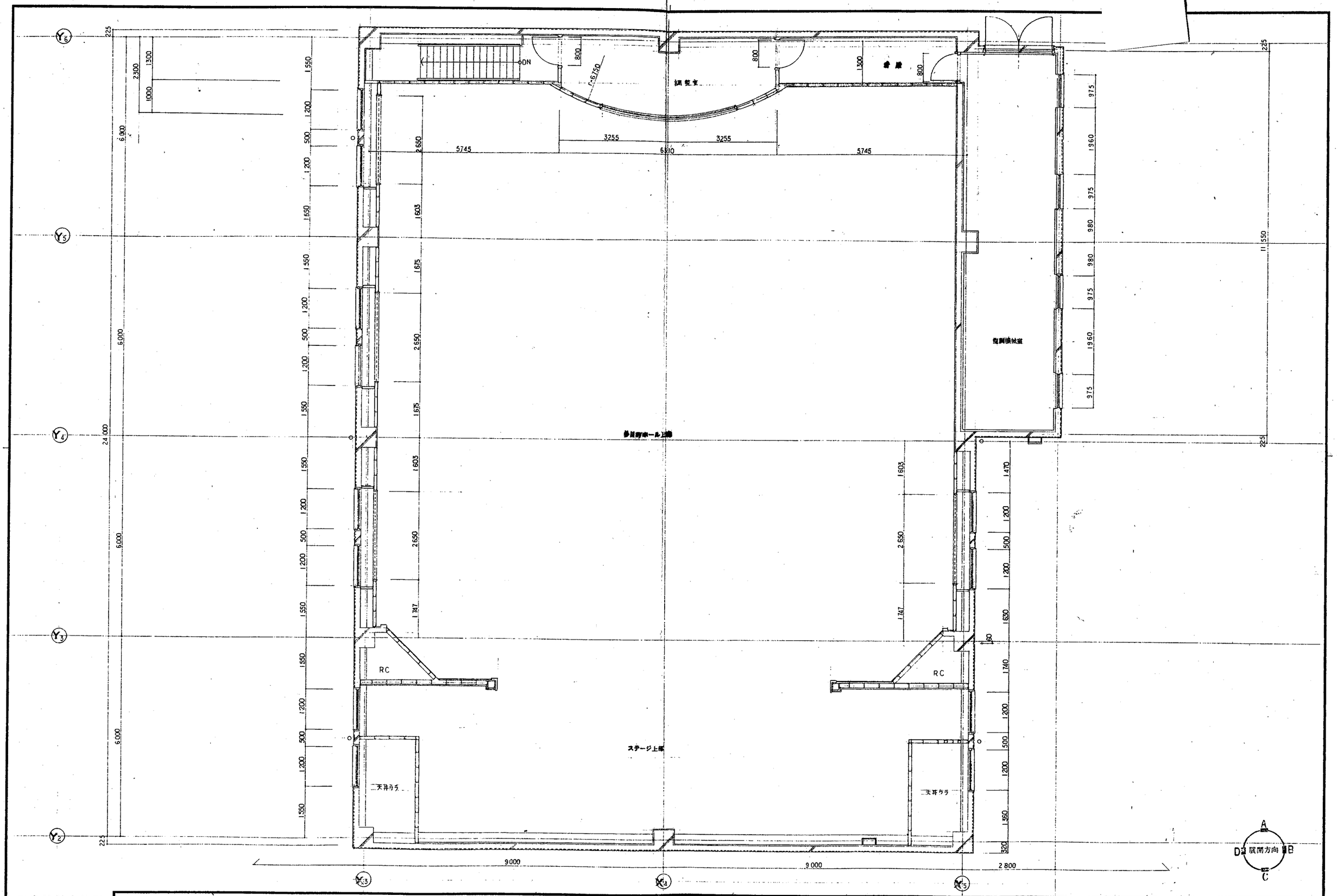






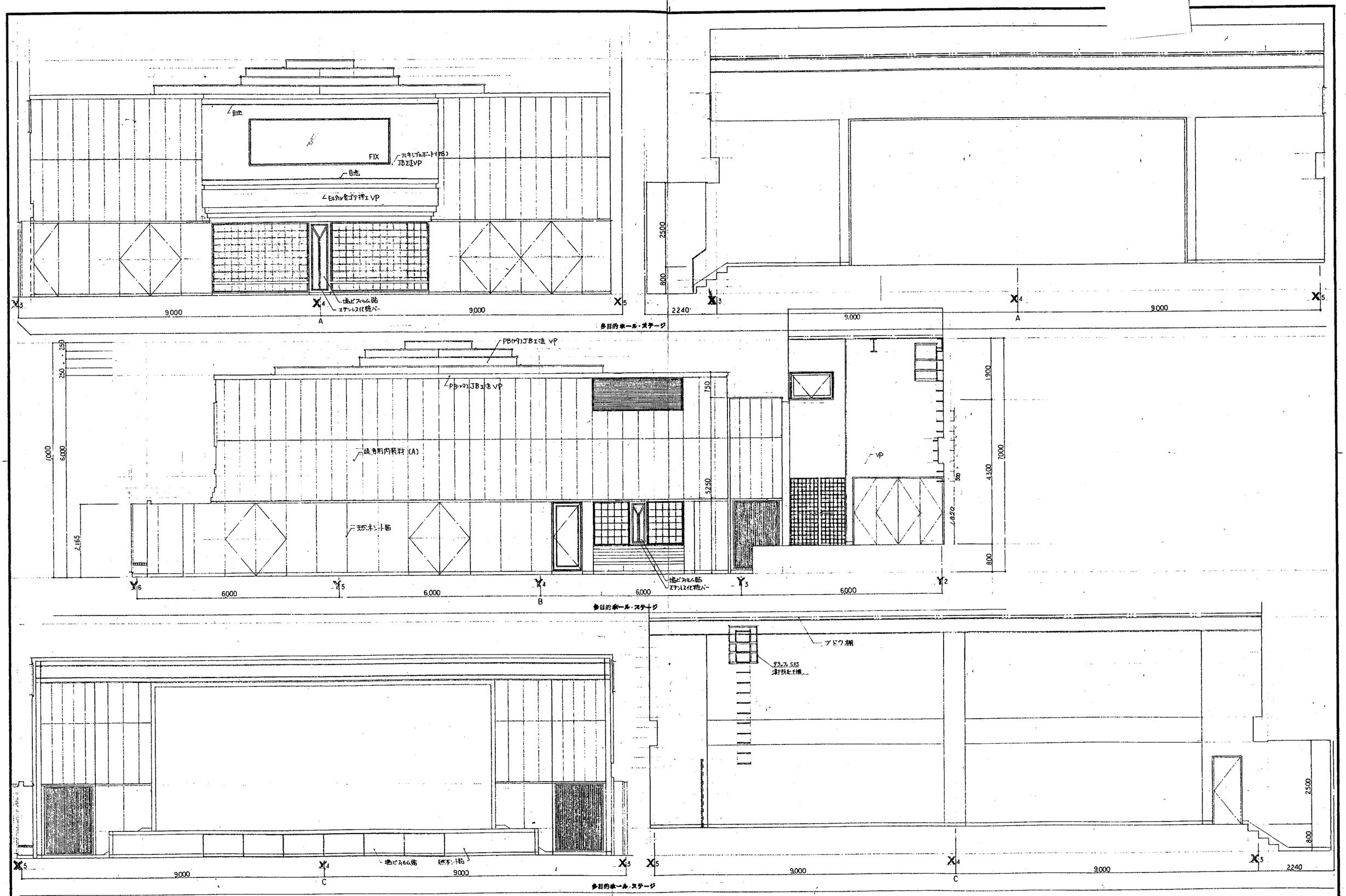
三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

鍛工部	三潴町公民館新築工事	7	34033
	2階 便所・化粧室・障害者便所 平面・断面詳細図 展開図	1:50	1023



三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

竣工	三潴町公民館新築工事	4/7	34033
	3 階 平面詳細図	1:50	1024



三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

竣工図

三潴町公民館新築工事

2階 多目的ホールステージ 展開図

4.7.7

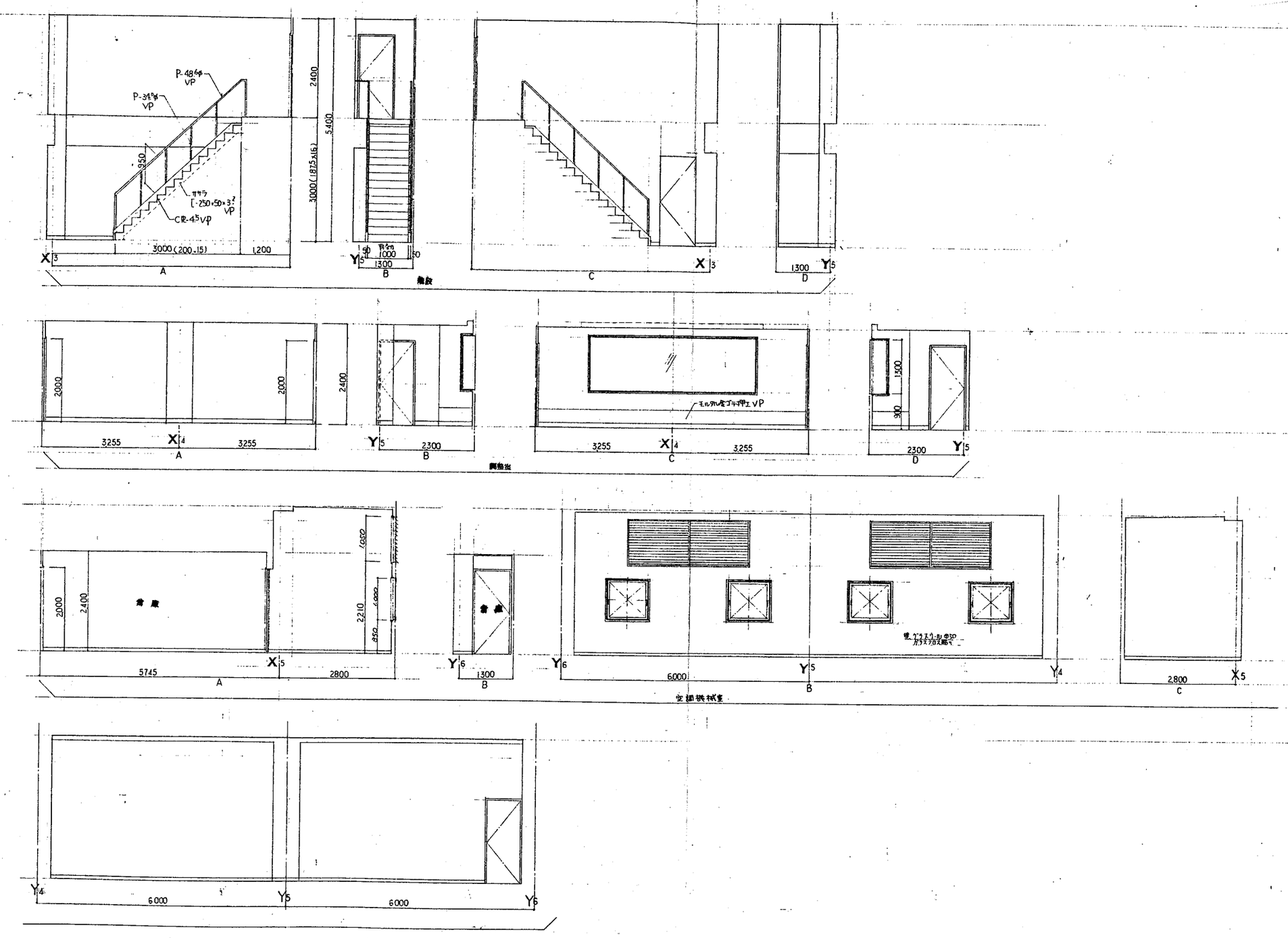
1:50

34033

1025

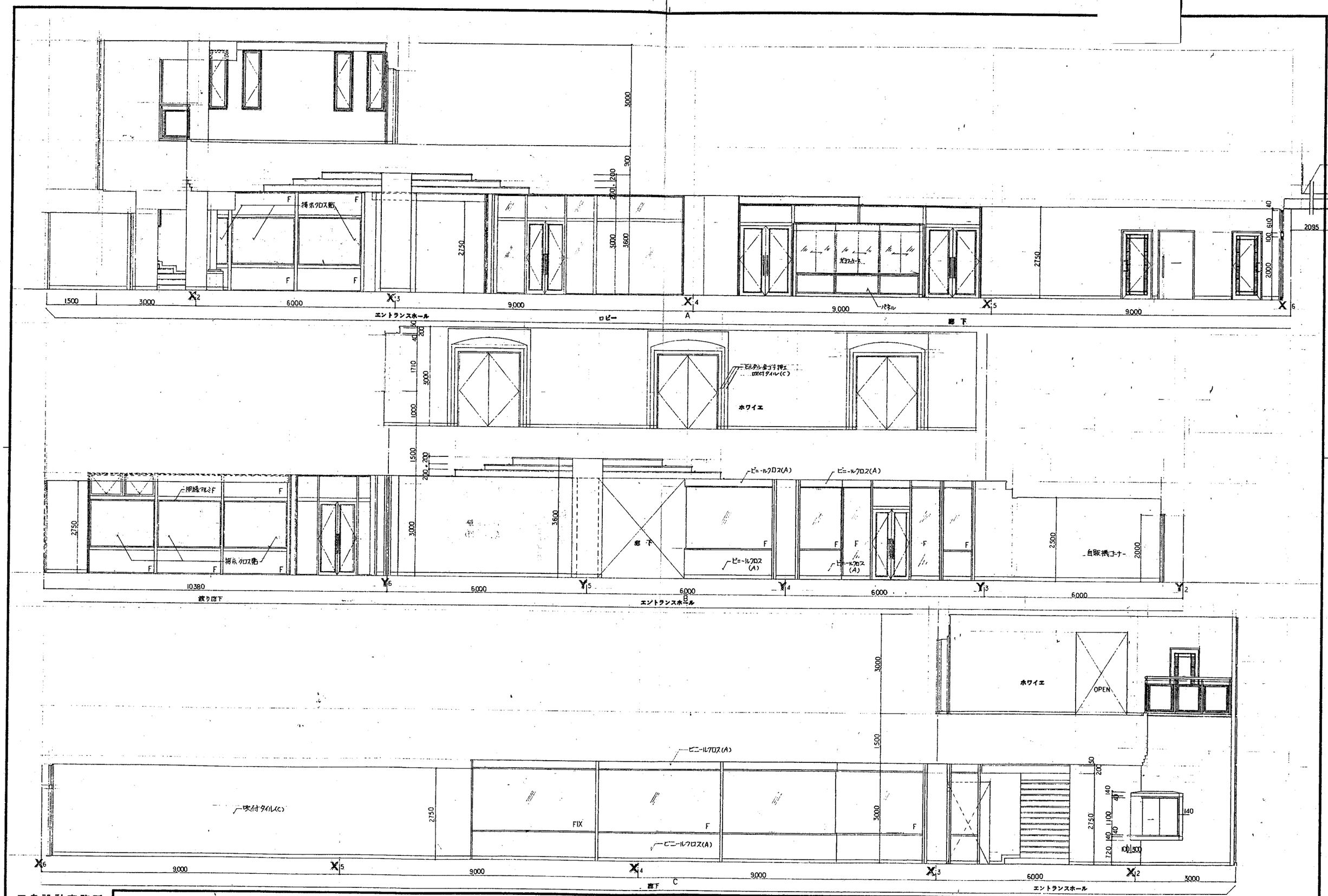
三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

竣工図	黒瀬町公民館新築工事 多目的ホール 控室 収納庫 物入 展開図	A1 1:50	34033 1026



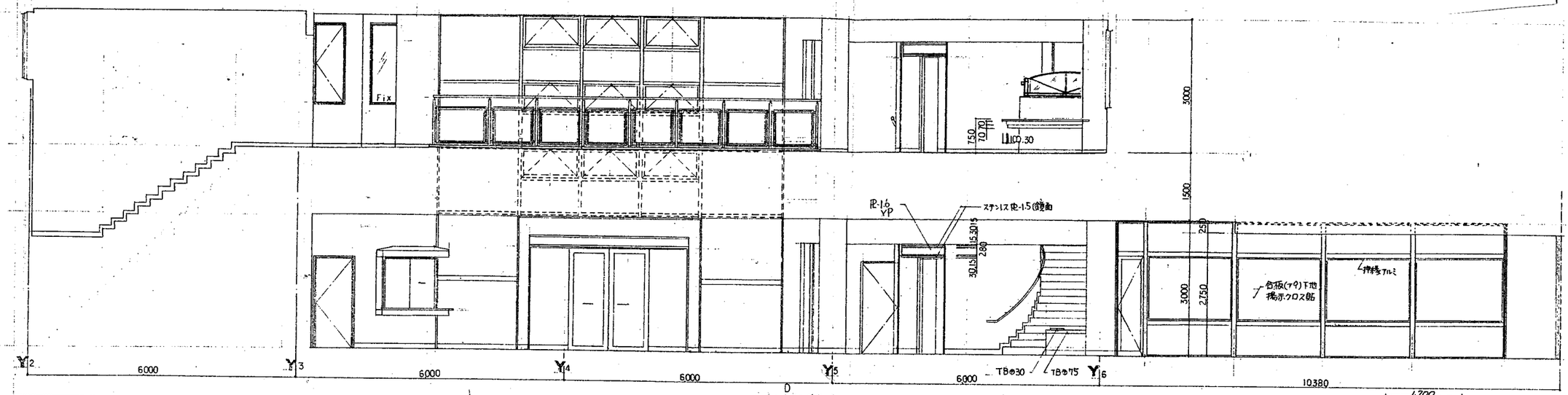
三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

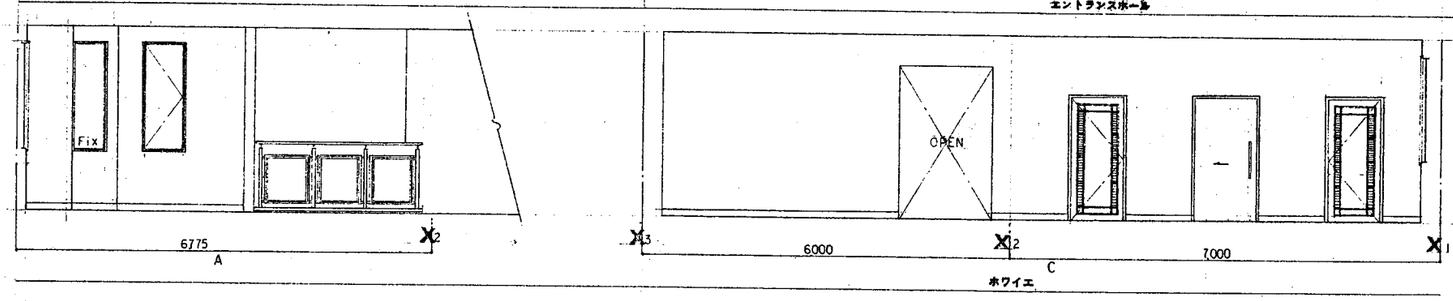
監工	三瀦町公民館新築工事	4.7	34033
	3階 調教室・空調機械室 展開図	1:50	1027

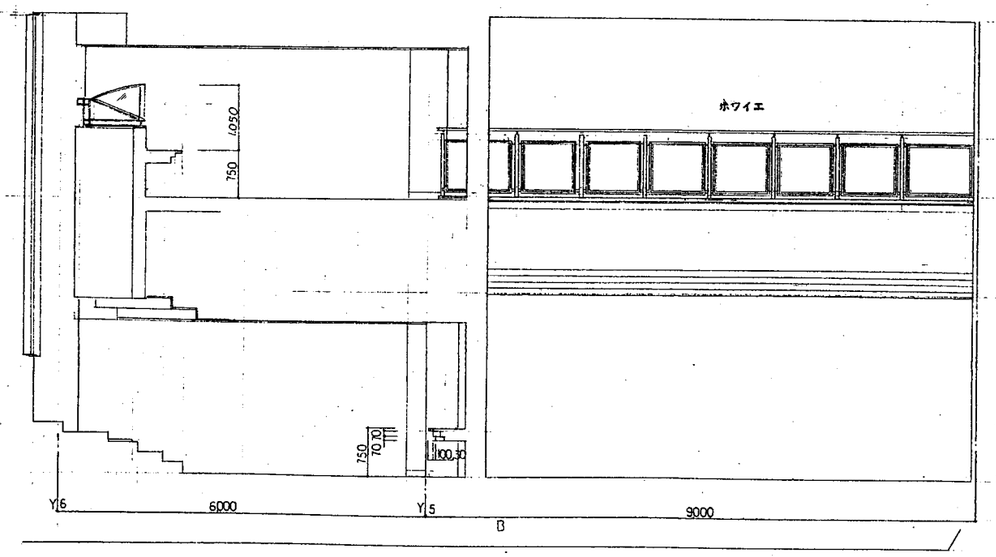


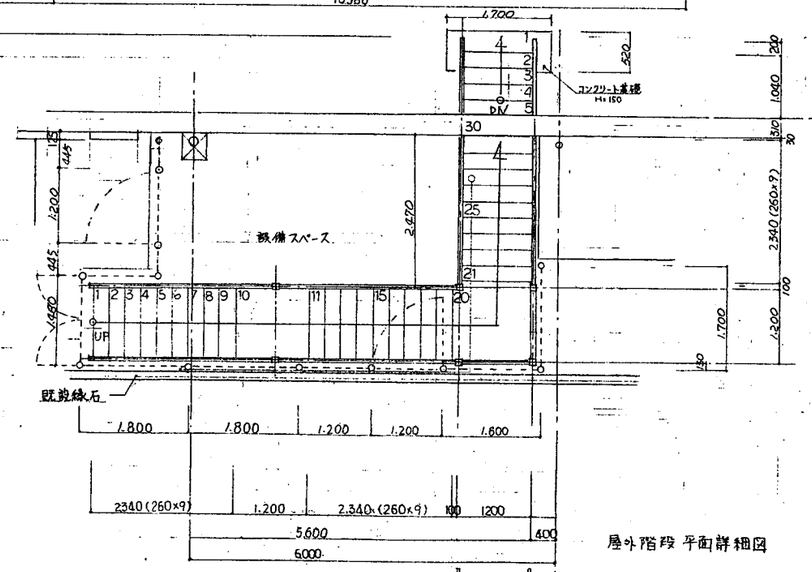
三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

竣工図	鶴町公民館新築工事	A.T	34033
	エントランスホール ホワイエ 廊下 展開図	1:50	1028

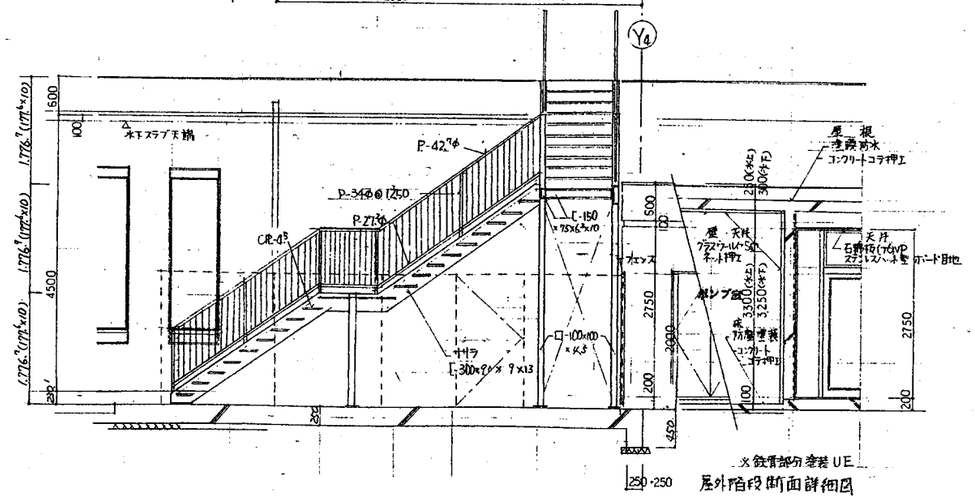








屋外階段 平面詳細図



※鉄骨部分塗装 UE

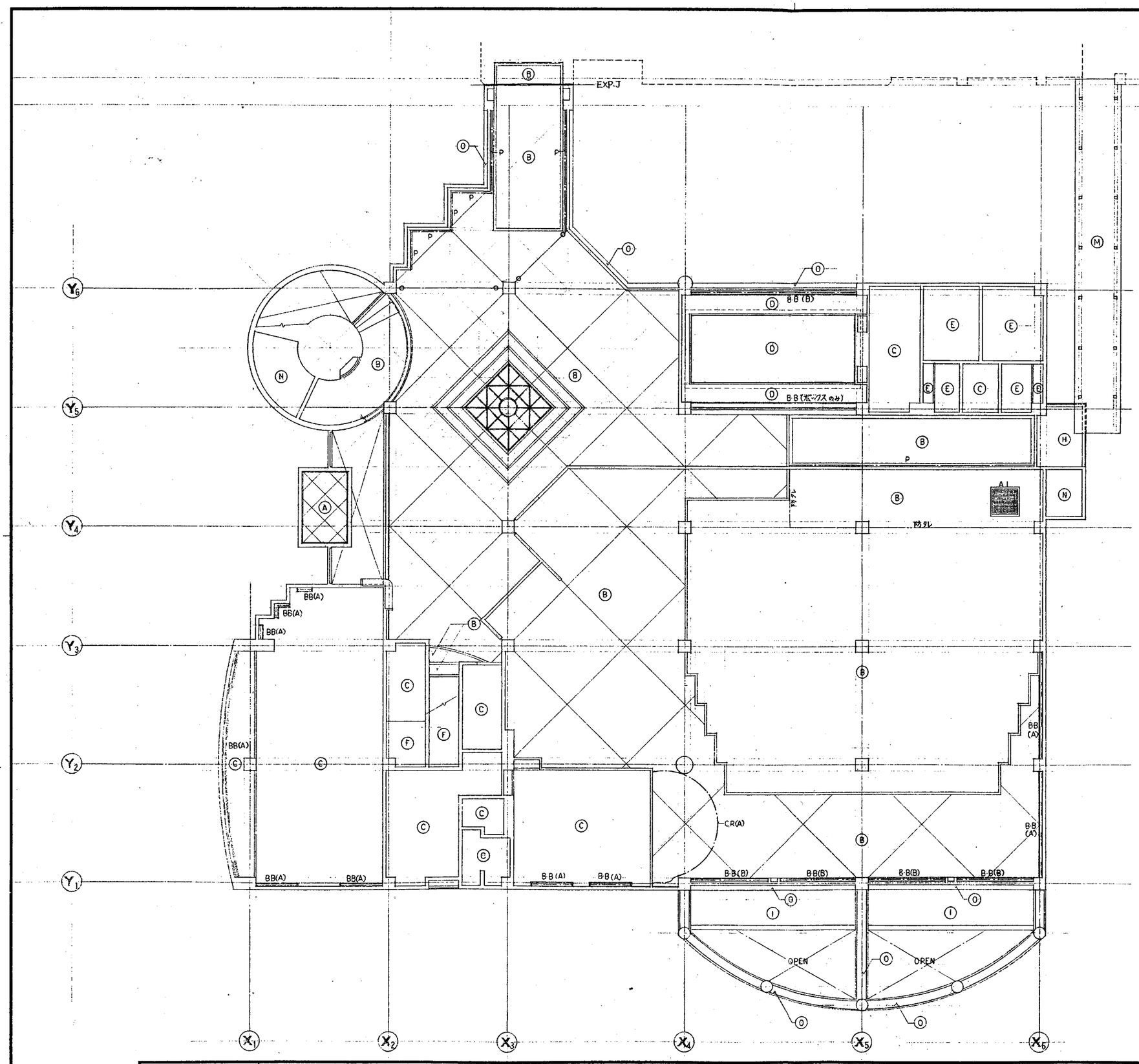
屋外階段断面詳細図

三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

縮尺

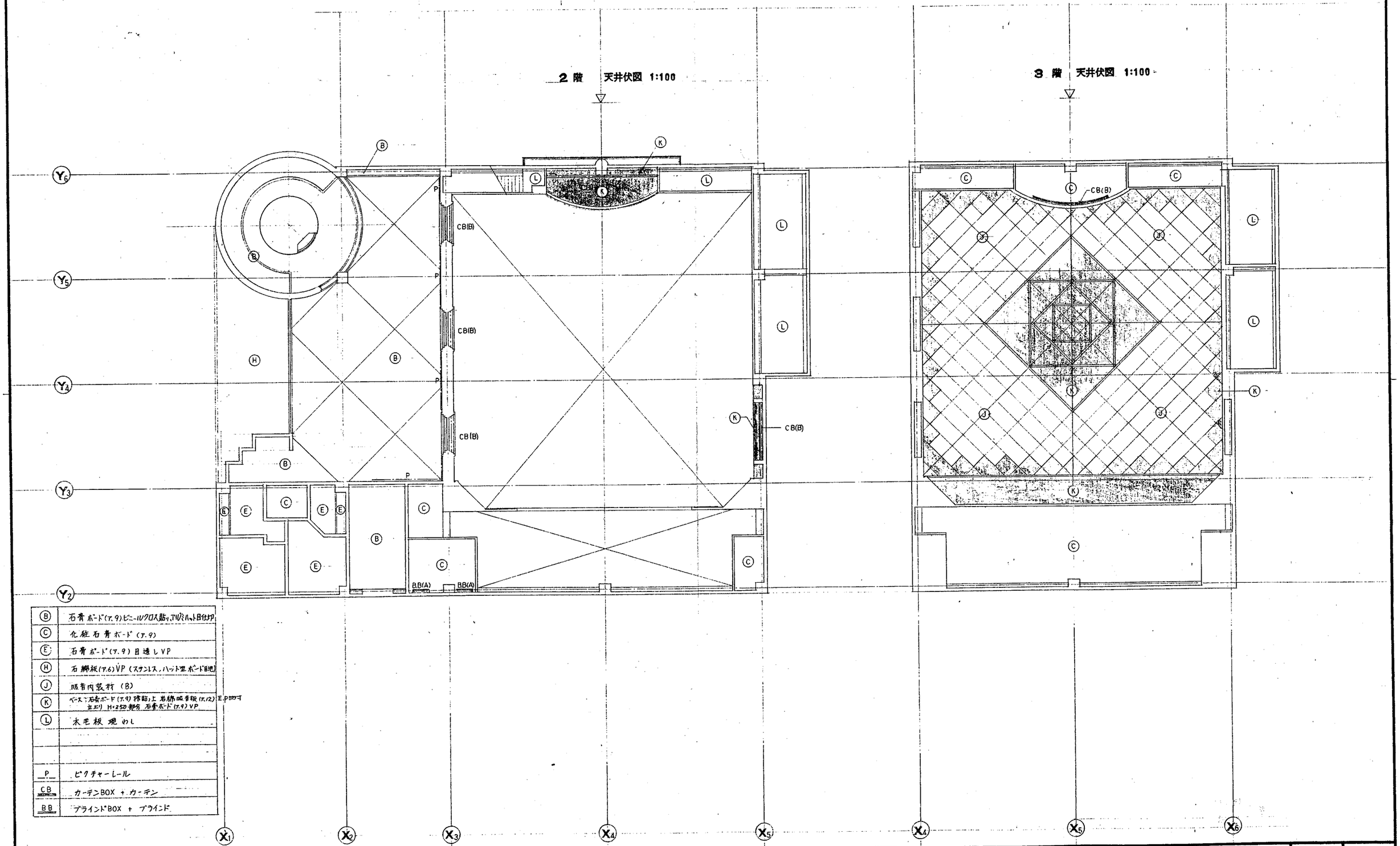
三潴町公民館新築工事	4.7	32033
エントランスホール ホワイエ 展開図	1:50	1029

屋外階段詳細図


EXP.J
BB(B)
BB(ボックスのみ)
BB(A)
BB(A)
BB(A

2 階　天井伏図 1:100

3 階　天井伏図 1:100

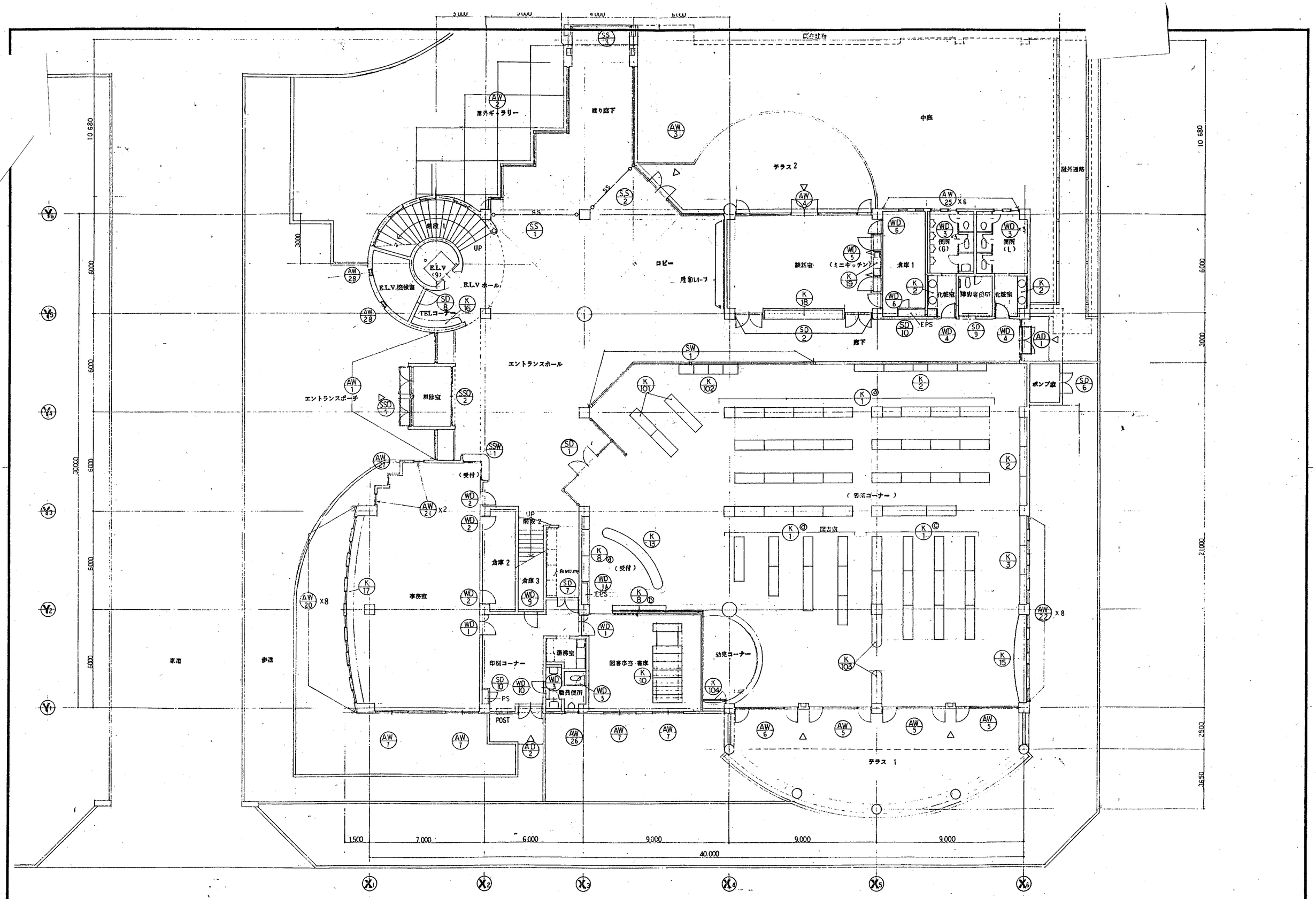


Ⓑ	石膏ボード(7.9)ビニールクロス貼り,アルミハット目仕上げ
Ⓒ	化粧石膏ボード(7.9)
Ⓔ	石膏ボード(7.9)目透しVP
Ⓗ	石綿板(7.6)VP(ステンレス,ハット型ボード目地)
Ⓙ	吸音内装材(B)
Ⓚ	ベース:石膏ボード(7.9)張り上 岩綿吸音板(7.12)E.P吹付 立上り H=250 縁切 石膏ボード(7.9)VP
Ⓛ	木毛板現わし
P	ピクチャーレール
CB	カーテンBOX + カーテン
BB	ブラインドBOX + ブラインド

三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

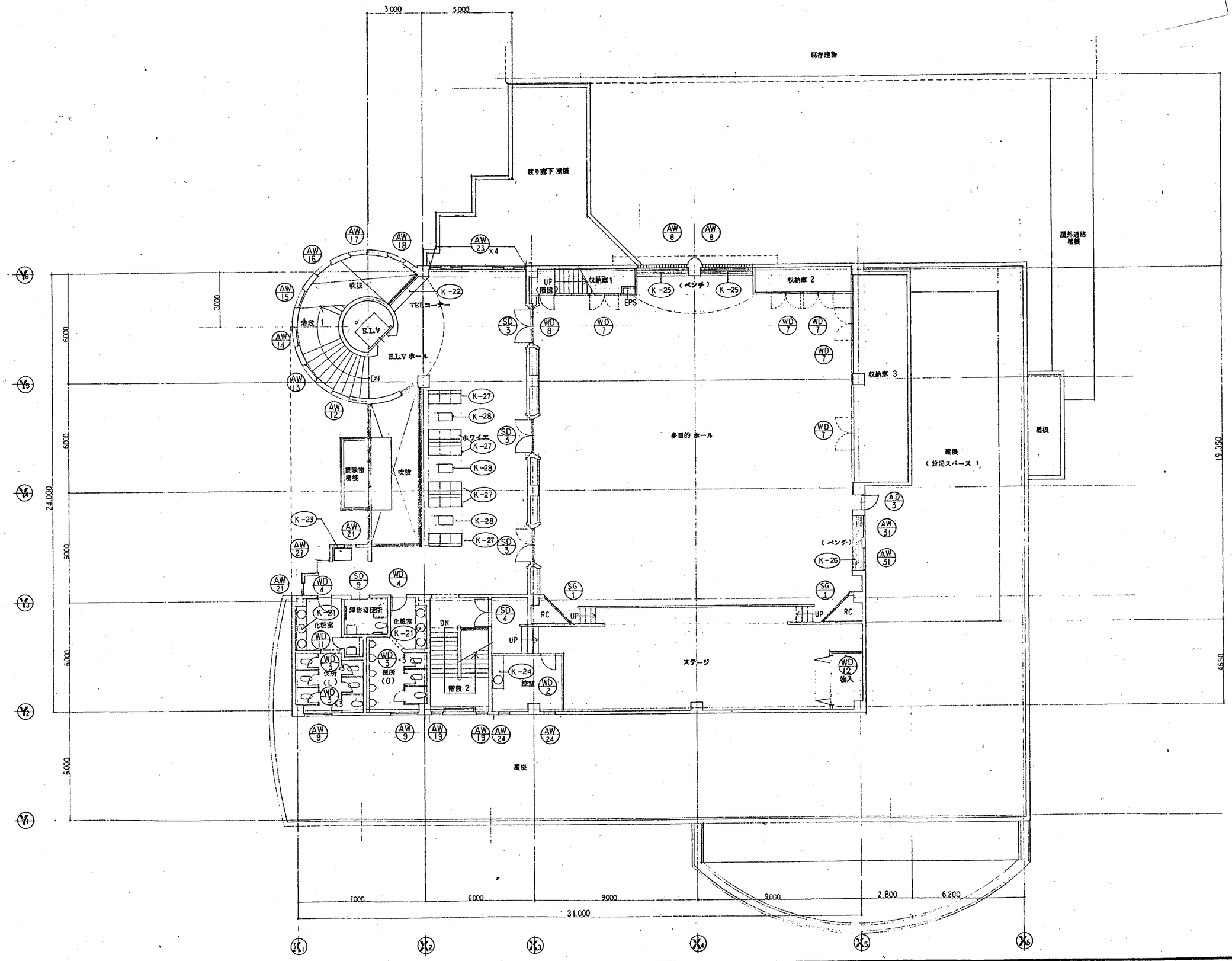
竣工図

三潴町公民館新築工事	1/	34033
2・3階　天井伏図	1:100	1031



三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

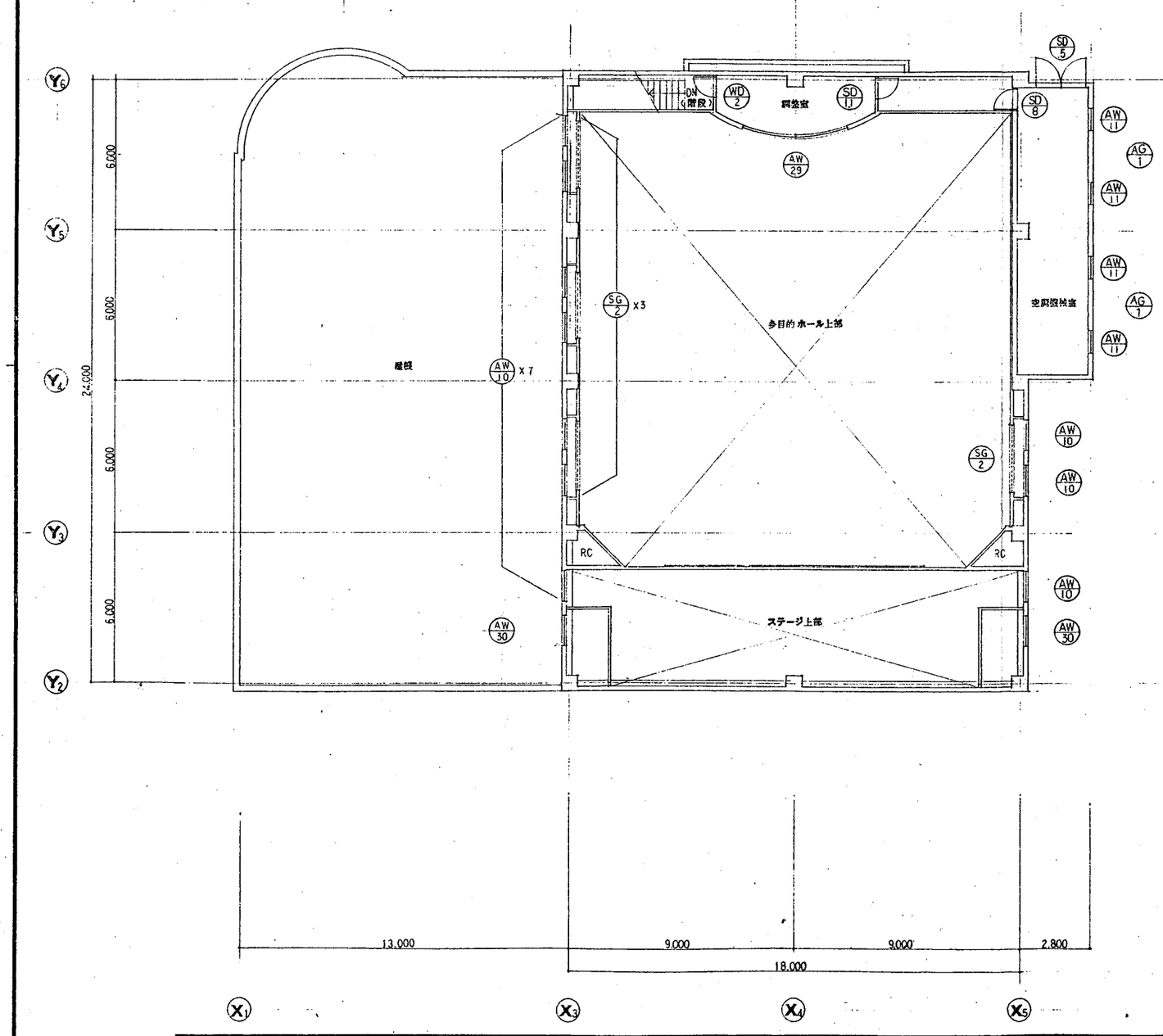
竣工図	三浦町公民館新築工事	1:100	34033
	1 階 家具 建具配置図		1032



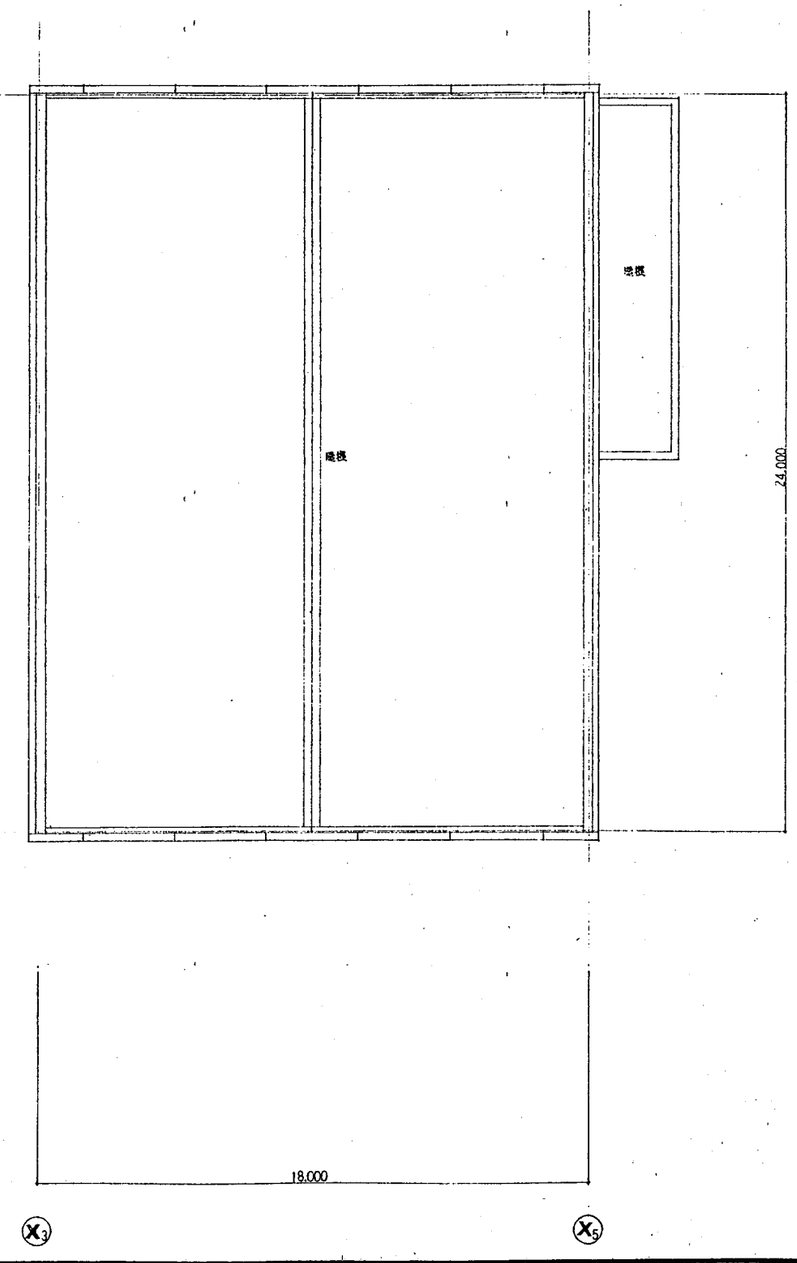
三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

三潴町公民館新築工事	A.T	34033
2 階平面 建具配置図	1:100	1033

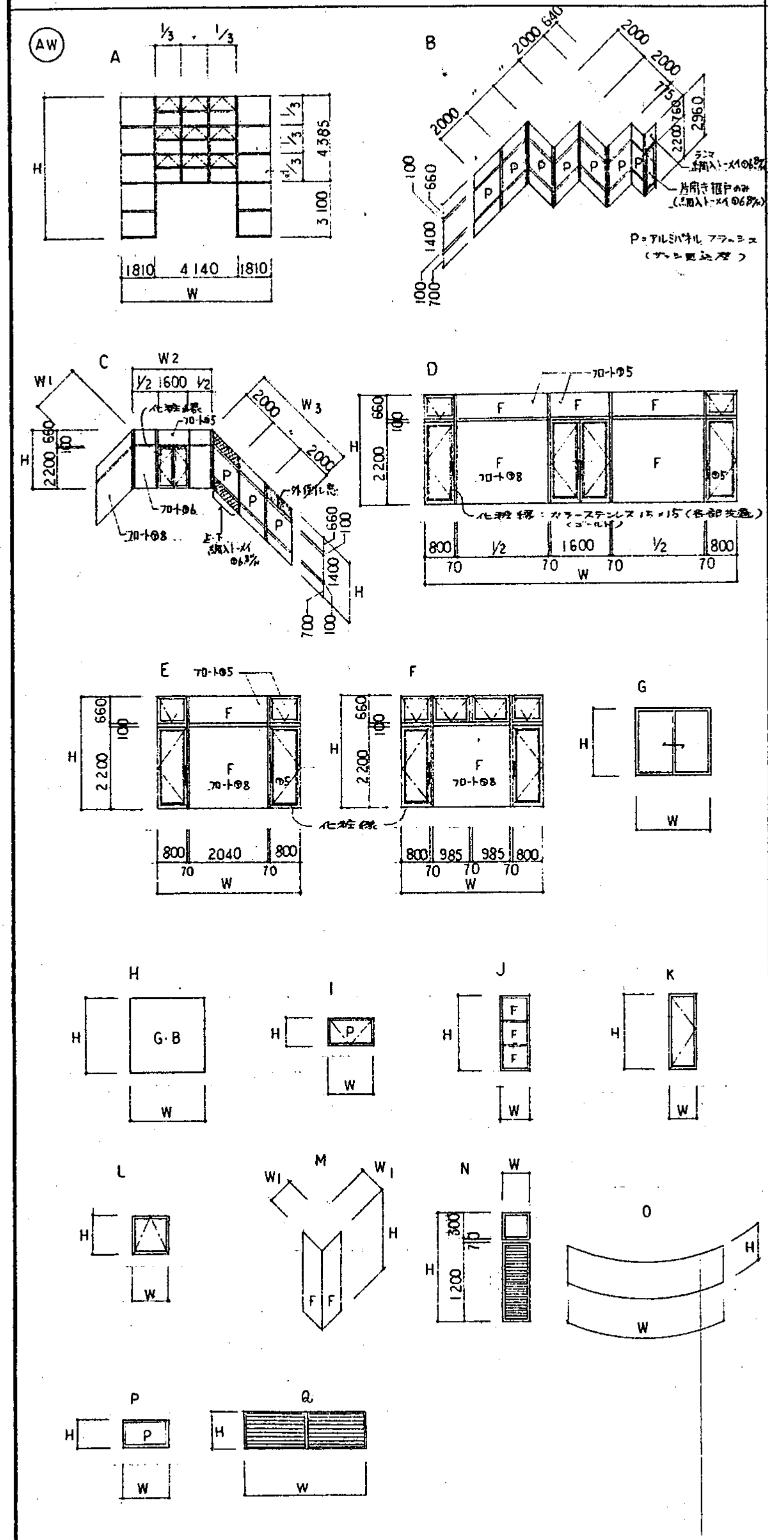
3階 平面図 1:100

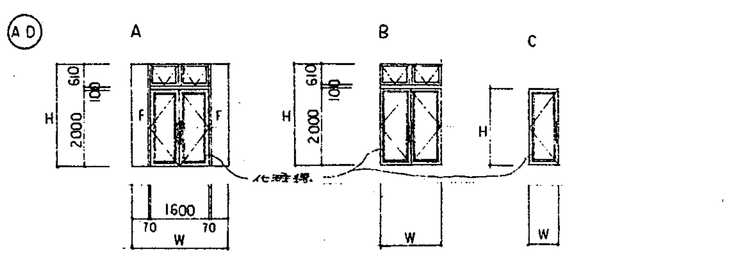


屋根伏図 1:100



三島設計事務所 MISHIMA ARCHITECTS OFFICE	竣工図	三潴町公民館新築工事	4.7	34033
		3 階 建具配置図	1:100	1034





記号	姿図記号	数量	形式	寸法		見込厚		仕上	硝子						附属金物																		所	備考
				W	H	枠	扉		フロート(P.5)	〃(P.8)	〃(P.書込)	アルミパネル	網入(P.6.8)	熱線反射(P.6)	丁番	ピボットヒンジ	フロアヒンジ	ラバトリヒンジ	ドアーチェック	戸当り	フランス落し	モノロック	本締り錠	空錠	握り玉	レバーハンドル	把手	換気オペレーター	網戸	下枠		柄梯		
AW—1	A	1	突出し窓付 カーテンウォール	7,760	7,485	170		カラー						O						└ 全てのドア								O					エントランスホール吹抜	バッフマリオンタイプ
—2	B	1	片開き框戸 嵌殺し窓 中央 パネル貼	合計 13,340	2,960	70		〃	O			O (P.25)	O 一部(トーメイ)				O						O			O				O ステンレス			渡り廊下	
—3	C	1	ランマ外倒し窓・嵌殺し窓 両袖 両開き框戸（一部パネル貼）	W1 2,640 W2 4,240 W3 6,000	2,960	70		〃	O	O	O (P.6)		O 一部(トーメイ)				O				O		O					O		O ステンレス	(T-1056)	O	ロビー廻り	
—4	D	1	ランマ外倒し窓 嵌殺し窓 片開き、両開き框戸	8,280	2,960	70		〃	O	O							O				O		O					O		O ステンレス	(〃)	O	談話室	
—5	E	2	ランマ外倒し窓 嵌殺し窓 片開き框戸	3,780	2,960	70		〃	O	O							O						O					O		O ステンレス	(〃)	O	図書室	
—6	F	2	ランマ4連 外倒し窓 片開き框戸	3,780	2,960	70		〃	O	O							O						O					O		O ステンレス	(〃)	O	図書室	
—7	G	4	引違い窓	2,000	1,710	70		〃	O																								事務室・図書事務書庫	クレセント
—8	H	2	ガラスブロック窓（200□）	2,810	2,010	100		〃																									2階ホール	
—9	H	2	〃	1,210	1,210	100		〃																									2階便所（G・L）	
—10	I	10	外倒し窓（エアタイト）	1,200	750	70		〃				O (P.3)			O													O					2階ホール上部 ステージ上部	
—11	K	4	タテ軸回転窓（エアタイト）	(内寸)1,000	(内寸)1,000	70		〃			O 型板(P.6)				O													O					3階・空調機械室・倉庫	外部クレセント付（非常用進入口）
—12	J	1	嵌殺し窓	1,000	3,000	70		〃		O (P.6)																							階段1	
—13	J	1	〃	1,000	3,420	70		〃		O (P.6)																							階段1	
—14	J	1	〃	1,000	3,840	70		〃		O (P.6)																							階段1	
—15	J	1	〃	1,000	4,260	70		〃			O (P.6)																						階段1	
—16	J	1	〃	1,000	4,680	70		〃			O (P.6)																						階段1	
—17	J	1	〃	1,000	5,100	70		〃			O (P.6)																						階段1	
—18	J	1	〃	1,000	5,520	70		〃			O (P.6)																						階段1	
—19	J	2	〃	590	1,460	70		〃	O																	O							階段2	
—20	K	8	片開き窓	755	1,710	70		〃	O						O											O							事務室	
—21	K	4	〃	615	1,700	70		〃	O						O											O							事務室 2階ホワイエ	
—22	K	8	〃	750	1,960	70		〃	O						O											O							図書室	
—23	K	4	〃	500	1,710	70		〃	O						O											O							2階ホワイエ	
—24	K	2	〃（エアタイト）	590	1,460	70		〃					O (トーメイ)		O											O							2階控室	乙種防火戸
—25	K	6	〃	420	1,420	70		〃			O 型板(P.6)				O											O							倉庫1 便所（L.G）	
—26	L	1	突出し窓	820	820	70		〃			O 型板(P.6)				O											O							職員便所	
—27	M	2	コーナー嵌殺し窓	W1 615 W1 615	1,710	70		〃	O																								事務室 2階ホワイエ	
—28	N	2	上部 嵌殺し窓 下部 アルミガラリ	300	1,570	70		〃					O (型板)																				ELV機械室	
—29	O	1	曲面嵌殺し窓（R=6750）	4,000	1,300	70		〃		O (P.10)																							3階調整室	
—30	P	2	嵌殺しアルミパネル窓	1,200	750	70		〃				O (P.3)																					2階ステージ上部	
—31	H	2	ガラスブロック窓	1,010	1,210	100		〃																									2階ホール	
AG—1	Q	2	アルミガラリ	3,000	1,000	70		〃																									3階空調機械室	
—																																		
—																																		
—																																		
—																																		
—																																		
—																																		
AD—1	A	1	ランマ外倒し窓 両袖・両開き框戸	2,470	2,710	70		カラー	O								O				O		O					O			(T-5560)	O	廊下	
—2	B	1	ランマ外倒し窓 両開き框戸	1,600	2,710	70		〃	O						O				O				O					O			(〃)	O	印刷コーナー	
—3	C	1	片開き框戸（エアタイト）	800	2,010	70		〃				O (P.3)							O				O								(T-1056)	O	2階ホール	
—																																		
—																																		
—																																		
—																																		

三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

竣工図

三潴町公民館新築工事

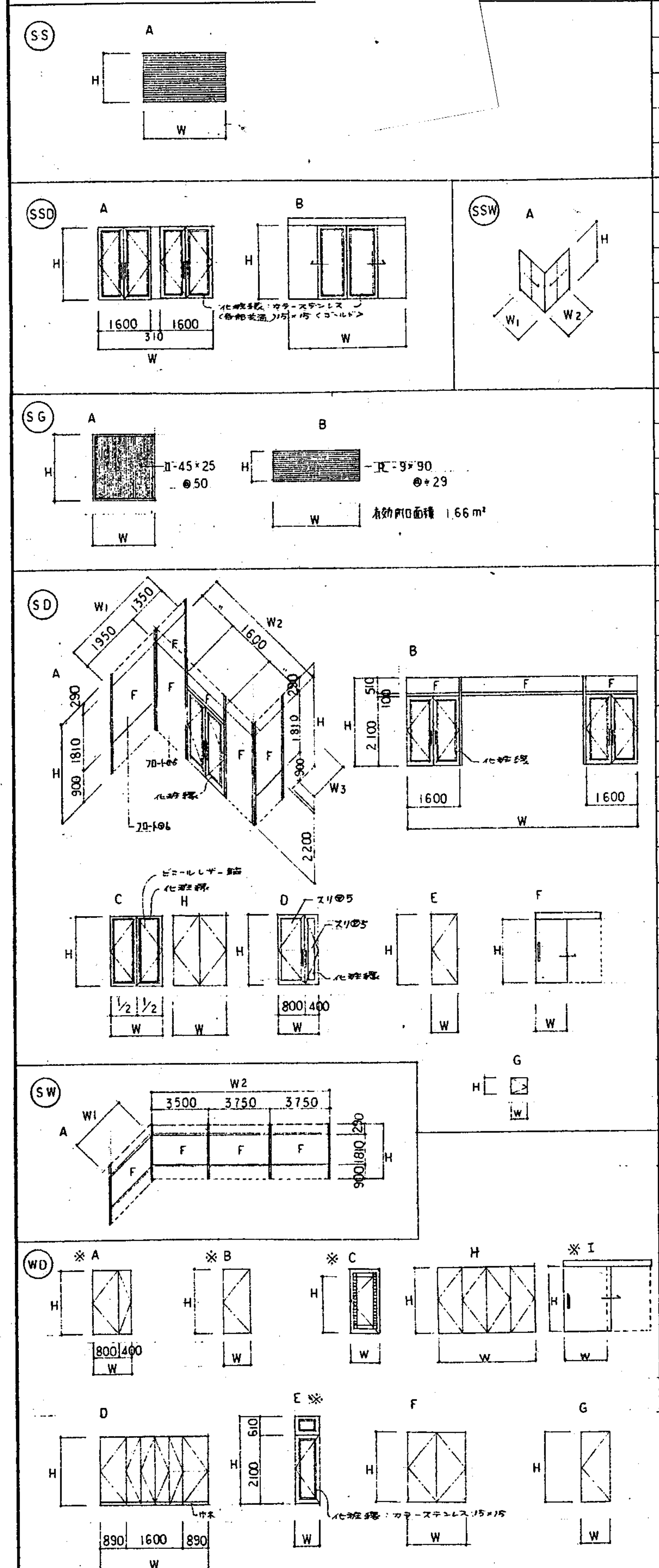
建具表 1

4.7

34033

1035

姿図



※印の枠はスチール枠とする

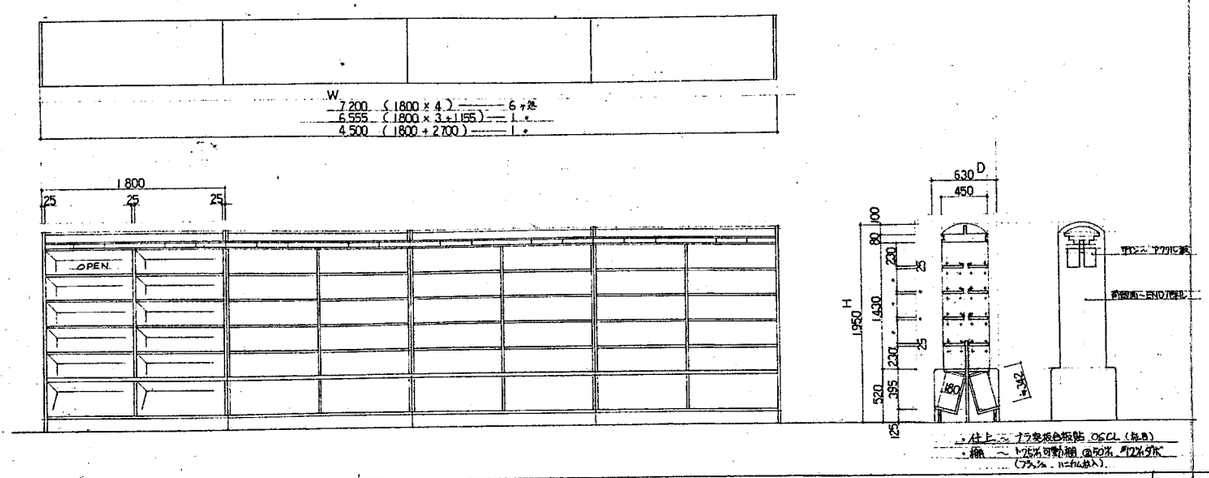
記号	姿図記号	数量	形式	寸法 W	寸法 H	見込厚 枠	見込厚 扉	仕上	硝子 フロート(7.5)	〃(7.6)	〃(7.8)	磨り板(7.5)	型板(7.4)	〃(7.6)	丁番	ピボットヒンジ	フロアヒンジ	ラバトリヒンジ	ドアチェック	戸当り	フランス落し	モノロック	本締り錠	空錠	握り玉	レバーハンドル	把手	排煙オペレーター	網戸	下枠	表示錠	押棒	使用場所	備考
SS—1	A	1	スチールシャッター	4900	3000			VP							ガイドレール・マグサ・下座板：ステンレス製																		エントランスホール	煙感知器連動甲種防火戸
—2	A	1	〃	3290	3000			VP																									エントランスホール	煙感知器連動甲種防火戸
—3	A	1	〃	3500	2750			VP																									渡り廊下	煙感知器連動甲種防火戸
—																																		
—																																		
SSD—1	A	1	2連両開きステンレス框戸	3510	2270	100		鏡面	○								○				○		○									○ (T-988)	風除室	
—2	B	1	両引分けステンレス框自動ドア	3510	2270	120		鏡面	○														○										風除室	ガイドレール・ドアーハンガー 熱線スイッチ、安全光線スイッチ
—																																		
—																																		
SSW—1	A	1	コーナー用片引きステンレス窓	W1 1100 W2 1100	1100	70		鏡面	○																								事務室（受付）	
—																																		
SG—1	A	2	スチールガラリ	1250	2050	100		VP																									2階ホール	
—2	B	4	スチールガラリ	2650	900			VP																									3階ホール上部	
—																																		
—																																		
—																																		
SD—1	A	1	嵌殺し窓 ランマ付両開き框戸	W1 3300 W2 4240 W3 1350	3000	110		VP	○	○							○				○	○										○ (T-981)	図書室	
—2	B	1	ランマ付両開き框戸	8280	2710	100		VP	○			○ ドア(スリ)カット					○				○	○								○ ステンレス		○ (T-981)	談話室	
—3	C	3	両開きフラッシュ戸（エアタイト）（框型式）	1800	2200	86		両面(VP) ビニールレザー貼									○				○		○									○ (T-989)	2階ホール	常時閉鎖式甲種防火戸。ピンチブロック扉内部グラスウール充填
—4	H	1	両開きフラッシュ戸（〃）	1400	2000	86		VP							○				○		○		○			○				○ ステンレス			2階控室	常時閉鎖式甲種防火戸。ピンチブロック扉内部グラスウール充填
—5	H	1	〃（〃）	2000	2000	100		VP							○								○			○				○ ステンレス			3階空調機械室	防音による。機器搬入用扉
—6	H	1	〃（〃）	1200	2000	86		VP							○				○		○	○				○				○ ステンレス			ポンプ室	
—7	D	1	両開き框戸（親子戸タイプ）	1200	2000	86		VP						○	○				○	○	○	○				○				○ ステンレス			印刷コーナー	
—8	E	2	片開きフラッシュ戸（エアタイト）	800	2000	86		VP							○				○			○				○				○ ステンレス			ELV機械室・3階空調機械室	常時閉鎖式甲種防火戸，ピンチブロック扉内部グラスウール充填
—9	F	2	スチールハンガードア	1000	2000	60	30	VP																			○ ステンレス						1・2階障害者便所	全開ストッパー機構付 自閉装置付
—10	G	1	片開きフラッシュ戸	600	600			VP							○																		1階印刷コーナー	点検扉用錠付
—11	E	1	片開きフラッシュ戸	900	2000	110	40	〃								○			○			○				○							3階調整室	ピンチブロック扉内部グラスウール充填
—																																		
—																																		
—																																		
SW—1	A	1	嵌殺し窓	W1 3850 W2 11000	3000	110		VP			○																						ブラウジングコーナー～図書室	
—																																		
WD—1A	I	1	片引きハンガードアフラッシュ戸	1200	2000		50	VP																								○	図書事務書庫	ハンガードア
WD—1	A	3	両開きフラッシュ戸	1200	2000		40	VP							○				○	○		○				○							印刷コーナー 事務室	
—2	B	5	片開きフラッシュ戸	800	2000		40	VP							○				○	○		○				○							事務室、倉庫2 2階控室、3階調整室	
—3	G	17	〃	550	1830		40	メラミン合板										○									○(彫込)(掃除具入のみ2ヶ所)				○(15ヶ所)		職員便所 1.2階(G)(L)便所	帽子掛 15ヶ所
—4	C	4	片開きフラッシュ戸	850	1000		40	メラミン合板 マルミパンチメタル								○						○										○	1.2階化粧室（男.女）	
—5	D	1	4枚折戸，片開き戸	3380	2100		40	VP							○												○(彫込)						談話室	キャッチ折戸用レール
—6	E	2	ランマパネル．パネル片開き戸（ウラ面：フラッシュ）	800	2710		40	VP							○							○				○							談話室	
—7	F	5	両開きフラッシュ戸（表：天然木シート貼）	1812	2165		40	VP							○ 隠し丁番							○					○(彫込)						2階収納庫2.3	
—8	G	1	片開きフラッシュ戸（〃）	875	2165		40	VP							○ 隠し丁番							○					○(彫込)						2階収納庫1	
—9	B	1	片開きフラッシュ戸	800	2000		40	VP							○				○					○		○							倉庫3	
—10	B	1	〃	850	2000		40	VP							○				○					○		○							職員便所	
—11	B	1	〃	550	1830		40	メラミン合板							○									○			○(彫込)						2階便所掃除具入	
—12	H	1	4枚折戸	3000	2000		40	VP							○												○(彫込)						2階ステージ積物入れ	

三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

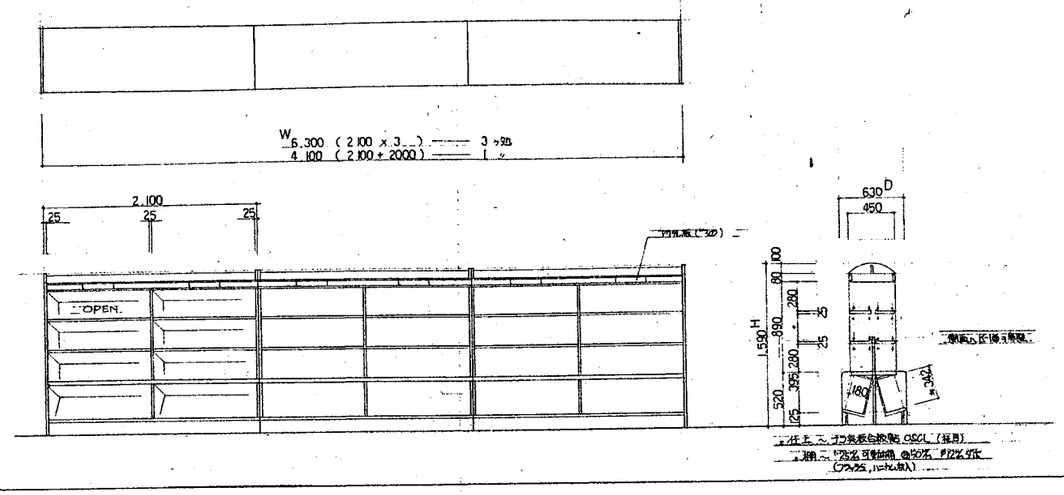
竣工図

三猪町公民館新築工事	4.7	34033
建具表 2		1036

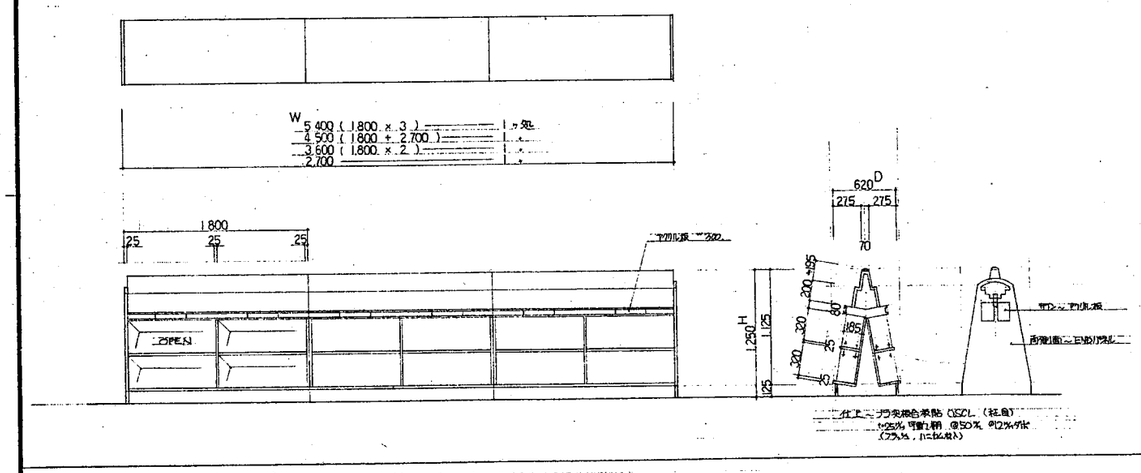
K-1ⓐ 1F 図書室 書架コーナー 一般開架貸出書架 8ヶ所



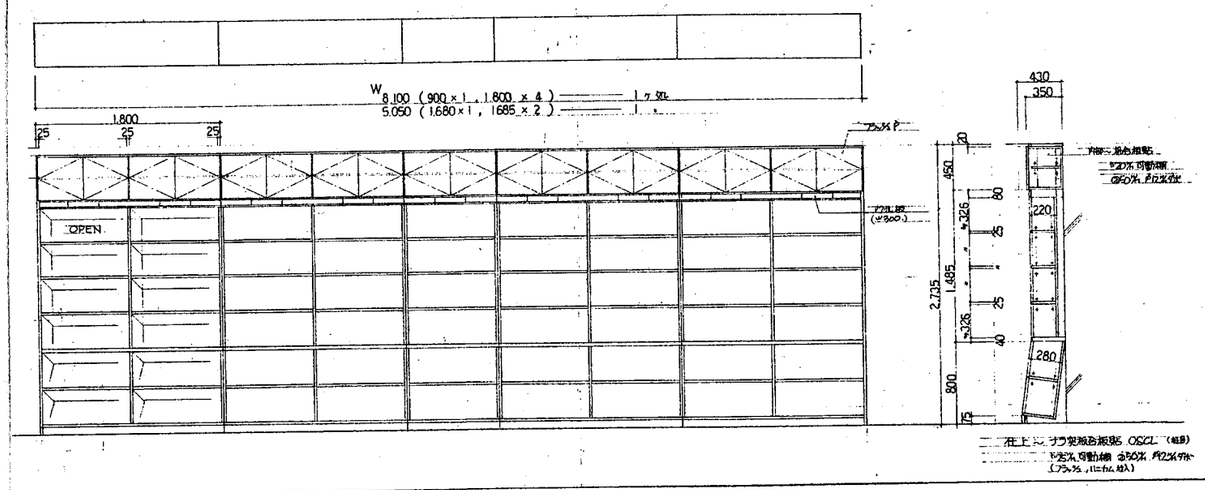
K-1Ⓒ 児童書架 4ヶ所



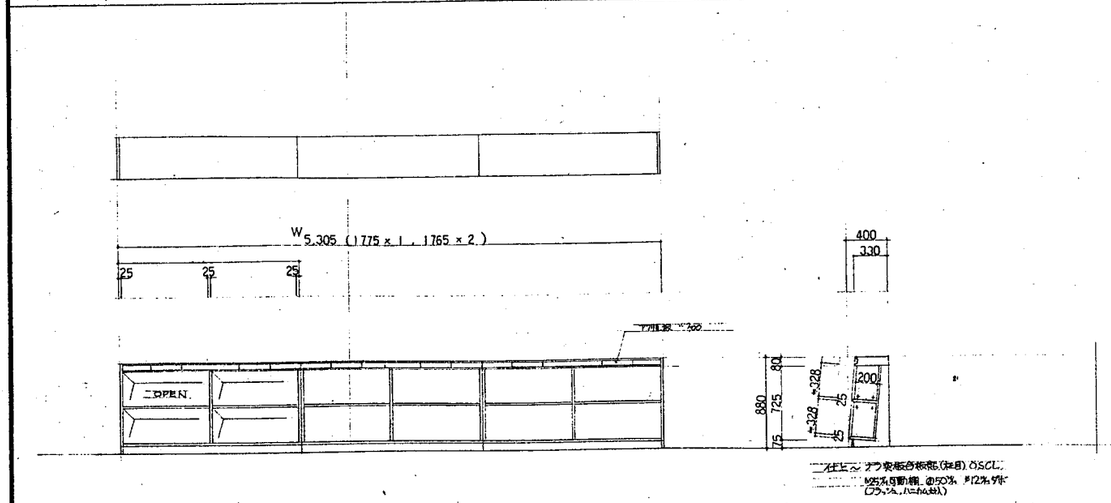
K-1ⓓ 幼児書架 4ヶ所



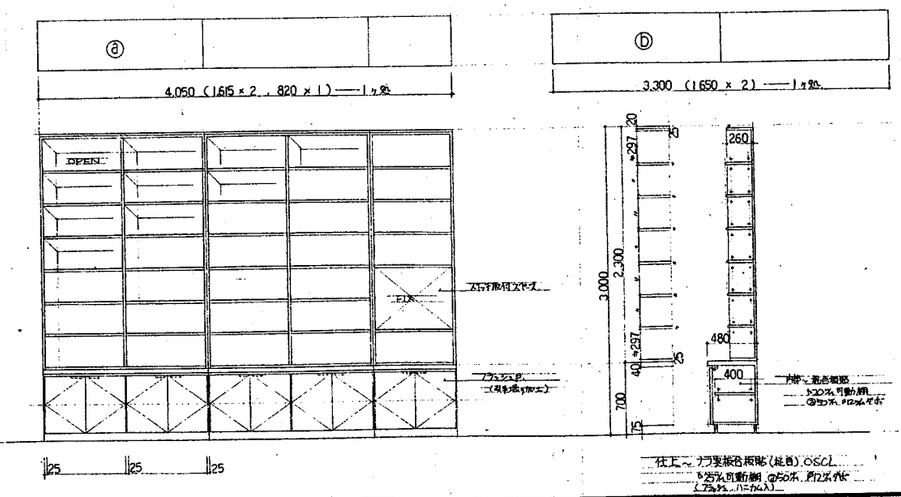
K-2 壁面書架 (高書架) 2ヶ所



K-3 壁面書架 (低書架) 1ヶ所



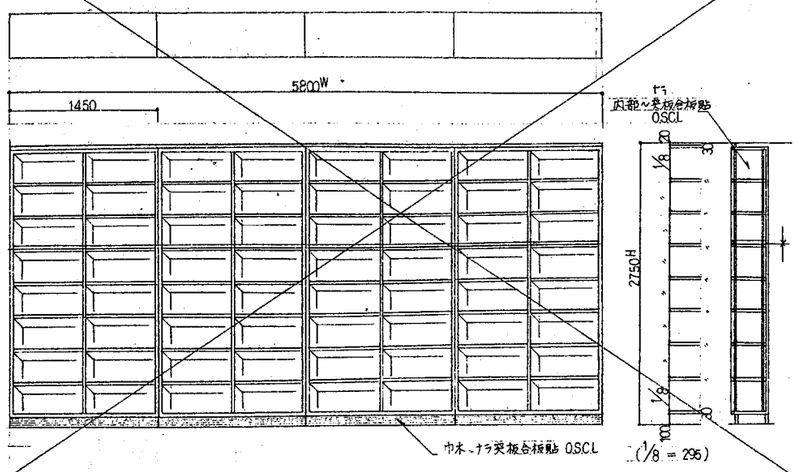
K-8ⓐⒹ 袋付 壁面書架



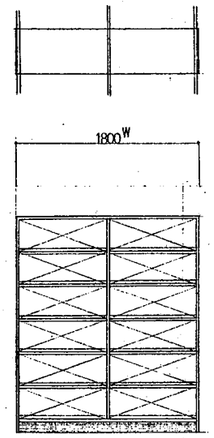
三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

三潴町公民館新築工事	4.7	34C33
家具リスト 1	1:30	1037

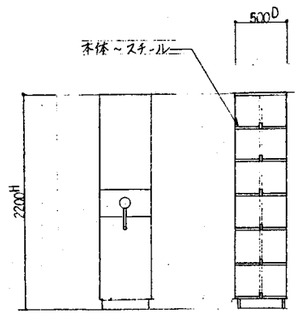
K-9 1F 図書室 書庫 壁面高書架 1ヶ処



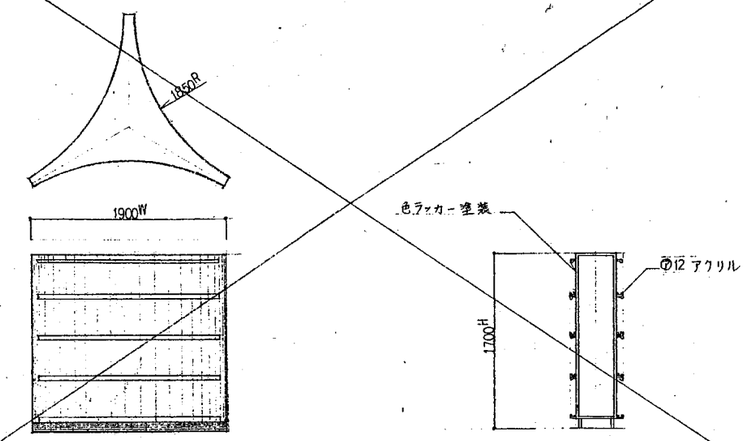
K-10 1F 図書室 書庫 ハンドル式移動棚 8台



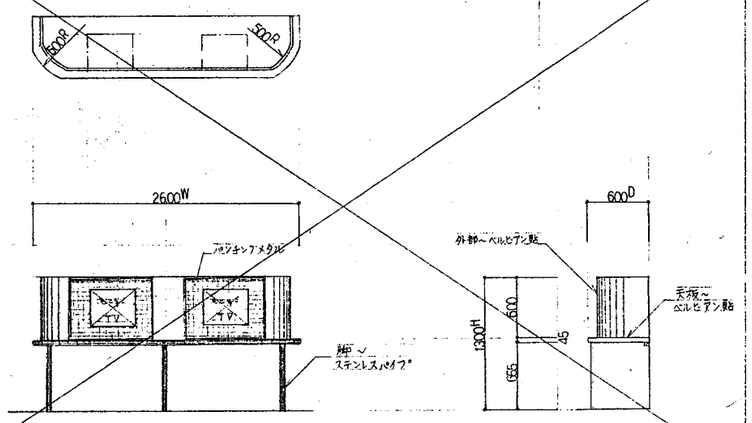
既製品～
コクヨ 移動ハンドルラック
MF-H672



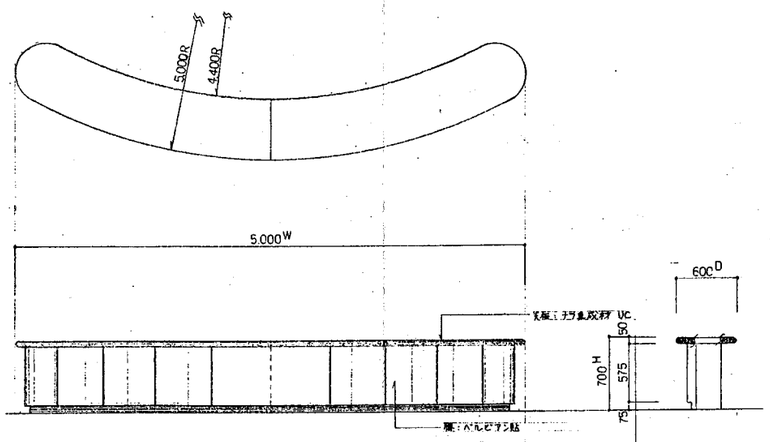
K-11 1F 図書室 ブラウジングコーナー 雑誌架 1ヶ処



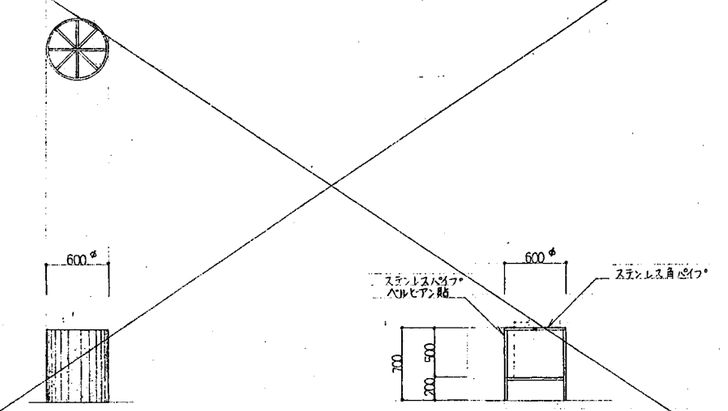
K-12 1F 図書室 AVコーナー モニター机 1台



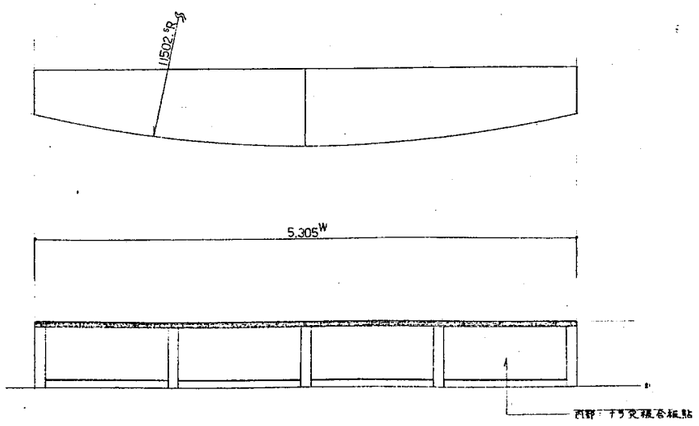
K-13 受付カウンター 1ヶ処



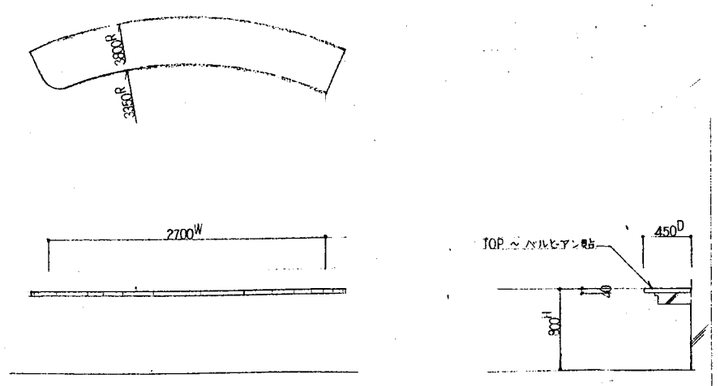
K-14 1F 図書室 ブラウジングコーナー 新聞差し 2台



K-15 児童コーナー 閲覧テーブル 1ヶ処



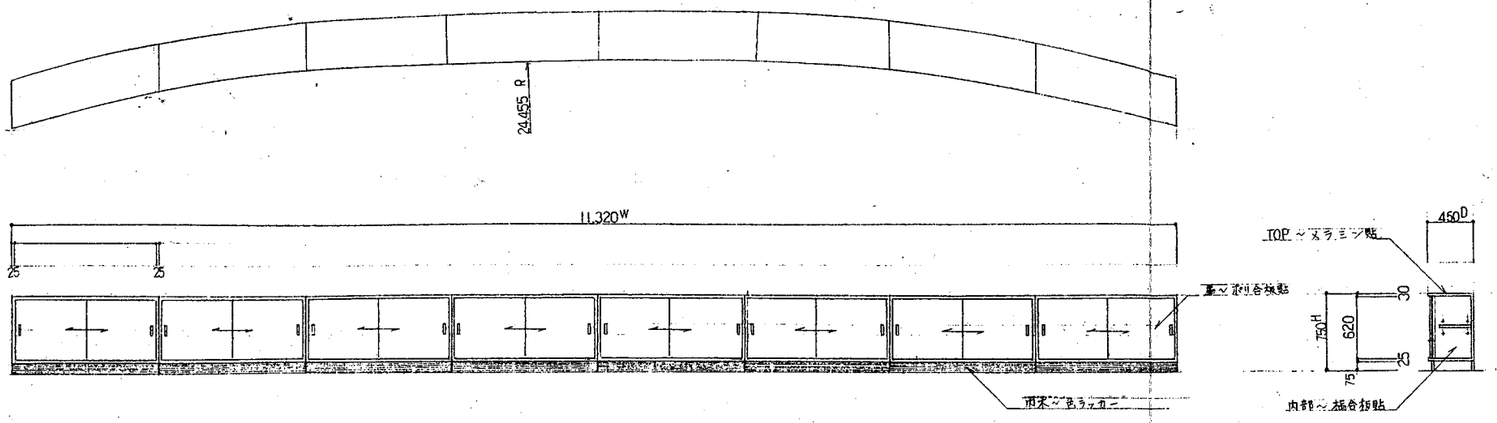
K-16 1~2F ELVホール TELコーナー 1ヶ所



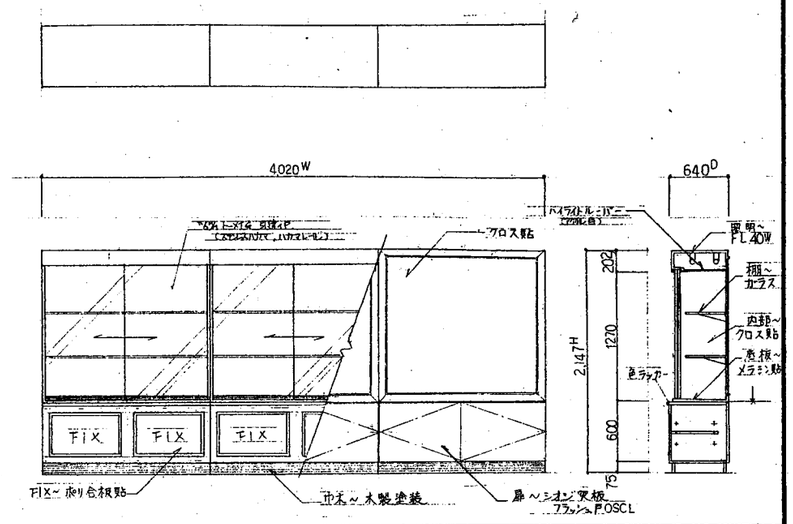
三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

三浦町公民館新築工事	4.7	34033
家具リスト 2	1:30	1038

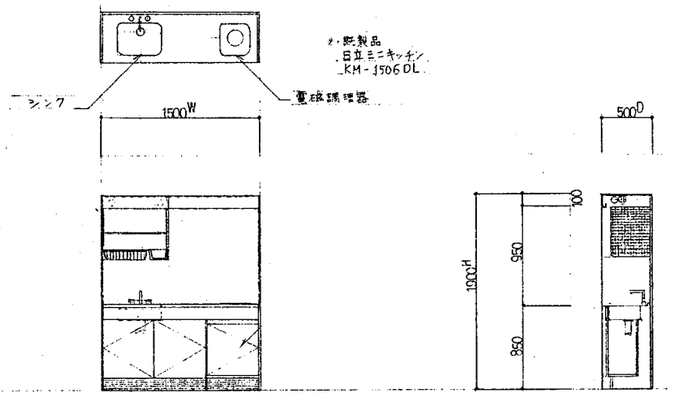
K-17　1F　事務室　忌下棚　1台



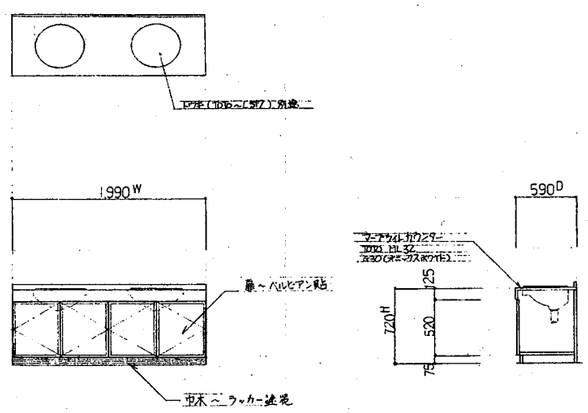
K-18　1F　談話室　展示棚　1ヶ処



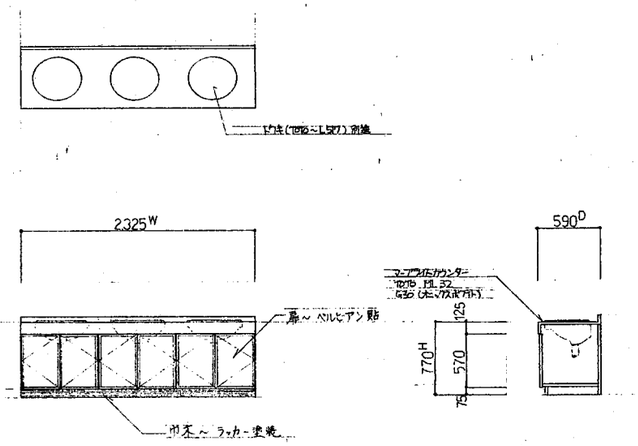
K-19　1F　談話室　ミニキッチンユニット　1台



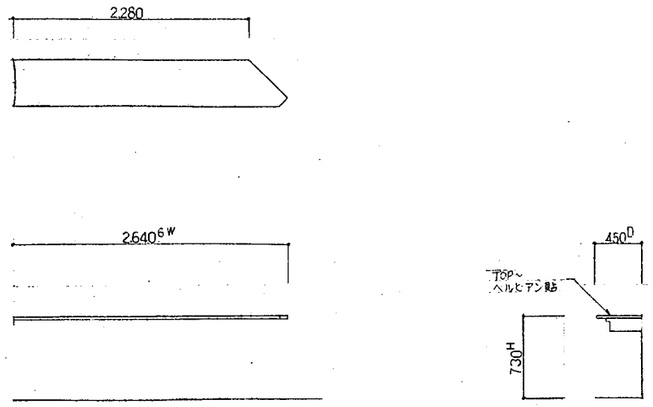
K-20　1F　男子・女子便所　洗面台　2台



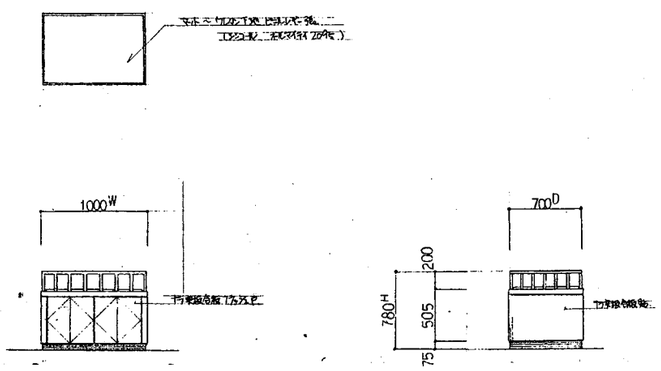
K-21　2F　男子・女子便所　洗面台　2台



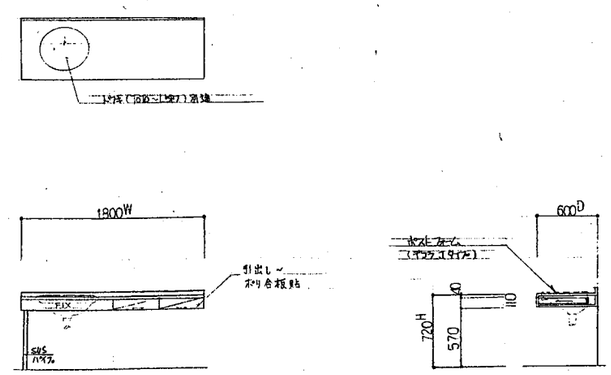
K-22　2-3F　ELVホール　TELコーナー　1ヶ処



K-23　2F　女子便所前　ベビーベッド　1ヶ処



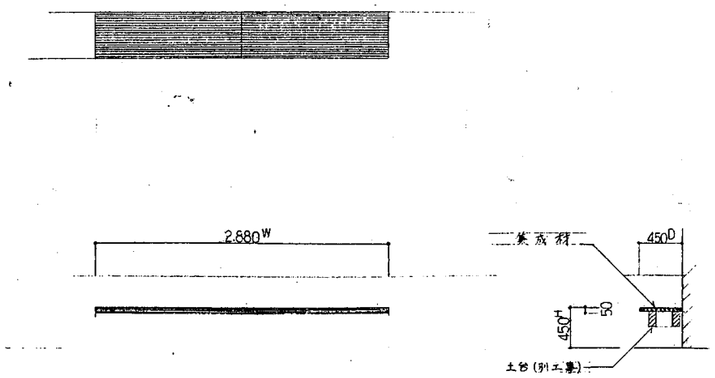
K-24　2F　控室　化粧台　1ヶ処



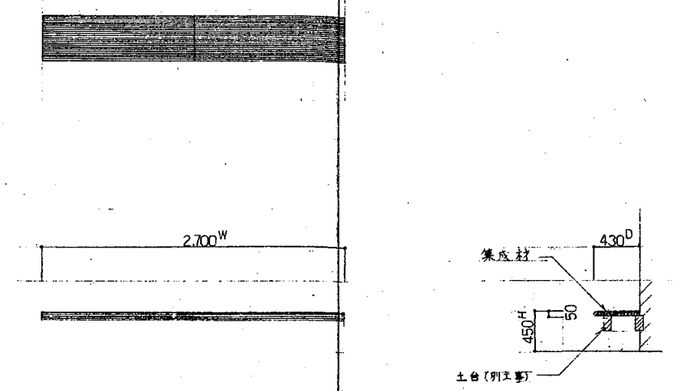
三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

三潴町公民館新築工事	4.7	34033
家具リスト　3	1:30	1039

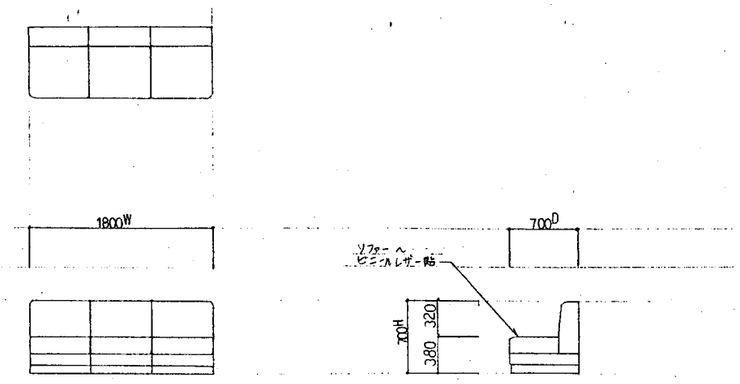
K-25 2F 多目的ホール ベンチ 2台



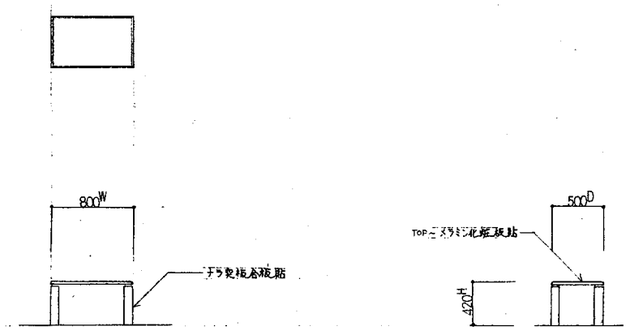
K-26 2F 多目的ホール ベンチ 1台



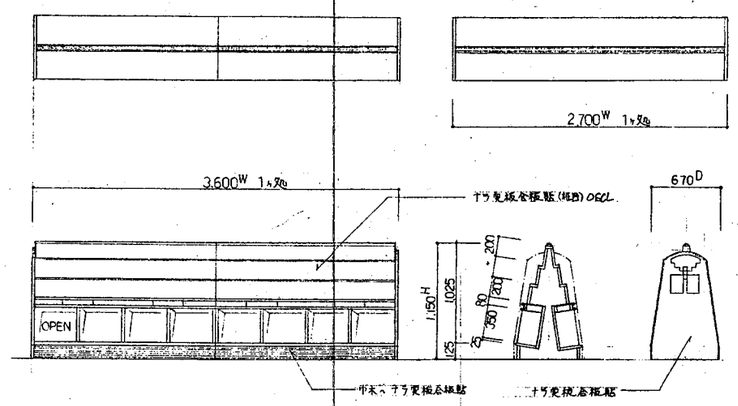
K-27 2F ホワイエ ソファー 6台



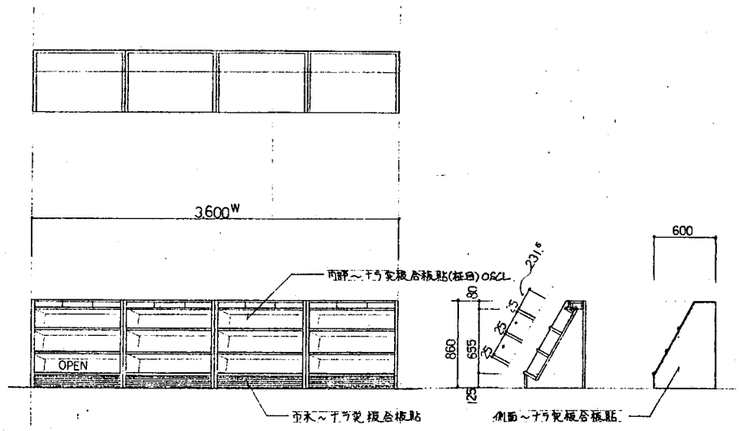
K-28 2F ホワイエ テーブル 3台



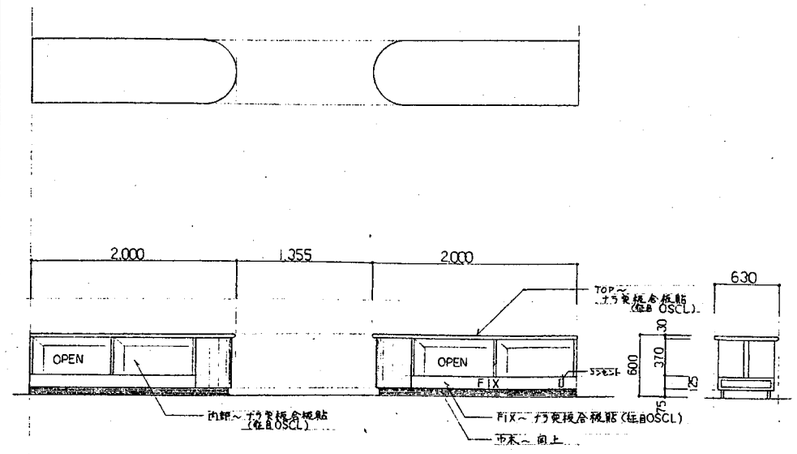
K-101 雑誌コーナー 雑誌書架(後置) 2台



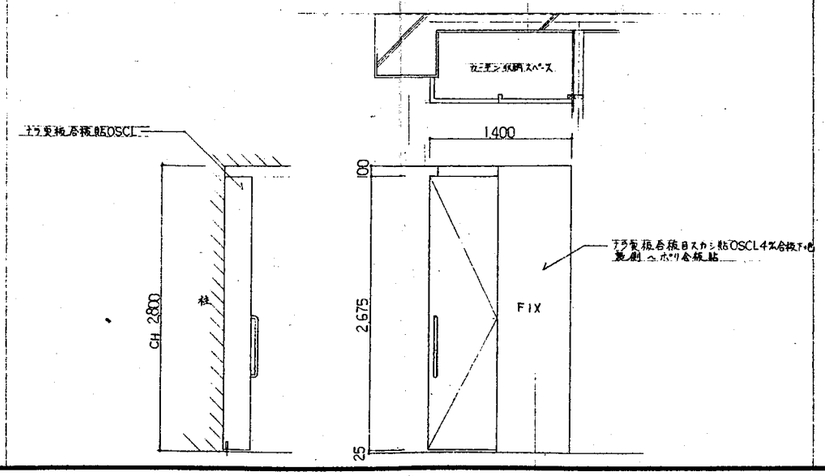
K-102 AVコーナー ビデオテープ C·D 収納棚(移動可)(後置) 4台



K-103 児童コーナー 幼児コーナー間 地袋(後置) 1台

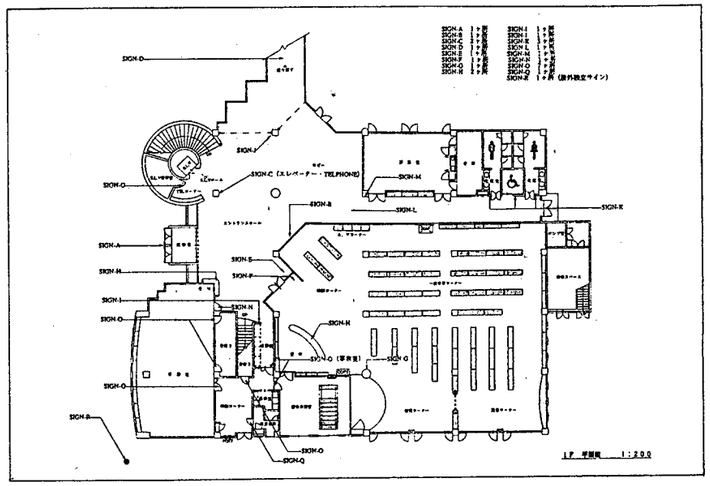


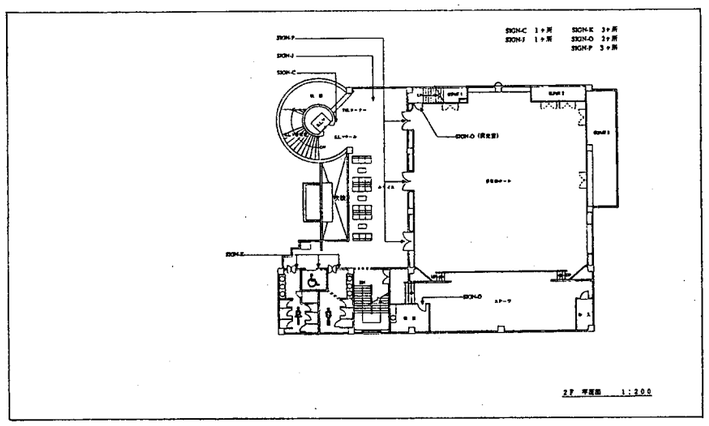
K-104 幼児コーナー カーテン収納スペース 造具 1ヶ所



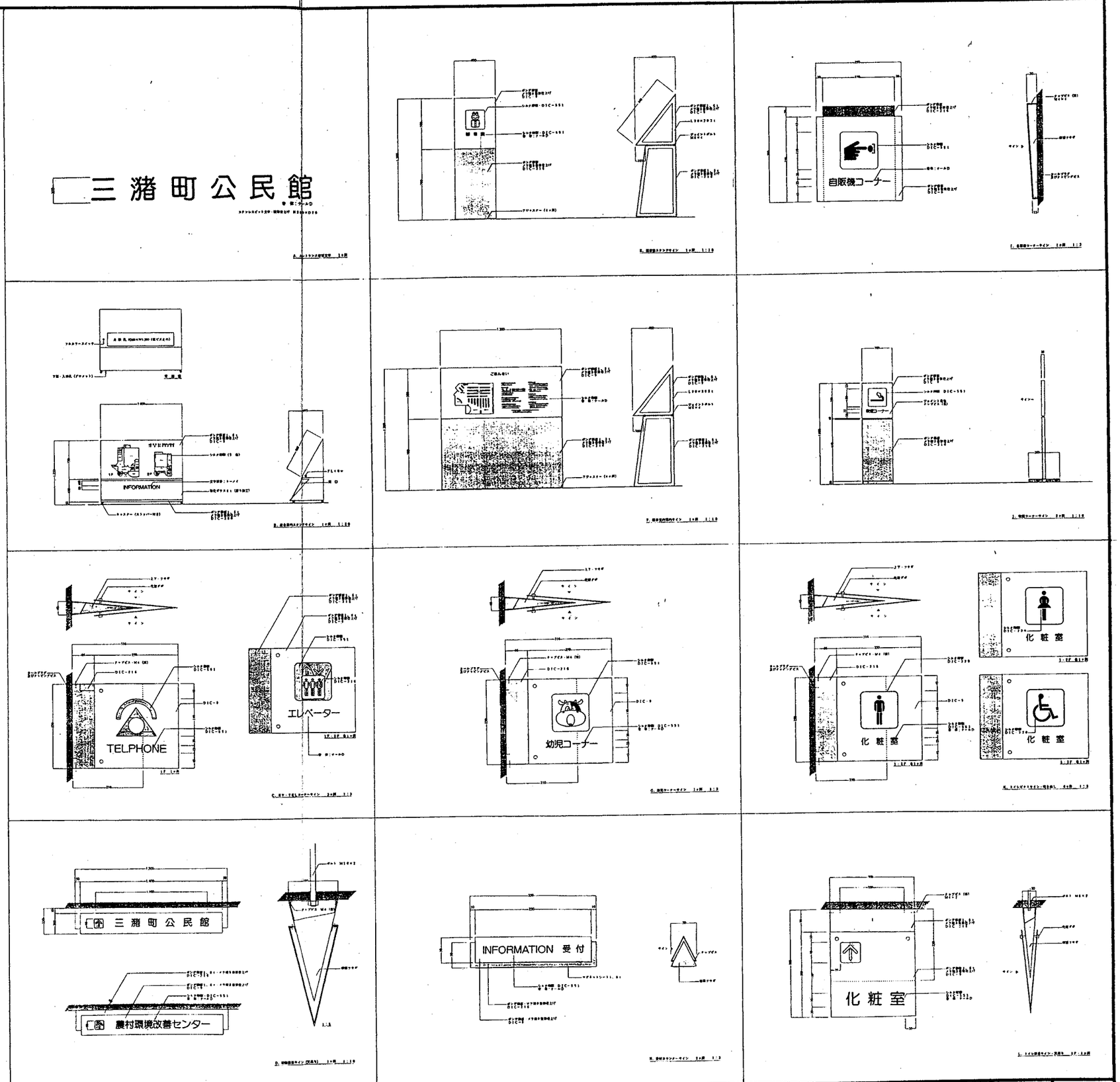
三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

竣工	三浦町公民館新築工事		34033
	家具リスト 4	1:30	1040





記号	サイン名称	数量	施工場所	仕様及び備考
A	エントランス雨面文字	1ヶ所	1 F	ステンレス・ピット文字鏡面仕上げ H200×D20
B	総合案内スタンドサイン	1ヶ所	1 F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ・強化ガラス6t H1.253×W1.600
C	EV・TELコーナーサイン	3ヶ所	1・2F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H250×W316
D	旧館誘導サイン	1ヶ所	1 F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H250×W1.500
E	図書室スタンドサイン	1ヶ所	1 F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H1.200×W400
F	図書室内案内サイン	1ヶ所	1 F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H1.200×W1.200
G	幼児コーナーサイン	1ヶ所	1 F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H250×W316
H	受付カウンターサイン	2ヶ所	1 F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H60×W250
I	自販機コーナーサイン	1ヶ所	1 F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H280×W250
J	喫煙コーナーサイン	2ヶ所	1・2F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H1.000×W300
K	トイレピクトサイン・突き出し	6ヶ所	1・2F・	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H250×W316
L	トイレ誘導サイン・天吊り	1ヶ所	1 F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H380×W300
M	室名サインA	1ヶ所	1 F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H250×W316
N	室名サインB	1ヶ所	1 F	アクリルマット板5t・シルク印刷 H250×W316
O	室名サインC	9ヶ所	1・2F	カッティングシート(761カーボングレー) H35
P	多目的ホールサイン	3ヶ所	2 F	ステンレス梨地フショク鏡面仕上げ H200×W200
Q	トイレピクトサイン	1ヶ所	1 F	アクリルマット板5t・シルク印刷 H250×W253
R	屋外独立サイン	1ヶ所	1 F屋 外	ステンレスH.L仕上げ・御影石 H2.050×W400×D110



三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

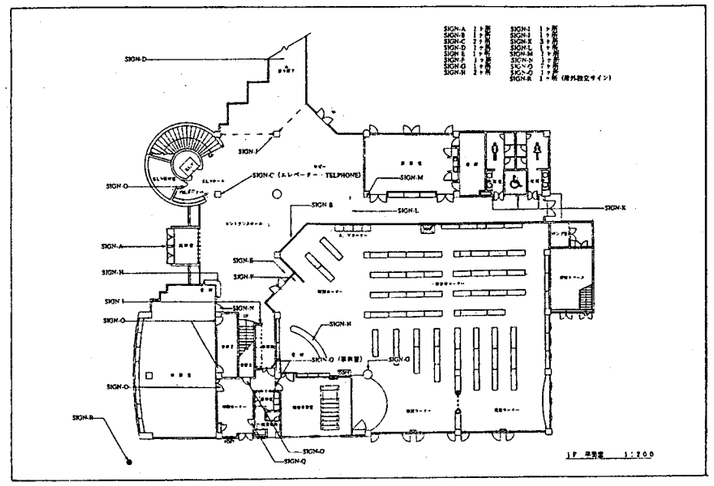
縮尺：

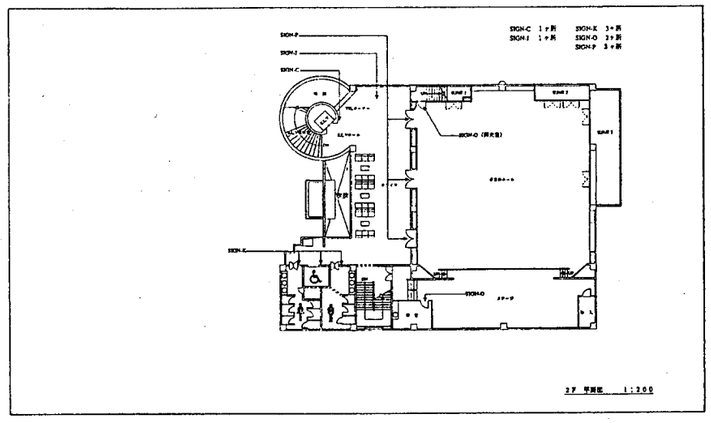
三潴町公民館新築工事

サイン工事リスト 1

34033

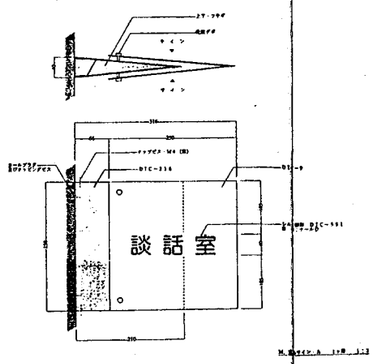
1041

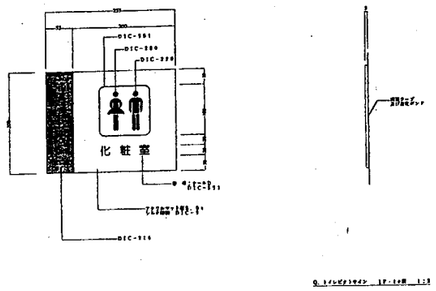


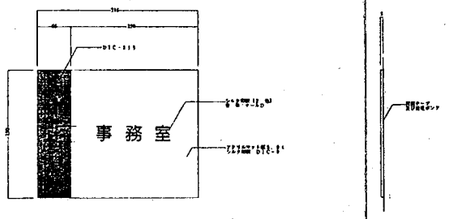


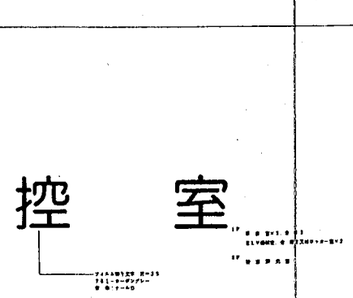
サインリスト

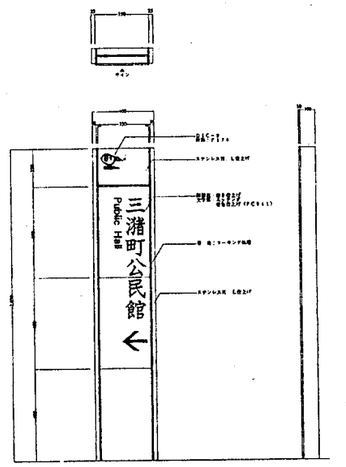
記号	サイン名称	数量	施工場所	仕様及び備考
A	エントランス壁面文字	1ヶ所	1 F	ステンレス・ピット文字鏡面仕上げ H200×D20
B	総合案内スタンドサイン	1ヶ所	1 F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ・強化ガラス6t H1.253×W1.600
C	EV・TELコーナーサイン	3ヶ所	1・2F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H250×W316
D	旧館誘導サイン	1ヶ所	1 F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H250×W1.500
E	図書室スタンドサイン	1ヶ所	1 F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H1.200×W400
F	図書室内案内サイン	1ヶ所	1 F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H1.200×W1.200
G	幼児コーナーサイン	1ヶ所	1 F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H250×W316
H	受付カウンターサイン	2ヶ所	1 F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H60×W250
I	自販機コーナーサイン	1ヶ所	1 F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H280×W250
J	喫煙コーナーサイン	2ヶ所	1・2F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H1.000×W300
K	トイレピクトサイン・突き出し	6ヶ所	1・2F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H250×W316
L	トイレ誘導サイン・天吊り	1ヶ所	1 F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H380×W300
M	室名サインA	1ヶ所	1 F	ポンデ鋼板メラ焼き塗装仕上げ H250×W316
N	室名サインB	1ヶ所	1 F	アクリルマット板5t・シルク印刷 H250×W316
O	室名サインC	9ヶ所	1・2F	カッティングシート（761カーボングレー）H35
P	多目的ホールサイン	3ヶ所	2 F	ステンレス梨地フショク鏡面仕上げ H200×W200
Q	トイレピクトサイン	1ヶ所	1 F	アクリルマット板5t・シルク印刷 H250×W253
R	屋外独立サイン	1ヶ所	1 F屋 外	ステンレスH．L仕上げ・御影石 H2.050×W400×D110

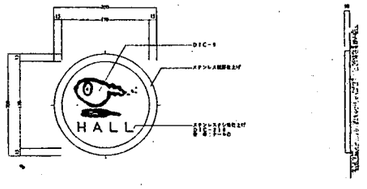












三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

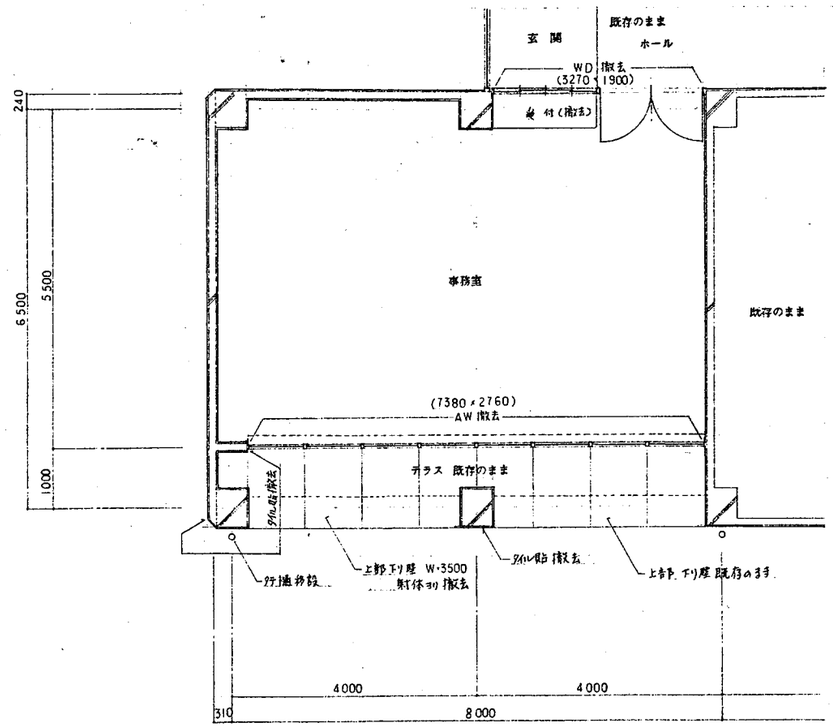
施工 東松

三浦町公民館新築工事

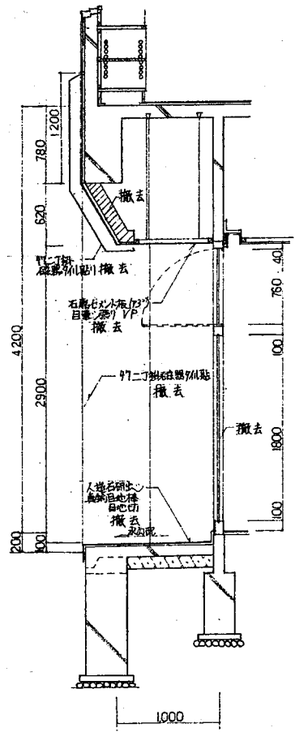
サイン工事リスト2

34033

1042

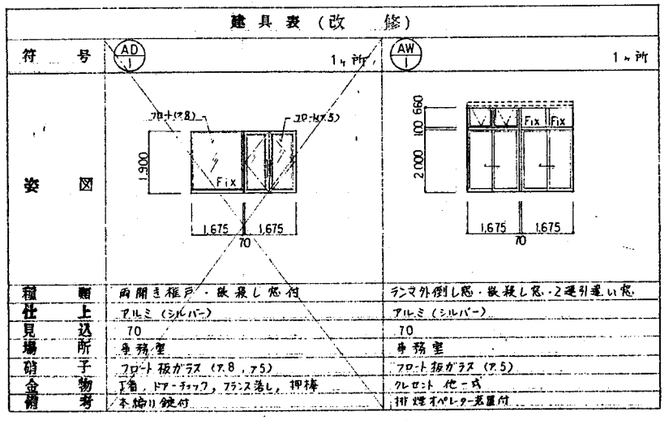


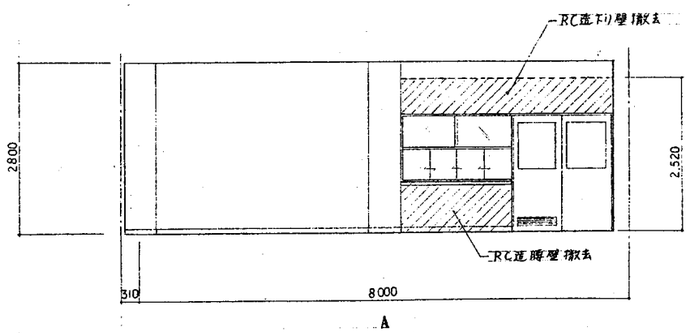
既　存　事務室　平面詳細図　1:50

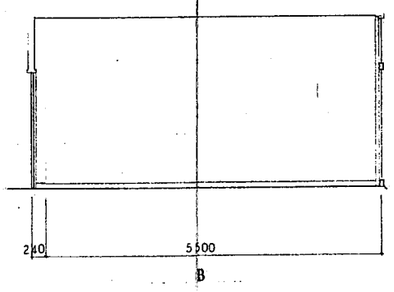


断面詳細図　1:30

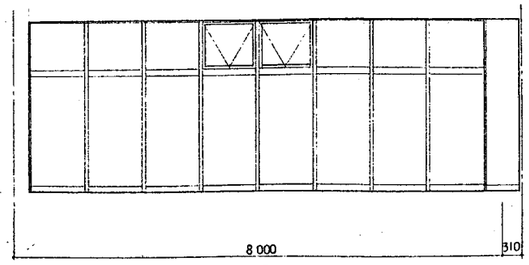
仕上表		
	既　存	改　修
室　名	事務室	展示室
天井高	2800	2750
床	ビニールタイル貼	ビニールタイル貼(A)(下地モルタル金コテ押え)
巾木	ビニール巾木 H=75	ビニール巾木(下地モルタル金コテ押え)
壁	モルタル金コテ押え下ごしらえ シラコート吹付	吹付タイル(B)(下地モルタル金コテ押え)
天井	⑨9 ジプトーン張	石膏ボード(t9) 目地レEP吹付(軽鉄下地)
備考	下地より全て撤去	全て下地より設置

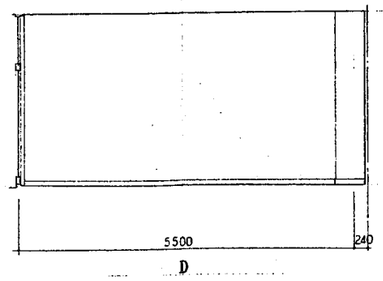
建具表(改修)		
符号	AD 1ヶ所	AW 1ヶ所
姿図		
種類	両開き極戸・嵌殺し窓付	ランマ外倒し窓・嵌殺し窓・2連引違い窓
仕上	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)
見込	70	70
場所	事務室	事務室
硝子	フロート板ガラス(t8,t5)	フロート板ガラス(t5)
金物	丸角,ドアーチェック,フランス落し,押棒	クレセント 他一式
備考	本締り錠付	排煙オペレーター装置付





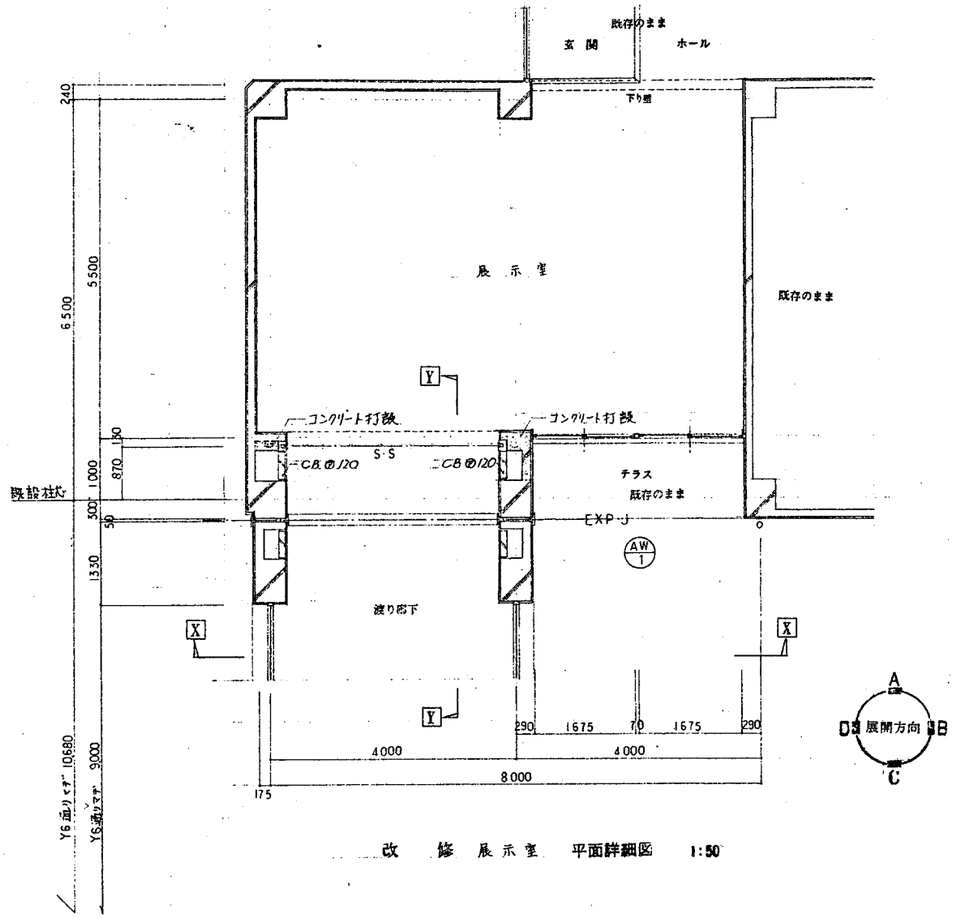
既　存　事務室　展開図　1:50



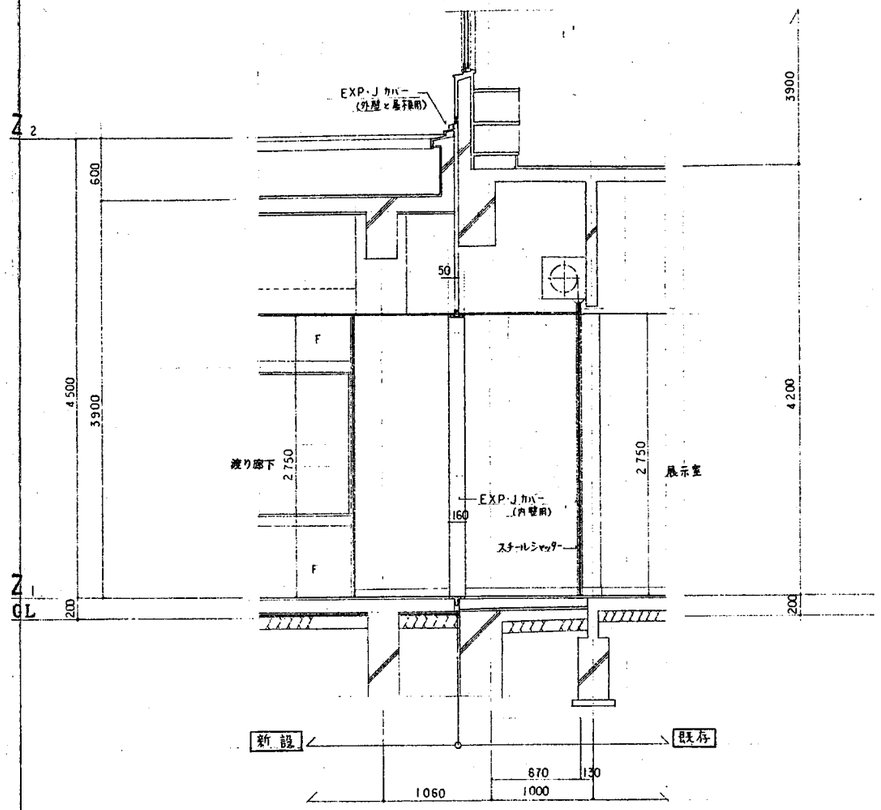


三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

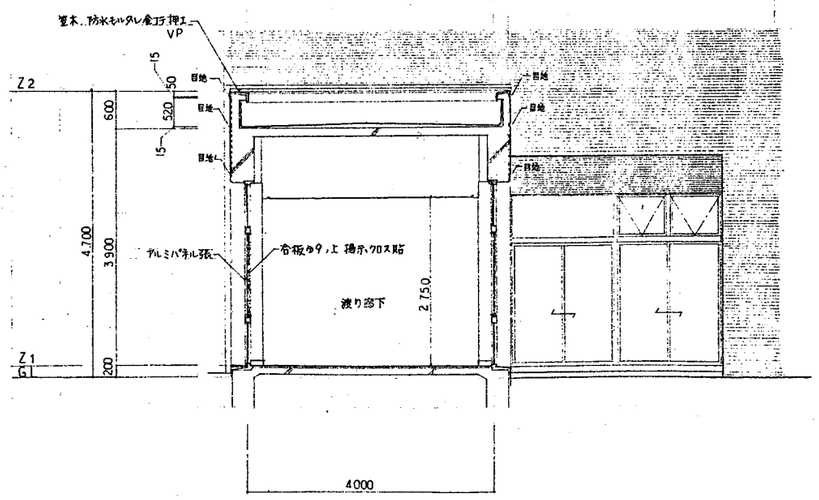
検工	三潴町公民館新築工事	4.7	34033
	既　存／事務室　詳細図 展開図	1:30 1:50	1043



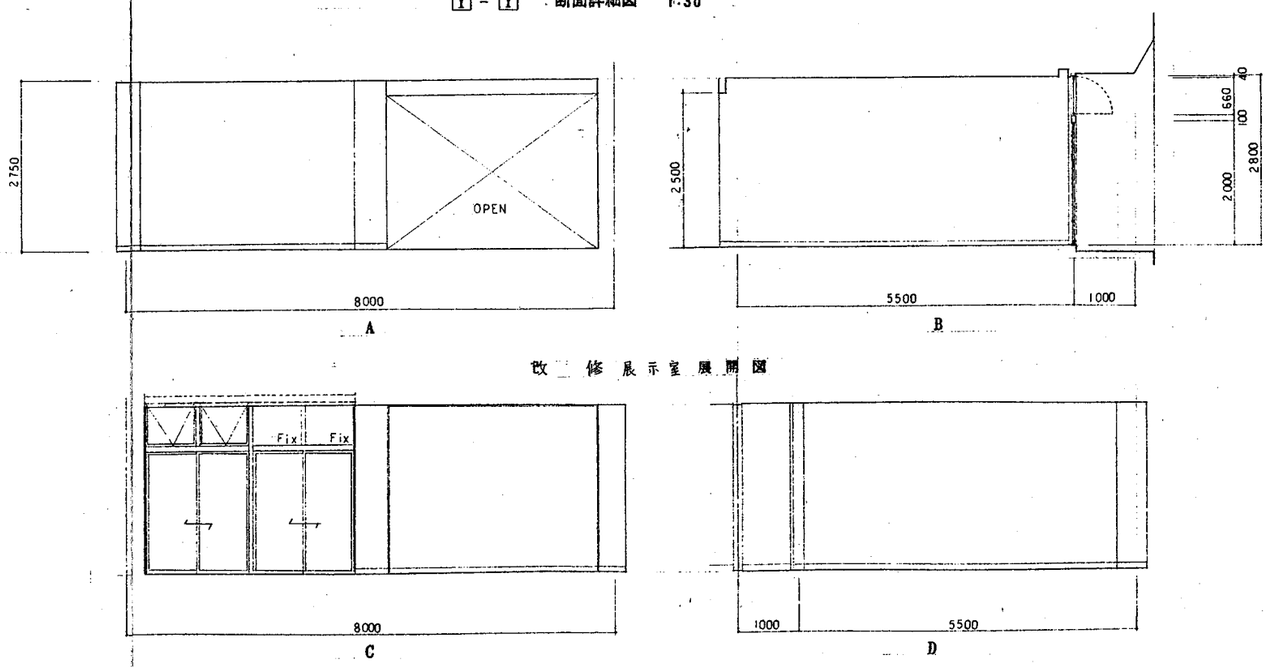
改 修 展示室 平面詳細図 1:50



Y - Y 断面詳細図 1:30



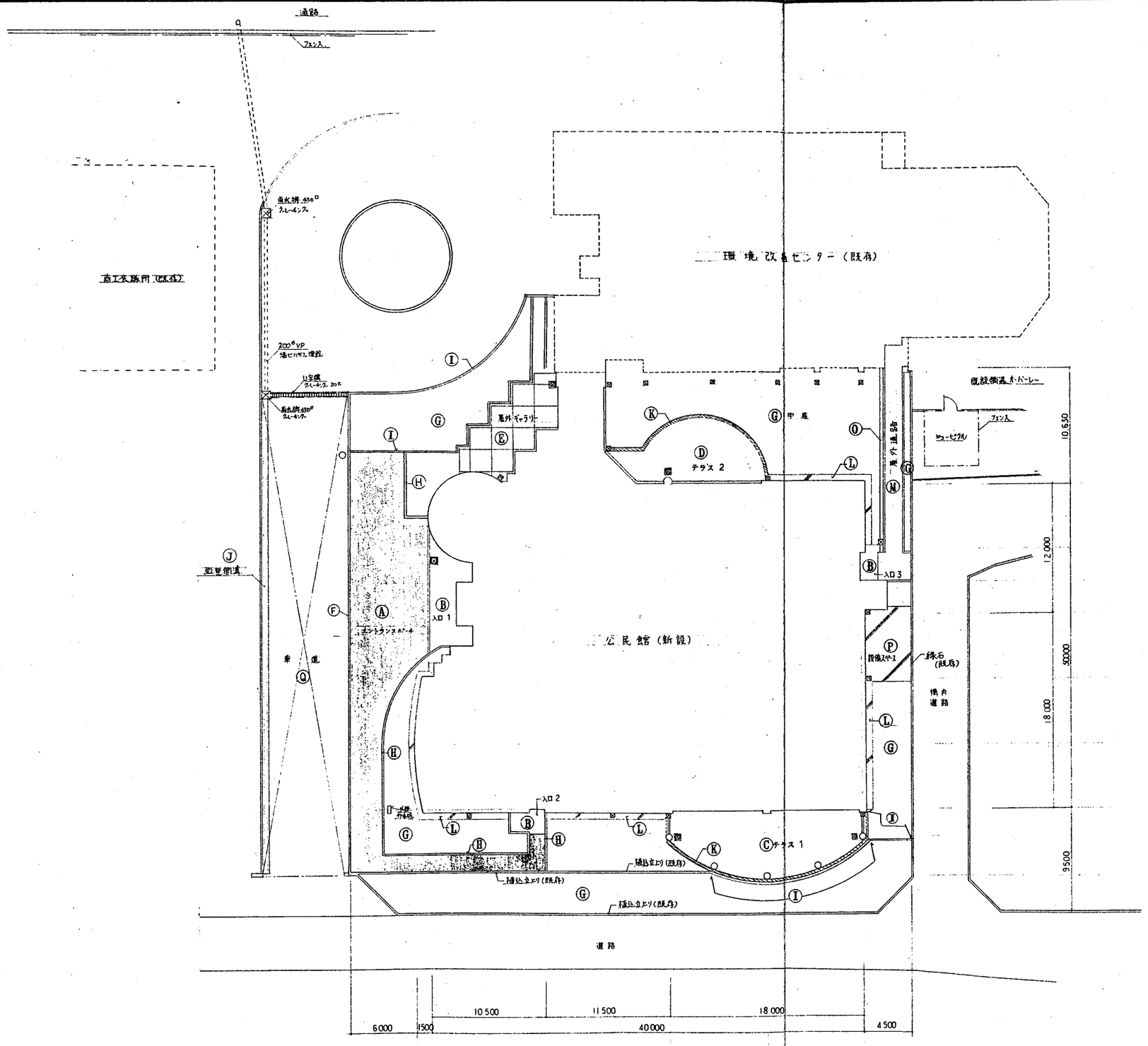
X - X 断面詳細図 1:50



改 修 展示室 展開図

三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

竣工	三浦町公民館新築工事	4.7	34033
	改 修／渡り廊下 展示室 詳細図 展開図	1:30 1:50	1044

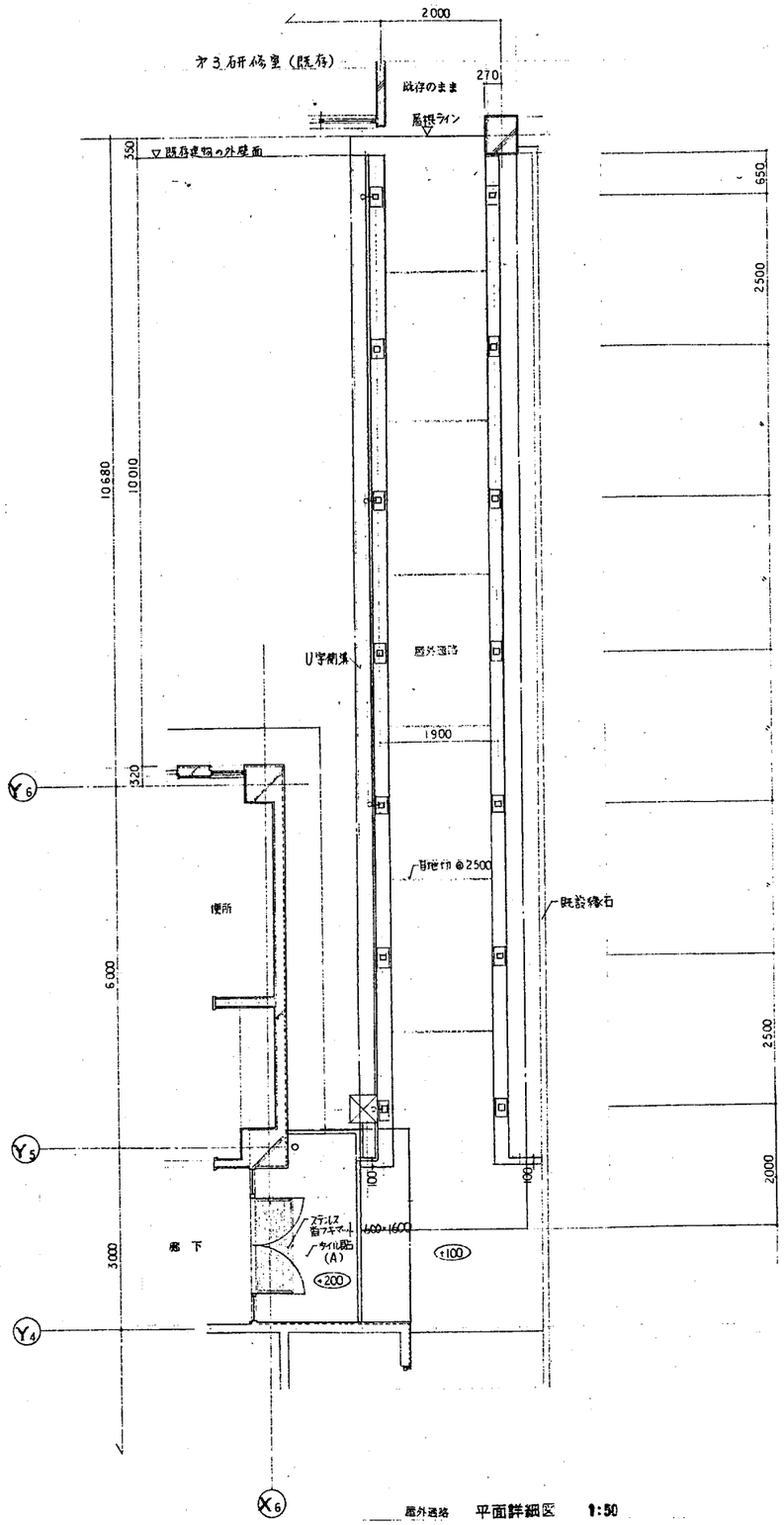


外構配置図　1:200

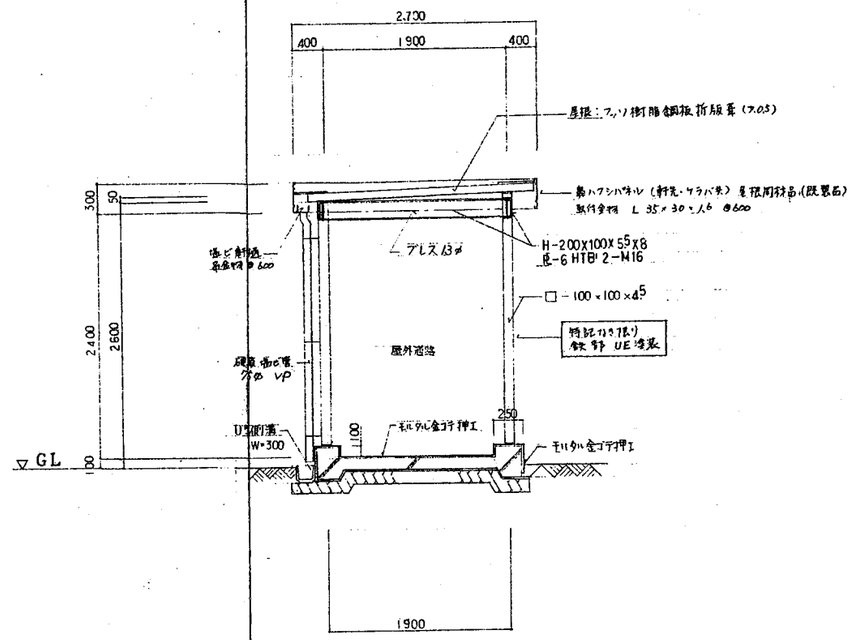
記号	仕様・箇所名	形状	備考
Ⓐ	インターロッキング舗装	100 × 200 × ⊕60	下地：クッション砂 ⊕30 クラッシャラン C-40 ⊕100
Ⓑ	タイル貼（A）	108 × 60	下地：土間コンクリート
Ⓒ	〃（B）	〃	〃
Ⓓ	〃（B）	〃	〃
Ⓔ	〃（C）	〃	〃
Ⓕ	縁石	150 × 200 × 600（歩道A）	クラッシャラン C-40 ⊕100 スチコン ⊕60 モルタル ⊕20
Ⓖ	植込（土入合）	（右記以外別途工事）	樹高樹木（ヤボ）物種及び一部伐採は本工事
Ⓗ	擬石縁石（R付）	100 × 600 × H 200	下地：クッション砂 ⊕30 クラッシャラン C-40 ⊕100
Ⓘ	〃	〃	既存石積盛替え
Ⓙ	四型側溝	400 × 600（既製品）	スチコン ⊕60 モルタル ⊕20 下地：クラッシャラン C-40 ⊕100
Ⓚ	側溝（RC造）	W=150	（テラス廻り1階平面詳細図）参照
Ⓛ	犬走り（RC造）	W=600	モルタルコテ目地
Ⓜ	屋外通路		屋外通路平面詳細図参照
Ⓞ	U字溝（既製品）	W=300	
Ⓟ	コンクリート舗装	（t 200）	ダテ・ヨコ共 D13 @150
Ⓠ	アスファルト舗装	表層 50 ， 路盤 150	既存舗装撤去後 レベル調整
⊠	化粧柵	450□ 5ヶ所	壁と同材タイル
⊠	雨水桝（既製品）		設備工事

三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

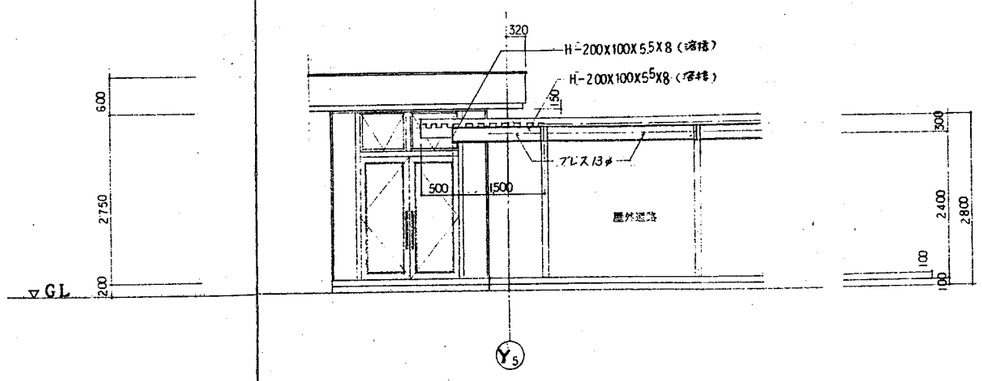
三潴町公民館新築工事	4.7	34038
外構配置図	1:200	1045



屋外通路　平面詳細図　1:50



屋外通路　断面詳細図　1:30



屋外通路　側立面図　1:50

三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

縮尺	三浦町公民館新築工事	4.7	34033
	屋外通路　平面詳細図・側立面図	1:30 1:50	1046

(A) 共通事項

1. 配筋は設計図によるほか、本図及び日本建築学会編建築工事標準仕様書による
2. 上記仕様書及び設計図において納り及び配筋上疑問の点は係員の指示による。もし、独自の判断で行なわれ、設計の意図に反する場合は、やり直す事がある。
3. コンクリート打設に先立ち、定着、継手、かぶり、鉄筋間隔等について配筋検査を受ける。

4. 鉄筋の表示記号

丸鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	28φ	32φ
異形	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記号	·	×	-⊕-	●	○	●	■	◆

5. 鉄筋の定着および重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度の範囲 (kg/cm²)	定着の長さ L(1) 一般	下ば筋 小ばり	下ば筋 床スラブ 屋根スラブ	重ね継手の長さ L(3)(4)
SR24 SRR24	210以上(2) 270(240)以下	35d(5) フックつき	25d フックつき	15cm フックつき	35d フックつき
	135以上 210未満	45d フックつき			45d フックつき
SD30 SD35	210以上(2) 270(240)以下	40dまたは 30dフックつき	25dまたは 15dフックつき	10dかつ 15cm以上	40dまたは 30dフックつき
	135以上 210未満	45dまたは 35dフックつき			45dまたは 35dフックつき
SD40	210以上(2) 270(240)以下	45dまたは 35dフックつき			45dまたは 35dフックつき

〔注〕(1) 末端のフックは、定着および重ね継手の長さには含まない。
(2) dは丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値とする。
(3) 径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細いほうのdを用いる。
(4) ( )内は軽量コンクリートの場合
(5) 表中にない種類の鉄筋を用いる場合、下ば筋の定着の長さ以外は、日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準」17条による。
(6) はりおよびスラブ筋の定着のための中間折り曲げにおいては表中の定着の長さしにかかわらず、柱およびはりの中心をこえてから折曲げる。

壁式構造の場合（ラーメン構造の場合も準ずる）

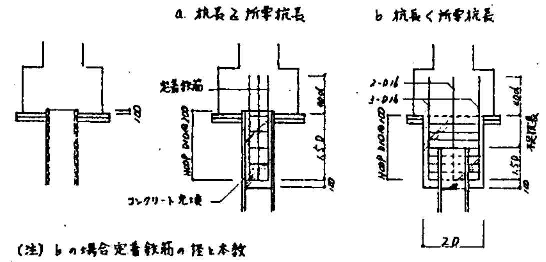
			丸鋼	異形
耐力壁	タテ筋	定着・継手	30d	35d
	ヨコ筋		40d	45d
耐力壁以外の壁		〃	30d	30d
曲げ補強筋、壁梁主筋		〃	40d	45d
斜め補強筋		定着	40d	40d
床板	上端筋	〃	40d	45d
	下端筋	〃	30d	30d
	上、下端筋	継手	30d	30d

6. 異形鉄筋のフックの必要な個所
原則としてフック無しとする。但し下記の部分はフックをつける
a. 柱筋：最上階主筋の頂部端末の全部、4隅部分の主筋の重ね継手部分
b. 梁筋：出隅部分の主筋の重ね継手部分
c. 煙突の鉄筋及び片持梁、片持スラブの上端筋の先端

(B) 配筋標準図

1. 杭頭処理

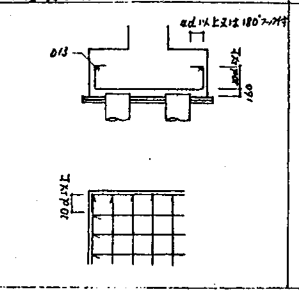
a. 杭長≧所要杭長　b. 杭長く所要杭長



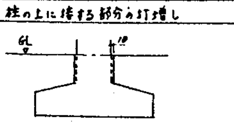
（注）bの場合定着鉄筋の径と本数
杭径 350φ以下 4-D13
400φ以上 8-D13

D＝杭径

2. 基礎主筋配筋要領

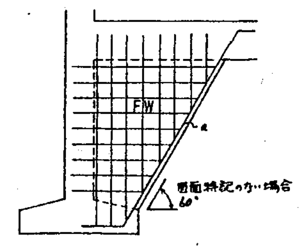


3. 柱の上に接する部分の打増し



柱が土に接する場合は10mm以上打増す

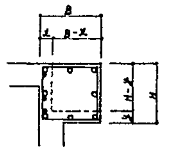
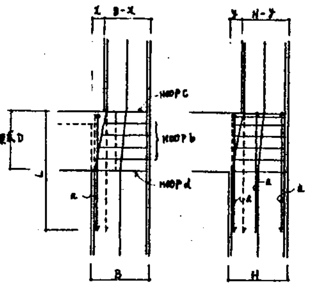
4. 基礎袖壁補強（位置は設計図による）



FWの壁配筋は壁リストによる
補強筋 aは FW300のとき 2-D22
FW250のとき 2-D19
FW200以下 2-D16

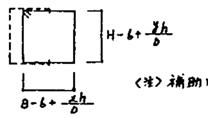
5. 上下階柱寸法の変化により梁主筋定着が柱主筋のしぼりの外に出る場合

（例えば、柱が外面合せで柱主筋が片側しぼりになり梁主筋が柱内面筋の外にでる）
x又はy>50のときは柱主筋はしぼることなく実線の如く上下にのばす
（この場合 a 補強筋必要なし）

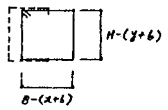
x又はy≦50の場合
・印 補強筋（リスト外）主筋と同径3本（柱主筋が多い場合は係員の指示による）
○印 リスト柱主筋

・HOOP b リストと同ピッチ



〈注〉補助HOOP（実線）はリストと同径、½ピッチとする。

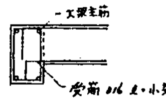
・HOOP c リストHOOPより1SIZE UP



・HOOP d リストHOOPより1SIZE UP

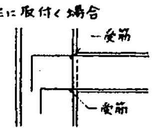
6. 小梁の鉄筋

a. 大梁に取付く場合



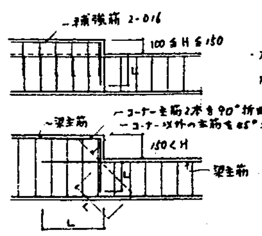
・上端筋：大梁主筋の上を通す。
・下端筋：終端部分は左図の如く受筋を入れる。
・終端部分の4隅の主筋は、大梁内に斜めに定着する。

b. 柱に取付く場合



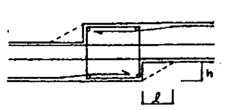
・受筋を上下共D16を配筋する（柱HOOPに関係なく）

7. 梁の段違補強筋



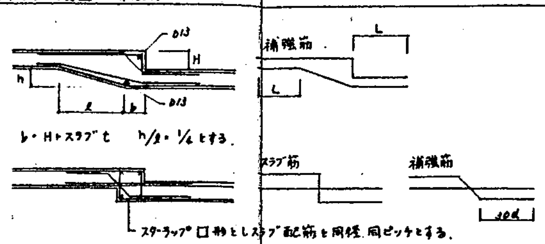
・スターラップは ⊏⊐ 型とし梁リストと同径、同ピッチとする。

8. 梁筋と柱の平面定着



・梁筋はなるべく通るものは通す。
・原則として梁筋は柱主筋の内側を通す。
・梁主筋を落し込む場合は柱主筋の位置を十分考慮し行う。
・柱と梁の主筋が接そうする場合は、さしつかえない限り水平ハンチをつける
（ℓ.h及び配筋については係員の指示による）

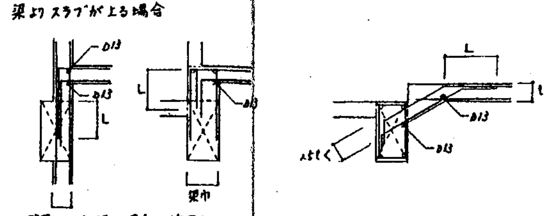
9. スラブの段違い補強筋



b＝H＋スラブt　h/ℓ＝¼とする。

スターラップ ⊏⊐ 形としスラブ配筋を同径、同ピッチとする。
・原則として段違いがある場合はハンチをつけて補強する。
・補強筋は上端筋と同径、同ピッチとする。

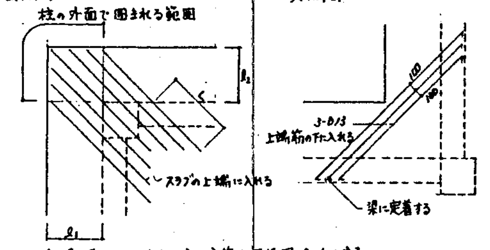
梁よりスラブが上る場合



壁厚が180以下の場合は採用しない。

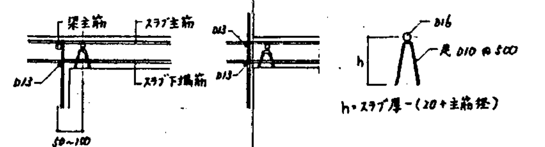
10. 片持スラブの出隅部、入隅部の補強筋

出隅部　入隅部

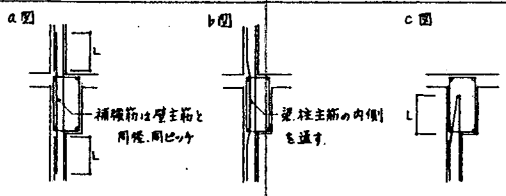


・ℓ1, ℓ2 両スパンの大きい方の主筋と同径同ピッチとする
・片持スラブ部分の配力筋をそのまま延ばす。

11. 片持スラブのスペーサー



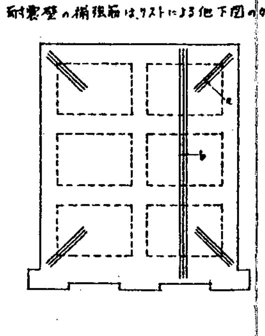
12. 耐震壁の鉄筋の定着と継手



・耐震壁鉄筋は、b図の如く通し配筋を原則とする。

13. 耐震壁の隅角部補強筋

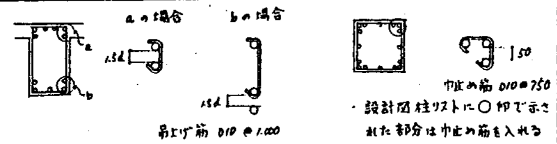
耐震壁の補強筋はリストによる他下図の如く配筋する。



・耐震壁及び帯壁の4隅に補強筋を入れる
又耐震壁に小梁等の集中荷重が加わる場合は、b（上下梁まで）を入れる

a：3-D13 ℓ＝1500
b：2-D13（3-D13ダブル）

14. 梁の2段配筋及び柱の隅宵筋の巾止め筋



・設計図柱リストに○印で示された部分は巾止め筋を入れる

15. 打増部分の補強配筋

・図面に特記のない場合は下記による。
・スターラップ及びフープは ⊏⊐ 型とし柱、梁リストと同径、同ピッチとする
a. 柱及び梁上下の打増　b. 梁側面の打増

aの場合

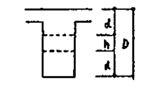
h ≦ 50	補強筋不要	B ≦ 300	補強筋 2本
50 < h ≦ 150	D16	300 < B ≦ 500	3本
150 < h ≦ 300	D19	500 < B ≦ 750	4本
300 < h	D22	750 < B	5本

bの場合（補強筋の径は主筋と同径とする）

h < 100	補強筋不要		
100 ≦ h < 200	上下各1本	350 ≦ h ≦ 500	上下各3本
200 ≦ h < 350	〃 2本	500 < h	〃 4本

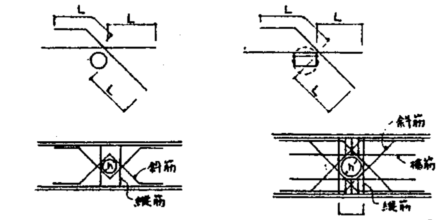
16. 梁（地中梁共）の貫通孔の補強筋

・貫通孔の上下方向の位置は、原則として梁の中心とし、下記による



500 ≦ D < 700　d ≧ 175
700 ≦ D < 900　d ≧ 200
900 ≦ D　d ≧ 250

・貫通孔の径が1/10 D以下かつh＝100未満の場合は補強筋不要
・貫通孔が円形でない場合は、外接円孔におきかえて右配筋を適用する。
・貫通孔の中心位置は、柱及び直交するはりの面より1.2D以上はなすことを原則とする。
・貫通孔が並列する場合、その中心間隔は孔の径の平均値の3倍以上とする。
・補強筋は、原則として主筋の内側とする。
・鉄筋の定着長さは下図による



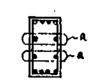
スターラップは ⊏⊐ 型とする。

適要範囲	斜筋	縦筋	横筋	スターラップ	備考
100 ≦ h < 150	2×2-D13	2×2-D13	なし	なし	
150 ≦ h < 200	4×2-D13	2×2-D13	2×2-D13	左1×2-D13	
200 ≦ h < 300	4×2-D16	2×2-D16	2×2-D13	左2×2-D13	
300 ≦ h < 400	4×2-D19	2×2-D16	2×2-D16	左3×2-D13	

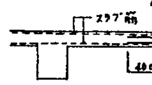
〈注〉・孔径の最大寸法は ¼ Dとし、梁巾は400以下とする。その他の場合は係員の指示による。

17. コンクリートの打継部分のせん断補強筋

打継面に於いて新旧部分のコンクリート打込日時が7日以経るものに適用する



イ) 打継ぎケ所はせん断力の最小の部分に設ける（一般梁に於いてはスパン中央）打継部には、補強筋を入れる
a筋（補強筋）は主筋と同径、本数は主筋の½（端数切上）
ロ) イ)以外のケ所に設ける場合
a筋は、主筋と同径、本数は主筋の ½＋2（端数切上）



・スラブ打継の場合
補強筋は主筋と同径 同ピッチとする。

18. スターラップ及びフープの形状

a. スターラップ　b. フープ

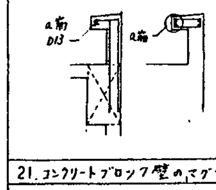
・原則としてスターラップ、フープの形状は左図の要領とするがやむなくその他の形状とする場合は、係員の指示を受ける。

〈注〉・スターラップ及びフープの末端部を1組ごとに交互に組む。

19. 注記事項

a. 柱筋の台直しは許可しない。上階と下階の主筋の位置が25mm以上ずれる場合は、梁主筋ベンドと同様事前に加工を行う。
b. 庇、片持スラブの上端筋は、コンクリート打込み中と難も位置を正確に保てる様スペーサを敷飼う事。又、仮枠の存置期間は、4週間以上とする事
c. 広告塔等のアンカーは予めて係員の指示を受け所定の位置に埋込む事
d. スラブ等の駄目穴周りの鉄筋は、スラブ配筋の5割増しとし正しい位置を保てる様に工作する。
e. コンクリート部分の斫りは事前に係員の承認をうける。
f. 特記なき、間柱、方立等は、断面の0.8%以上の鉄筋量を係員の指示に従い確保する事

20. パラペットの配筋



・配筋は設計図による
・パラペットの長さが10m以上の時 a筋は 1-D16とする
20m以上の時 a筋は 2-D13とする。

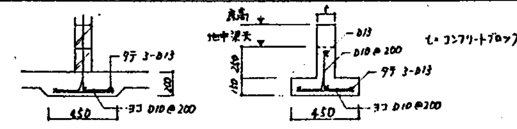
21. コンクリートブロック壁のマグサの配筋

・コンクリートブロック壁の配筋は壁リストによる
・マグサの配筋は下記による。

	ℓo ≦ 1.0	1.0 < ℓo ≦ 1.6	1.6 < ℓo ≦ 2.4
H	200	200 (400)	400
主筋	2-D13	2-D13	2-D16 (D19)
スターラップ	D10@200	D10@200	D10@200 (2-D10)

・( )内はコンクリートブロック@200の場合
・tはコンクリートブロック厚に同じ
・マグサの両端は壁内に200以上入れる

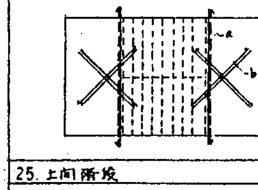
22. コンクリートブロック壁の基礎



23. 土間コンクリート

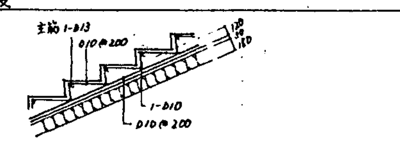
・土間コンクリートの配筋は、設計図による
・土間コンクリート下、敷砂利、栗石の転圧は、バイブローラーで締め固め、期待地耐力は、5.0t/m²とする。転圧時は係員の指示又は承認を得る事
・犬走りコンクリートの配筋は設計図によりあらかじめ差し筋を行う

24. 階段踊場の平面補強



・a筋 2-D13（上下各1本）
・b筋 2-D13 ℓ＝1,100
（上端筋の下へ配筋する）
・踊場は特記なき限りスラブ厚150
鉄筋 D10@200 タテ、ヨコダブル配筋とする。

25. 土間階段



26. 打放しコンクリートのふかし

a. 外部：20mm
b. 内部：10mm

27. 地業

a. 地中梁下	捨てコンクリート	⑦ 50
	敷砂利	⑦ 50
b. 基礎下	捨てコンクリート	⑦ 60
	敷砂利	⑦ 60
c. 土間コンクリート下	ビニールフィルム	⑦ 0.15mm

28. ひびわれ対策（施工要領）

a. スラブ：配管類を埋込場合は、上下スラブ配筋の中間に収まる寸法としかぶり厚さおよび配管類間のあきは、30mm以上とする。
b. 梁：屋階の梁は、温度応力の影響を考慮して中央下端筋の配筋に注意する。
c. 壁：外壁の最上階、最下階では、斜めひびわれに対して適切な補強を行う。又配管類を埋込場合は、かぶり厚さ、配管類間のあきは30mm以上とする。

三島設計事務所 MISHIMA ARCHITECTS OFFICE	竣工図	三潴町公民館新築工事	4.7	34033
		一般適用事項 1		2001

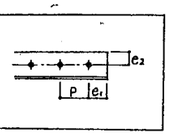
(A) 材料　鋼材は、下記に示す他、日本建築学会建築工事標準仕様書 6.2 による

① 鉄骨　・SS材 ・STK41 ・STKR41 ・SSC41 ・SM41 ・SS50 ・SM50
　◎規格品　・規格に合格するもの
② 高力ボルト　・JIS B1186 に規定するもの　・特殊ボルト ・PIナット ・TCボルト
　・セットの種類　2 種　B セット　ボルト F10T　すべり係数 μ＝0.46
③ 普通ボルト　・SS41 中ボルト
④ 溶接棒　・アーク溶接棒 ・JIS Z3211 ・JIS Z3212 ・JIS Z3311
　・ガス溶接棒 ・JIS Z3201 ・GA46 ・GA43
⑤ ターンバックル　・JIS A5540 ・JIS A5541 ・JIS A5542

(B) 高力ボルトのピッチ、ゲージの標準

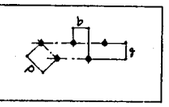
形鋼のピッチ

ボルト呼び径		M12	M16	M20	M22	M24
ボルト穴径		13	17	21.5	23.5	25.5
最小へりあき e_2		22	28	34	38	44
最小はしあき e_1		30	40	50	55	60
ピッチ P	最小	30	40	50	55	60
	標準	50	60	70	80	90



千鳥打ボルトの間隔

ボルト呼び径	P	b				
		g=35	40	45	50	55
M16	48	33	27	17		
M20	60	49	45	40	33	25
M22	66	56	53	48	43	37



(C) 特記事項

1. 中ボルト・中ボルトのピッチ、ゲージは、上表高力ボルトに準ずる。
　・孔径は、ボルト径より 0.5 mm 以下とする。
　・軽量形鋼については、最小ピッチ、はしあきをそれぞれボルトの径の 3 倍、2.5 倍以上とする。
　・総締め付度は、ボルト径の 5 倍以下とする。越える場合は特記及び詳細図による。
　・1 列のボルト数は、8 本以下とする。

2. 添板　・添板の材質は母材と同材質とする。
　・添板の長さは母材の継ぎ部分のクリヤーランスを 5 mm として加工する。
　・母材の材質が異なる場合は、許容応力度の小さい方の材質に同じとする。
　・フィラープレートは、フランジ、ウェブ面共ギャップが 1 mm 以上の場合に挿入する。
　・継ぎ部分の芯で基準は、梁の場合上端フランジを揃える、柱の場合はウェブの中心を一致させる。

3. 溶接　・溶接棒は、初層は 4 mmφ とする。
　・溶接とボルトを併用する場合は、溶接を先に行う。
　・本工事に使用する溶接工は、JIS Z3801（溶接技術検定における試験方法 並にその判定規準）に定める技術試験に合格したものとする。
　・突合せ溶接の場合は継ぎと同じ開先をつけたエンドタブを仮付して溶接を行う。
　・レ型溶接は原則として裏はつりを行う。裏はつりが出来ないときは裏あて金を用いる。
　・スカラップは溶接の種類、方法により適当な工法を使用する。

4. 加工　・設計図に基き各部工作及び原寸図を作製し係員の検査をうける。
　・鋼材の切断は原則として自動切断機を使用し完全な開先加工を行う。自動ガス切断機の場合は、その切口に著しい切欠があってはいけない。
　・ボルトの穴明けは、ドリル穴又は、サブポンチしてリーマ掛けとする。12 mm 以下は仕上寸法にポンチあけとすることが出来る。
　・アンカーボルト孔径は、ボルト径より 5 mm 以下とし、ナットは 2 重ナット締めとする。

5. 塗装　・摩さつ接合面には、塗料、油等を塗ってはならない。場合によりガスにてミルスケール油等を除去する。
　・コンクリートに埋込まれる部分は特に指示する場合を除き塗装しない。
　・塗装及び工法は、標準仕様書 塗装工事による。

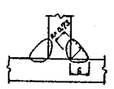
6. 高力ボルト　・高力ボルトの運搬・貯蔵・その他の取扱にあたっては、ねじ山を損じないように、じんあいその他の付着物を防ぎ、防せいにも十分注意する。
　・摩擦面は鋼面に先だち、ミルスケール、浮きさび、じんあい、油、塗料その他の摩擦力を低減させるものは取り除く。
　・締め付完了後、係員の立合いのもとに検査を行う。この場合、その検査方法は、係員の指示により 検査数は、各ボルト群について、ボルト数の 10％以上かつ 1 以上とする。

7. 設計図に示すボルト記号は下記による。

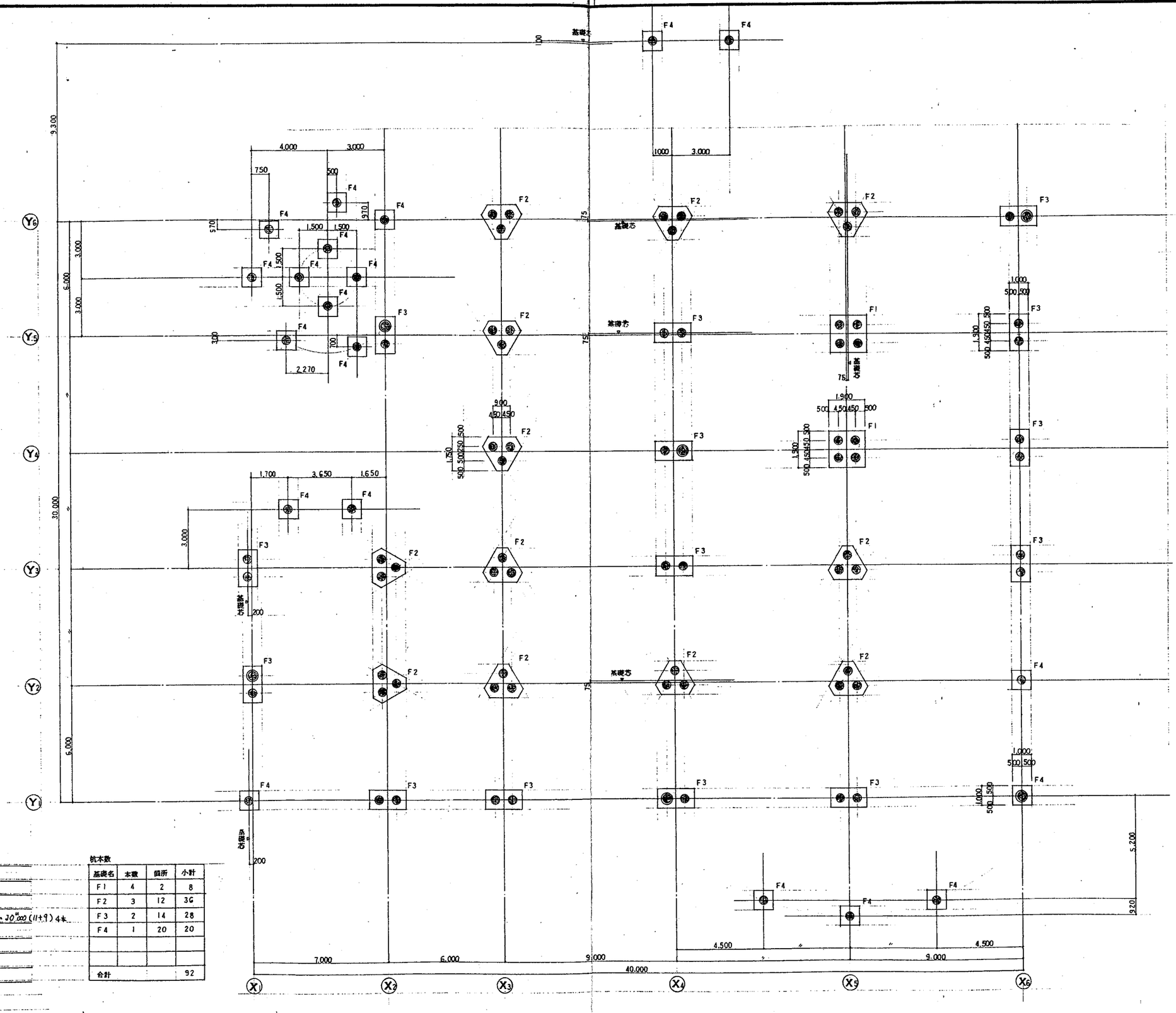
ボルト	M12	M16	M20	M22	M24
記号	−	+	◆	◈	◆

(D) 溶接　◎印は本工事に適用する。　単位は mm

形状図　すみ肉溶接　板厚範囲 ①　適用範囲



- 柱脚リブ、ウェブ底とB底
- 梁のカバー底と梁
- 柱、梁仕口のリブ底
-
-
-



杭仕様

杭種	PHCパイル(節杭)
杭径	440～300φ
杭耐力	50 %/本
杭長	○ l = 21,000 (11+10)　◎ l = 30,000 (11+9) 4本
工法	セメントミルク注入埋込杭
試験杭	6ヶ所　l = 22,000

杭本数

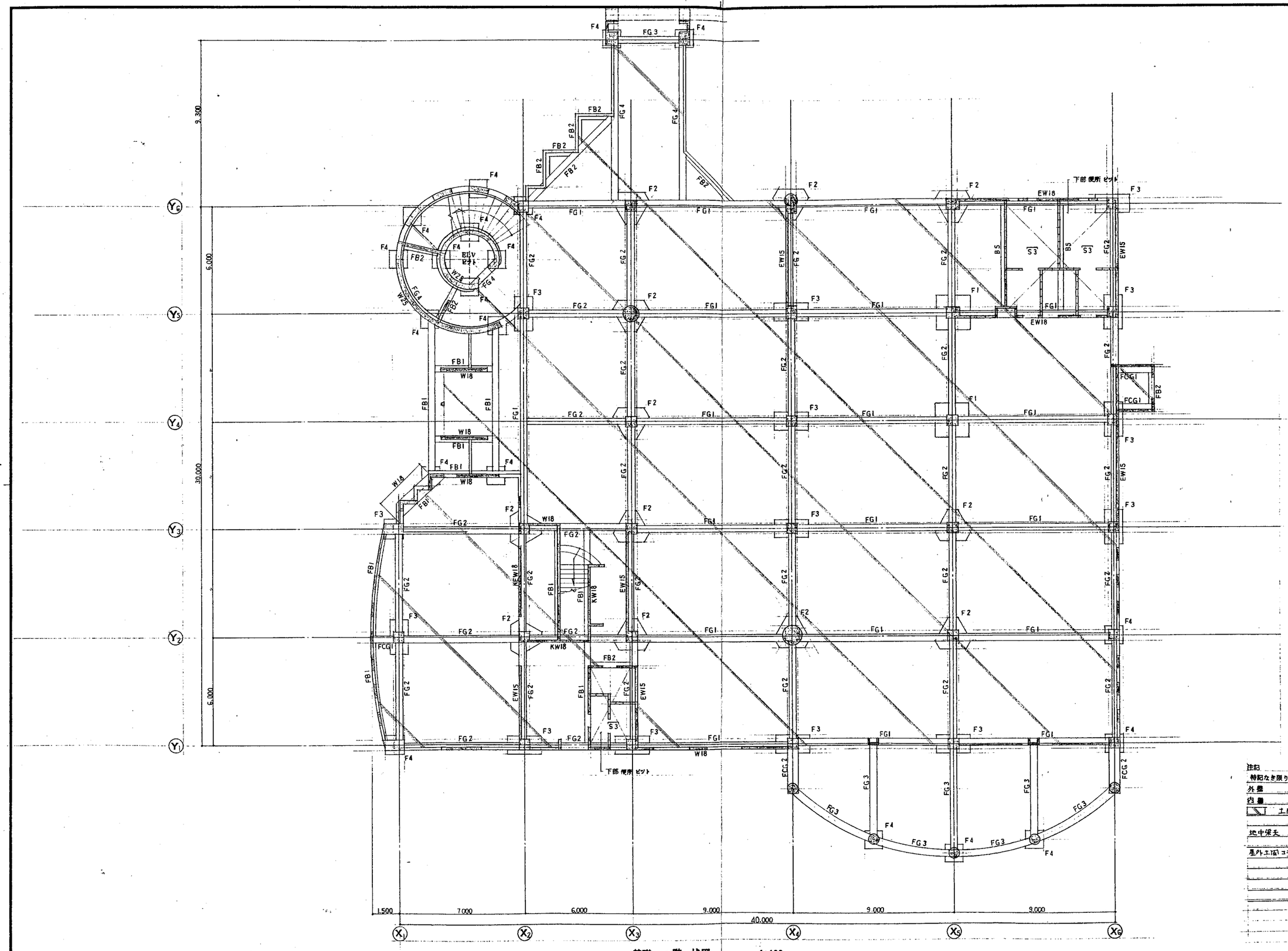
基礎名	本数	個所	小計
F1	4	2	8
F2	3	12	36
F3	2	14	28
F4	1	20	20
合計			92

◎印は試験杭位置を示す。試験杭は傾斜立会いのもとに行い、試験結果の結果、杭長及び杭本数に変更あるものとする。

杭 伏図　1:100

三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

城工図	三猪町公民館新築工事	4.7	34033
	杭 伏図	1:100	2003



注記

特記なき限り下記による

外壁　W15

内壁　W12・CB12（H＝3,000以上はタレ壁とする）

土間コンクリート　(厚) 120　栗石 (厚) 120

鉄筋　D10@200 シングルクロス

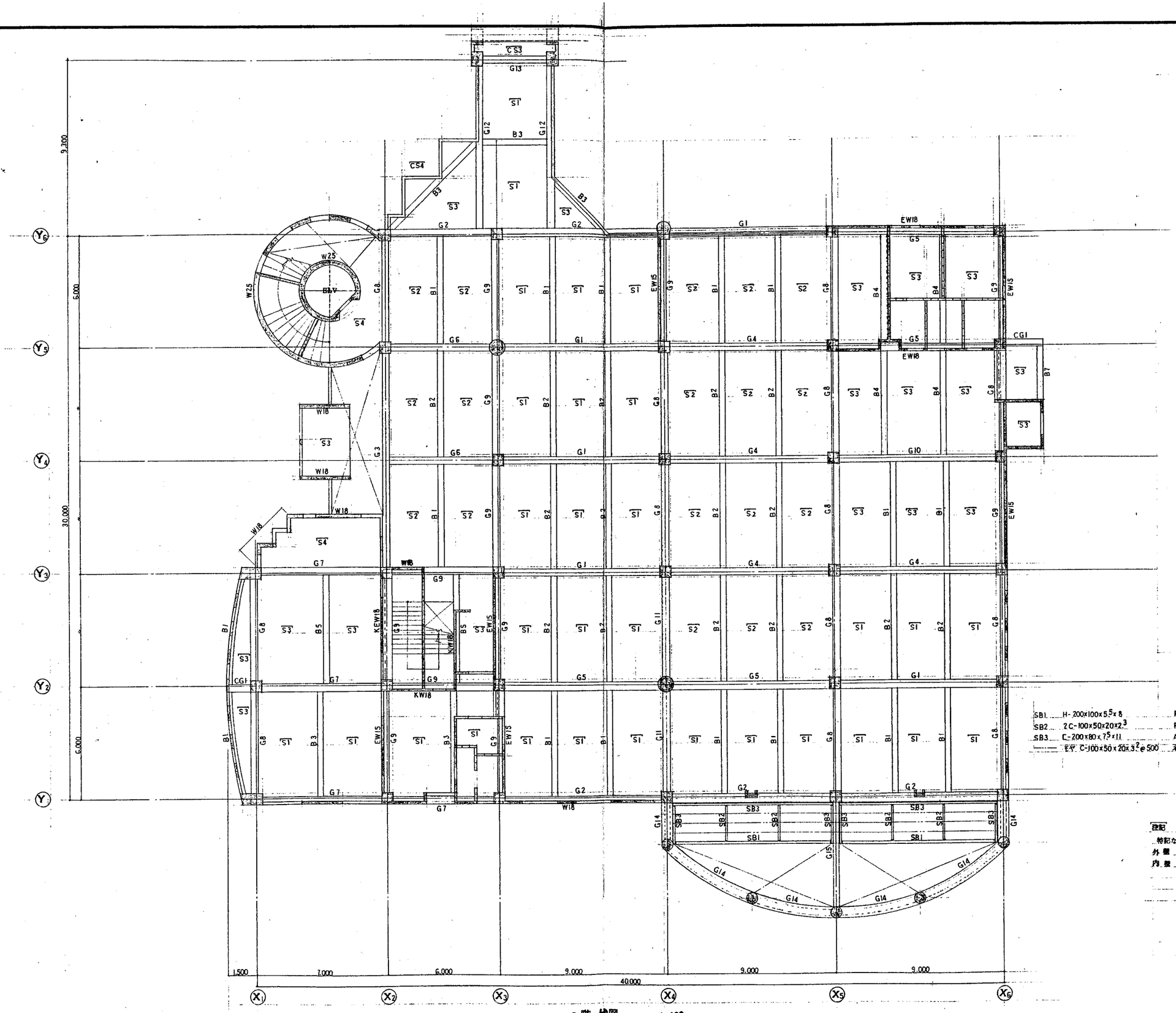
地中梁天　GL－100

屋外土間コンクリートの範囲は意匠図に従う。

基礎　1階　伏図　1:100

三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

竣工図	三潴町公民館新築工事	4.7	34033
	基礎・1階　伏図	1:100	2004



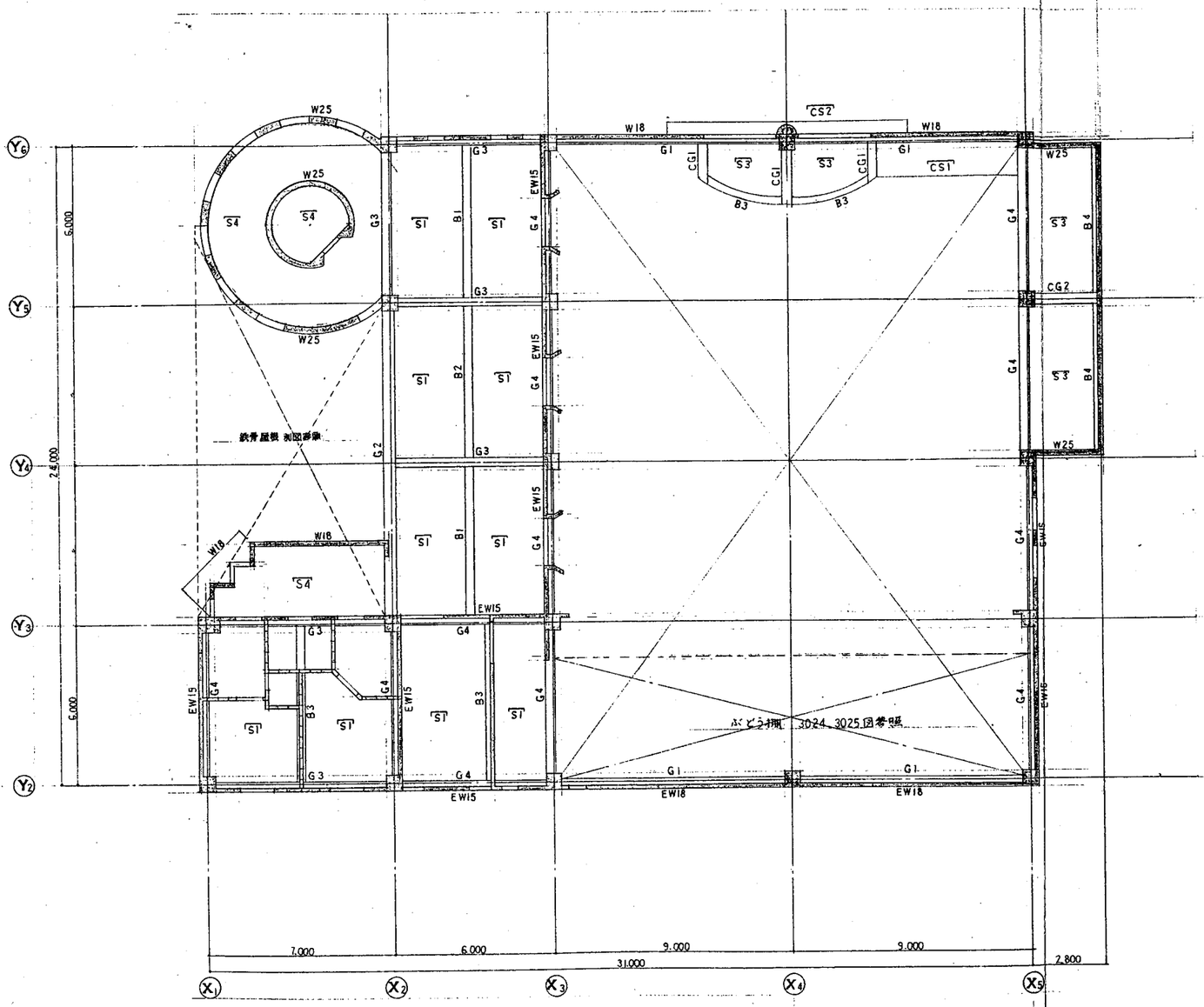
SB1 H-200×100×5.5×8 R-6 H.T.B 3-M20
SB2 2C-100×50×20×2.3 R-4.5 サポルト 2-M16
SB3 C-200×80×7.5×11 A.B. H.T.B 1-M20@1000 L=800(ネ2ヶ所)
モヤ C-100×50×20×3.2@500 ネ:R-4.5加工 サポルト 2-M16

注記
特記なき限り下記による
外壁 W15
内壁 W12・CB12 (H=3,000以上は、タル壁とする)

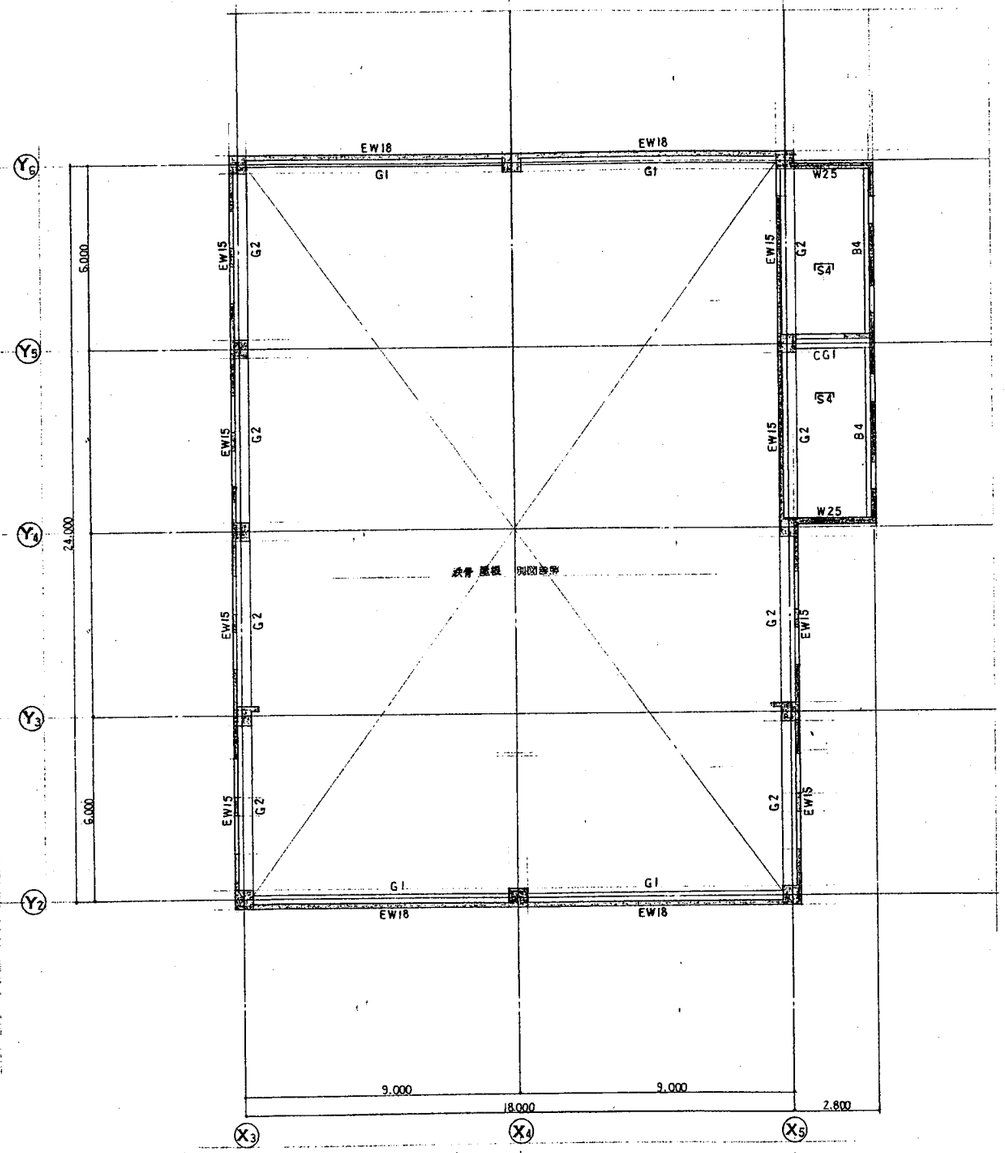
2階 伏図 1:100

三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

三潴町公民館新築工事	4.7	34033
2階 伏図	1:100	2005



3 階 伏図　　1:100

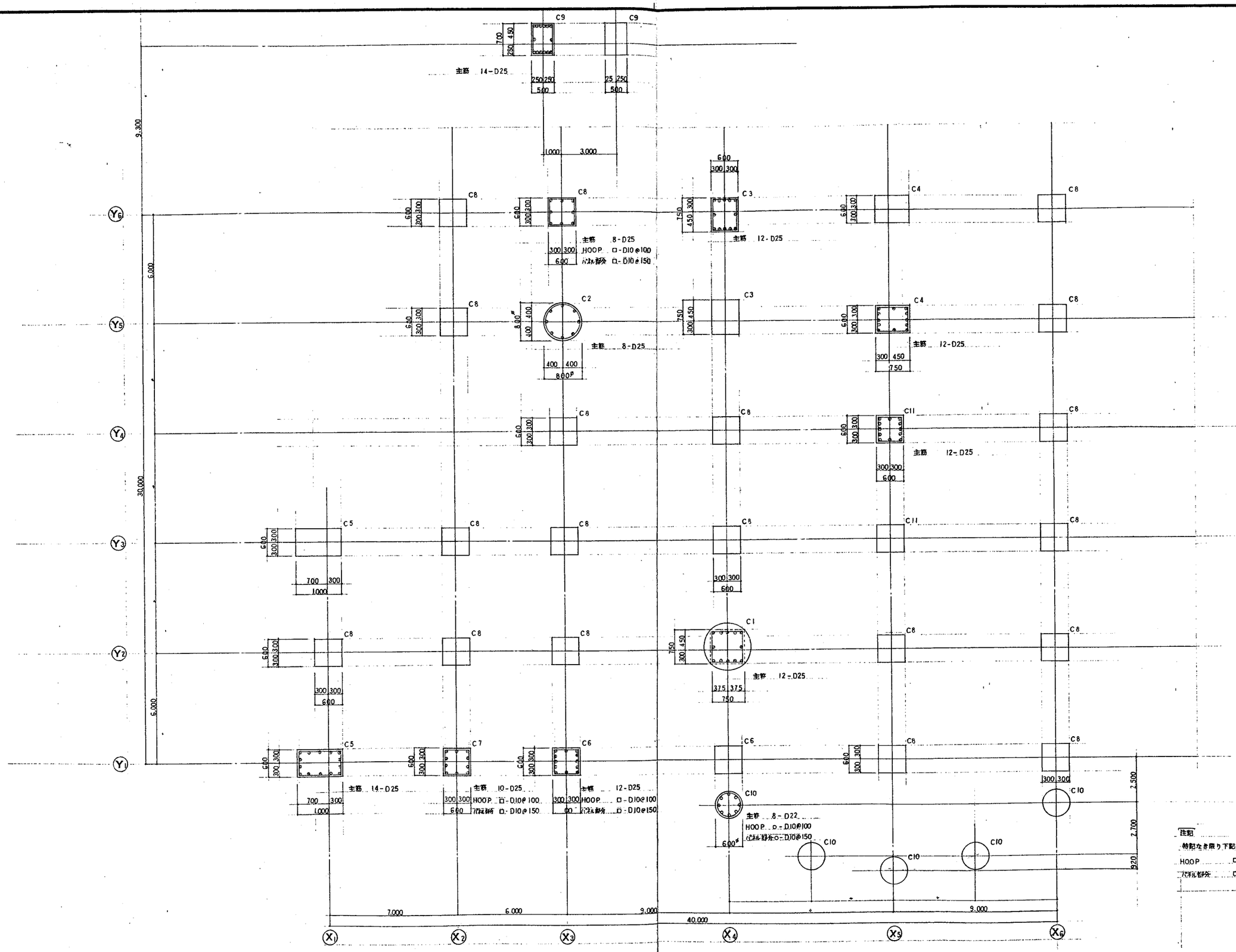


R 階 伏図　　1:100

注記
特別な指示以外は下記による（3・R階共通）
外壁　W15
内壁　W12・CB12（H=3,000以上はタレ壁とする）

三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

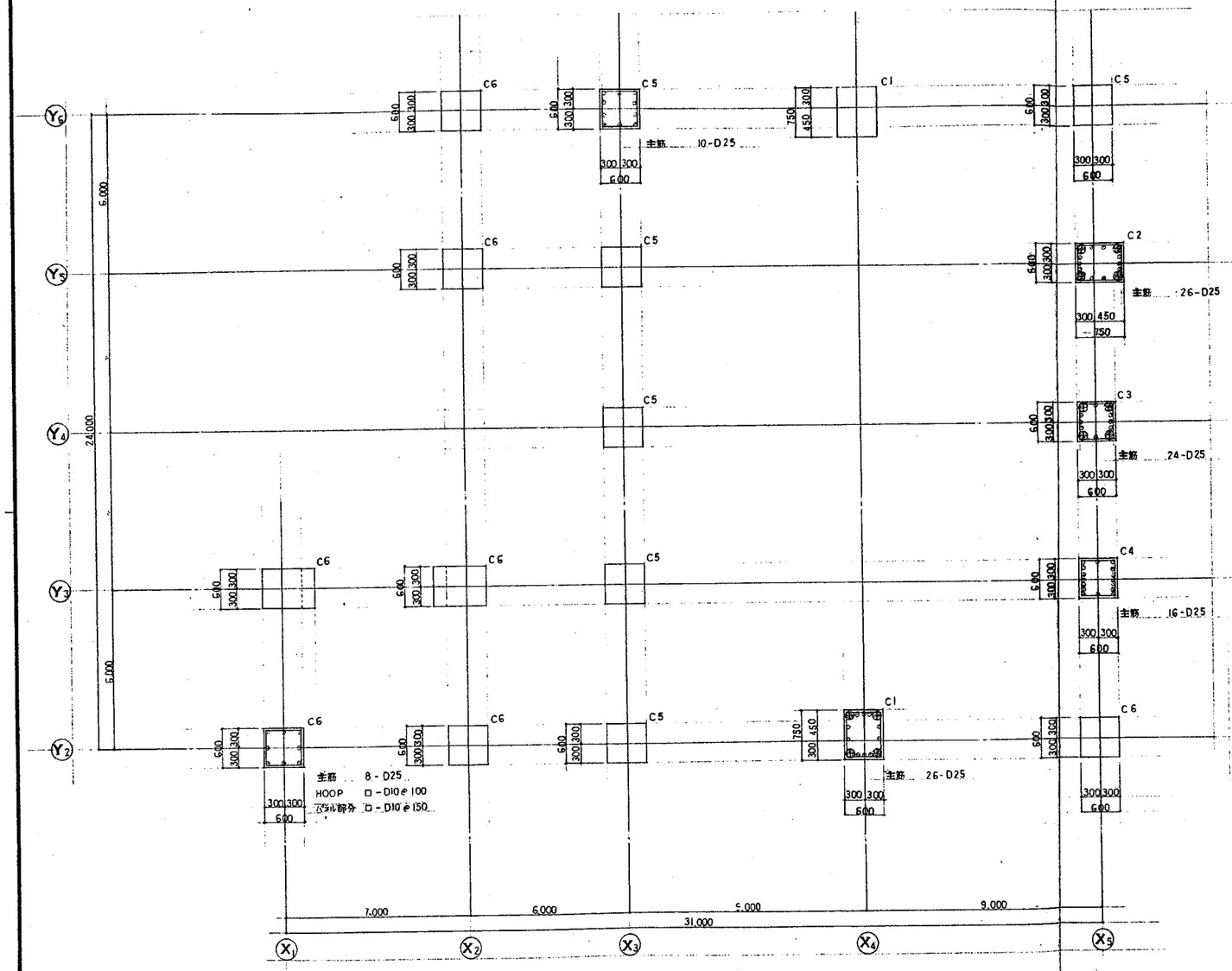
施工	三瀧町公民館新築工事	4.7	34033
	3・R 階 伏図	1:100	2006



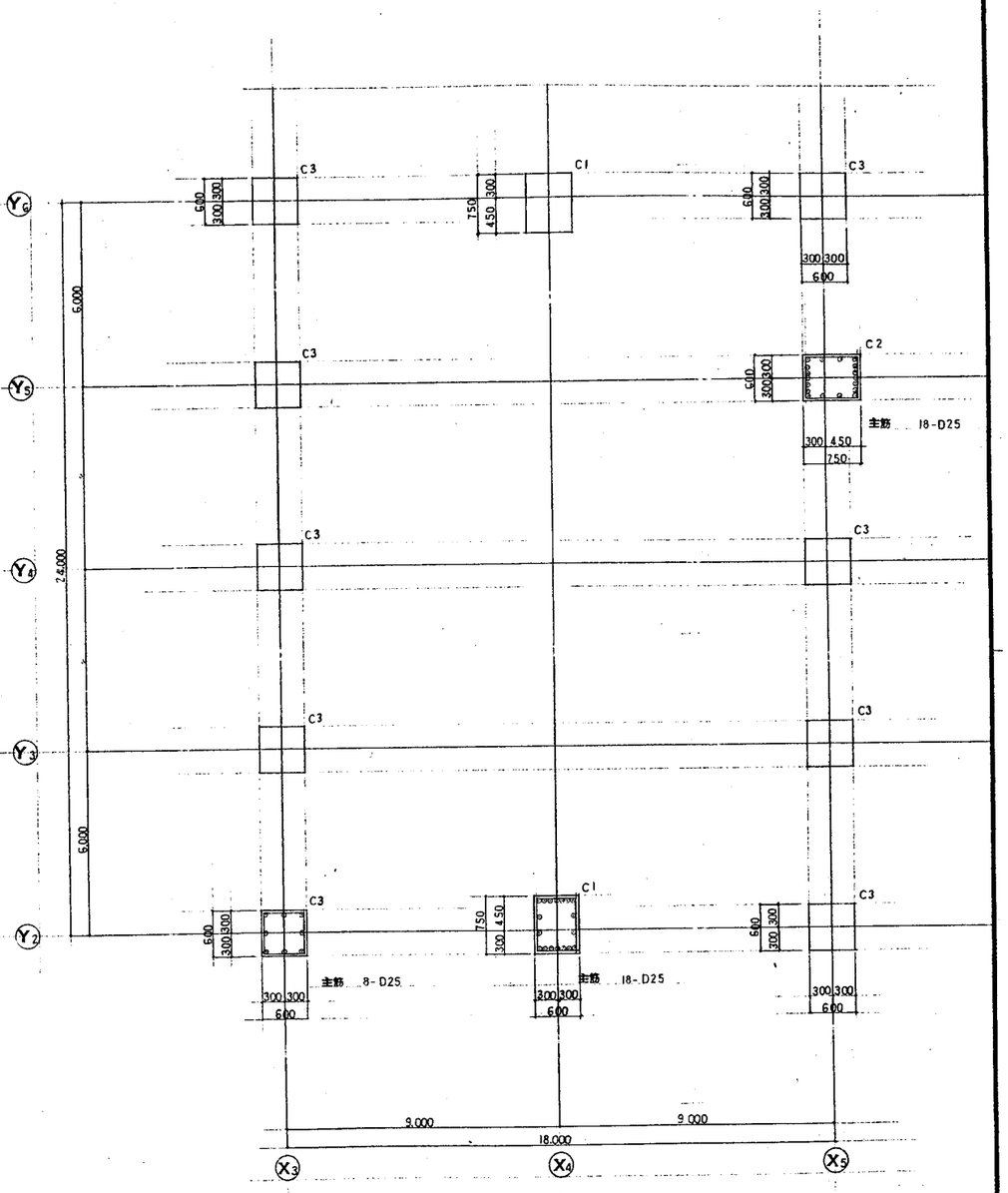
1 階 柱 断面 リスト 1:100 1:40

三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

三滝町公民館新築工事	4.7	34033
1 階 柱 断面 リスト	1:100 1:40	2007



2 階柱断面リスト 1:100 1:40



3 階柱断面リスト 1:100 1:40

注記
特記なき限り下記による (2・3階共通)
HOOP □-D13@100
パネル部分 □-D13@150

三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

施工	三井住友建設 / 三井住友建設	三潴町公民館新築工事	4.7	34033
		2・3階柱断面リスト	1:100 1:40	2008

梁断面リスト

注記 巾止メ筋 D10 @ 1,000

R階

名称	G1		G2		CG1	
部材寸法	400 x 800		600 x 600		450 x 800	
位置	両端部	中央部	全断面		固定端	放端
断面						
上端筋	3-D25	3-D25	3-D25		5-D25	3-D25
下端筋	3-D25	3-D25	3-D25		3-D25	3-D25
腹筋	2-D10		4-D19		2-D10	
スターラップ	□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200	

3階

名称	G1		G2		G3		G4		CG1	CG2	
部材寸法	400 x 800		450 x 900		350 x 700		350 x 700		300 x 550	450 x 800	
位置	両端部	中央部	両端部	中央部	両端部	中央部	両端部	中央部	全断面	固定端	放端
断面											
上端筋	3-D25	3-D25	5-D25	3-D25	3-D25	2-D25	3-D25	2-D25	3-D25	6-D25	3-D25
下端筋	3-D25	3-D25	3-D25	5-D25	2-D25	3-D25	3-D25	2-D25	2-D25	4-D25	3-D25
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10			2-D10	
スターラップ	□-D13@200		□-D13@200		□-D10@200		□-D10@200		□-D10@200	□-D13@200	

2階

名称	G1		G2		G3		G4			G5		G6			G7		G8		G9	
部材寸法	450x 850		450x850		450 x 900		450 x 850			400 x 850		400 x 750			400 x 750		400 x 750		400 x 750	
位置	両端部	中央部	両端部	中央部	両端部	中央部	X4・X6端部	中央部	X5 端部	両端部	中央部	X2 端部	中央部	X3 端部	両端部	中央部	両端部	中央部	両端部	中央部
断面																				
上端筋	6-D25	3-D25	5-D25	3-D25	6-D25	4-D25	6-D25	3-D25	8-D25	4-D25	2-D25	3-D25	3-D25	5-D25	5-D25	2-D25	3-D25	2-D25	3-D25	2-D25
下端筋	5-D25	5-D25	3-D25	4-D25	4-D25	6-D25	5-D25	5-D25	6-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	2-D25	3-D25	3-D25	2-D25
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10			2-D10		2-D10			2-D10		2-D10		2-D10	
スターラップ	□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200			□-D10@150		□-D10@150			□-D10@175		□-D10@175		□-D10@175	

名称	G10			G11		G12		G13		G14		G15		CG1	
部材寸法	450 x 850			400x 750		400 x 800		350x650		300 x 600		300 x 600		350 x 700	
位置	X5 端部	中央部	X6 端部	Y1・Y3端部	中央部	Y2 端部	両端部	中央部	全断面	全断面		全断面		全断面	
断面										D13 / D13 / 600					
上端筋	8-D25	4-D25	6-D25	3-D25	3-D25	6-D25	5-D25	3-D25	3-D25	3-D19		3-D19		5-D22	
下端筋	8-D25	6-D25	4-D25	2-D25	3-D25	4-D25	3-D25	4-D25	3-D25	3-D19		3-D19		3-D22	
腹筋	2-D10			2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	
スターラップ	□-D13@200			□-D13@200		□-D13@200		□-D10@200		□-D10@200		□-D10@200		□-D10@200	

1階

名称	FG1		FG2		FG3		FG4		FCG1	FCG2
部材寸法	400 x 950		400 x 850		350 x 700		350 x 850		400 x 800	600 x 700
位置	両端部	中央部	両端部	中央部	両端部	中央部	両端部	中央部	全断面	全断面
断面										
上端筋	4-D25	3-D25	3-D25	2-D25	3-D22	2-D22	3-D22	3-D22	4-D22	5-D22
下端筋	4-D25	3-D25	3-D25	2-D25	3-D22	2-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22
腹筋	4-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	2-D10
スターラップ	□-D10@150		□-D10@150		□-D10@200		□-D10@200		□-D13@200	□-D13@200

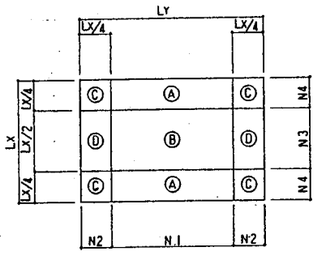
日梁

名称	B1			B2		B3		B4			B5		B6		B7	FB1		FB2
部材寸法	300 x 600			300 x 600		300 x 600		350 x 650			350 x 650		400 x 700		300 x 500	350 x 750		300 x 600
位置	外端部	中央部	内端部	両端部	中央部	両端部	中央部	外端部	中央部	内端部	両端部	中央部	両端部	中央部	全断面	両端部	中央部	全断面
断面																		
上端筋	3-D19	2-D19	4-D19	4-D19	2-D19	3-D19	2-D19	3-D19	2-D19	5-D19	3-D19	2-D19	3-D22	3-D22	3-D19	3-D22	3-D22	3-D19
下端筋	2-D19	3-D19	2-D19	2-D19	3-D19	2-D19	4-D19	2-D19	4-D19	5-D19	2-D19	5-D19	2-D22	5-D22	3-D19	2-D22	5-D22	3-D19
腹筋	2-D10			2-D10		2-D10		2-D10			2-D10		2-D10			2-D10		2-D10
スターラップ	□-D10@200			□-D10@200		□-D10@200		□-D10@200			□-D10@200		□-D10@200		□-D10@200	□-D10@200		□-D10@200

スラブリスト

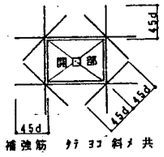
名称	厚	位置	短辺方向 中央部 N1 端部Ⓐ	短辺方向 中央部 N1 中央部Ⓑ	短辺方向 両端部 N2 全域ⓒⓓ	長辺方向 中央部 N3 端部Ⓓ	長辺方向 中央部 N3 中央部Ⓑ	長辺方向 両端部 N4 全域ⒶⒸ	備考
		上端筋	D10@200		D10@200	D10@200		D10@200	
		下端筋	D10@400	D10@200	D10@200	D10@400	D10@200	D10@200	
S1	130	上端筋	D13D10@200	D13 @400	D10@200	D10@200	D10@400	D10@200	
		下端筋	D10@400	D10@200	D10@200	D10@400	D10@200	D10@200	
S2	150	上端筋	D13D10@200		D10@200	D10@200		D10@200	
		下端筋	D10@400	D10@200	D10@200	D10@400	D10@200	D10@200	
		上端筋	D13 @200		D10@200	D13D10@200		D10@200	
		下端筋	D10@400	D13D10@200	D10@200	D10@400	D10@200	D10@200	
S3	130	上端筋	D10@200	D10@200	ダブル	D10@200	D10@200	ダブル	
		下端筋	D10@200	D10@200		D10@200	D10@200		
S4	150	上端筋	D13D10@200	D13D10@200	ダブル	D10@200	D10@200	ダブル	便所
		下端筋	D13D10@200	D13D10@200		D10@200	D10@200		
		上端筋	D13D10@200	D13D10@200	ダブル	D13D10@200	D13D10@200	ダブル	
		下端筋	D13D10@200	D13D10@200		D13D10@200	D13D10@200		
		上端筋	D13 @200	D13 @200	ダブル	D13D10@200	D13D10@200	ダブル	
		下端筋	D13 @200	D13 @200		D13D10@200	D13D10@200		
		上端筋	D13D10@200	D13D10@200	ダブル	D10@200	D10@200	ダブル	
		下端筋	D13D10@200	D13D10@200		D10@200	D10@200		
		上端筋	D13D10@200	D13D10@200	ダブル	D13D10@200	D13D10@200	ダブル	
		下端筋	D13D10@200	D13D10@200		D13D10@200	D13D10@200		
		上端筋	D13 @200	D13 @200	ダブル	D13D10@200	D13D10@200	ダブル	
		下端筋	D13 @200	D13 @200		D13D10@200	D13D10@200		

スラブ配筋要領図



開口部補強要領図

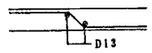
1) 開口部 600以下



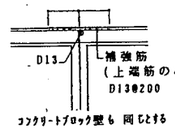
補強筋 タテ ヨコ 斜メ 共
上下各1-D13とする

2) 開口部 600以上
係員の指示による

スラブ折曲げ部補強図



スラブ壁取合部配筋図

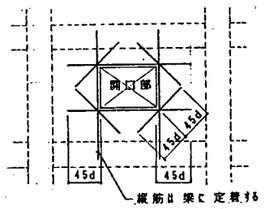


壁リスト

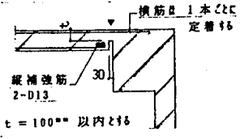
注記 巾止メ筋 D10 @ 1,000

名称		KEW18・KW18	EW18・W18	EW15	W15	W12
厚		180	180	150	150	120
断面						
主筋	縦筋	D13@200 ダブル	D10@200 ダブル	D10@200 ダブル	D10@200 ダブルテガリ	D10@200 シングル
	横筋	D10@200 ダブル	D10@200 ダブル	D10@200 ダブル	D10@200 ダブルテガリ	D10@200 シングル
開口部補強筋	縦筋	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	1-D13
	横筋	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	1-D13
	斜筋	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	1-D13
名称			CB12	W25		
厚		150	120	250		
断面						
主筋	縦筋	D10@400 シングル	D10@400 シングル	D13@200 ダブル		
	横筋	D10@400 シングル	D10@400 シングル	D13@200 ダブル		
開口部補強筋	縦筋	1-D13	1-D13	2-D16		
	横筋	1-D13	1-D13	2-D16		
	斜筋			2-D16		

開口部補強筋

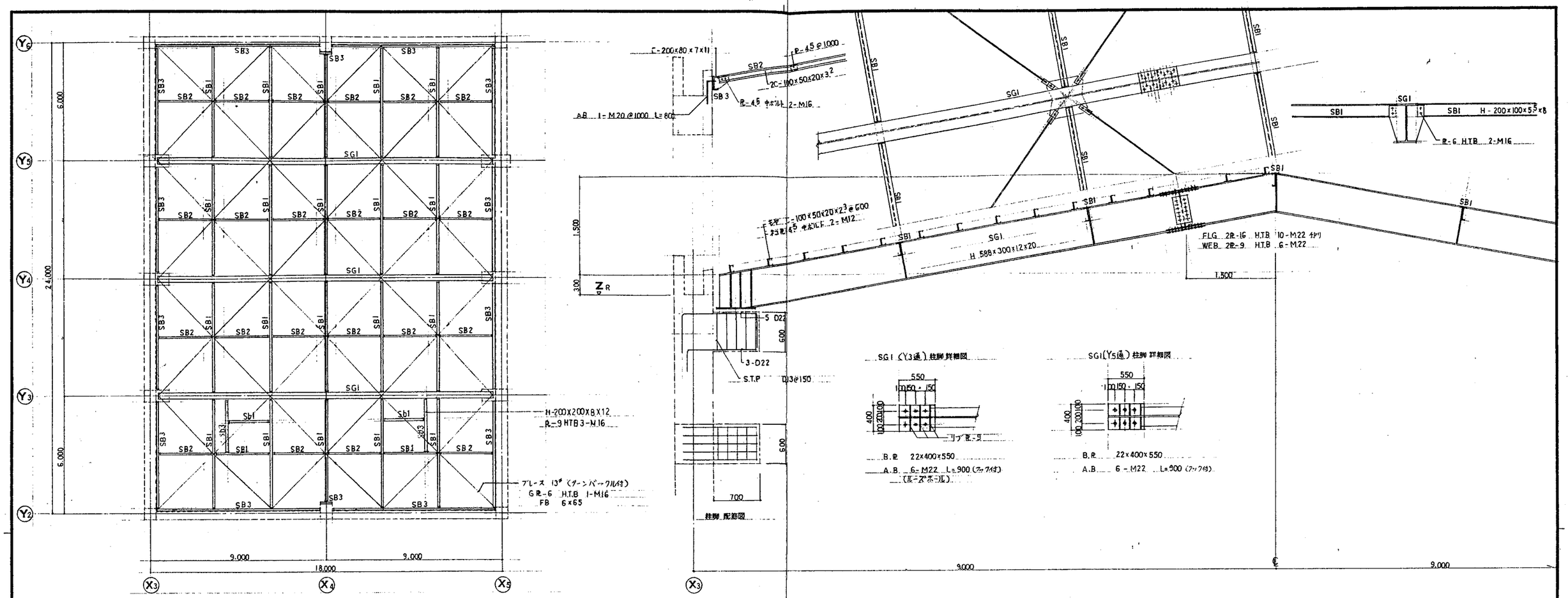


耐震スリット施工要領図



三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

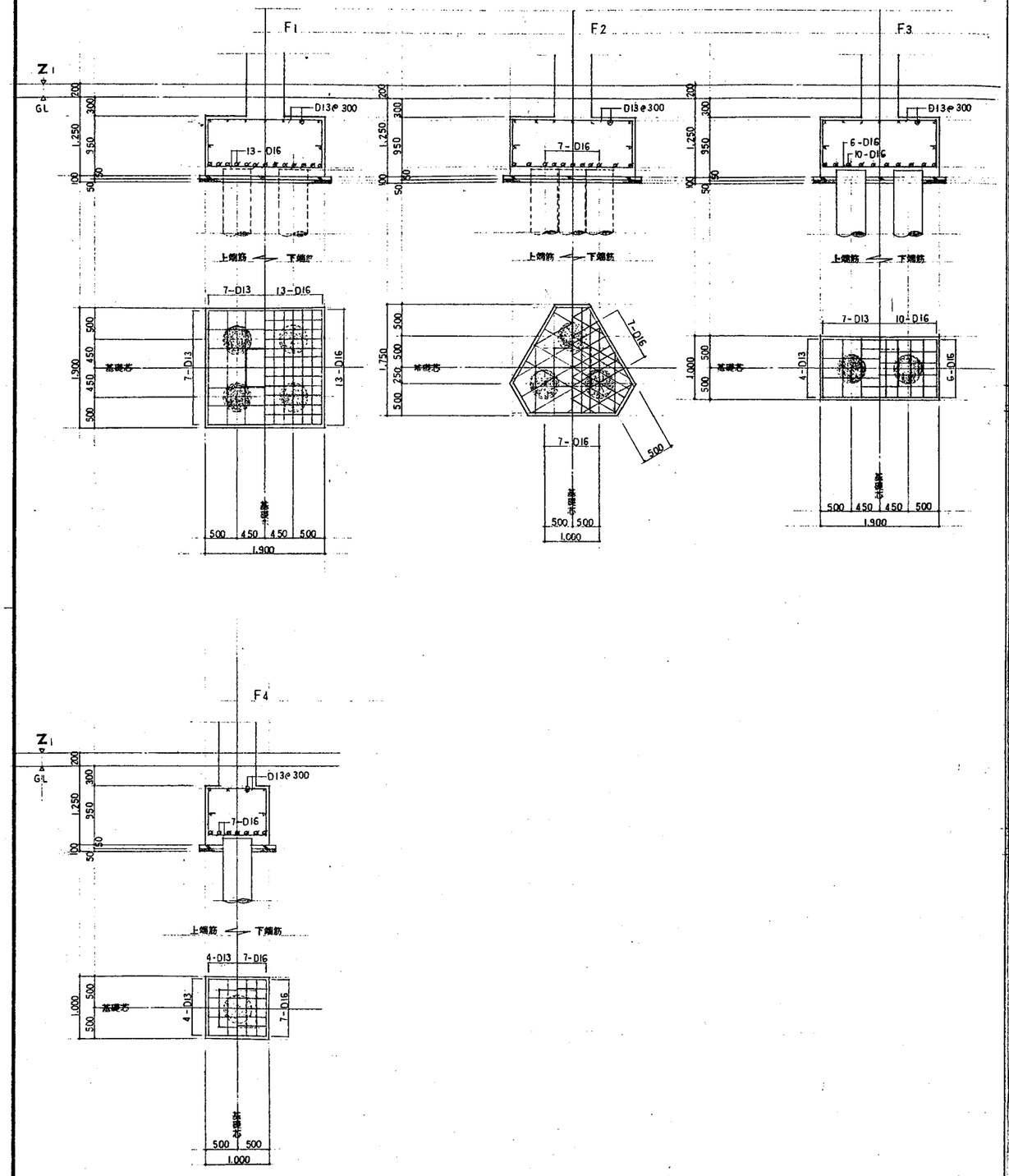
竣工	三潴町公民館新築工事	4.7	34033
	梁・スラブ・壁リスト		2009



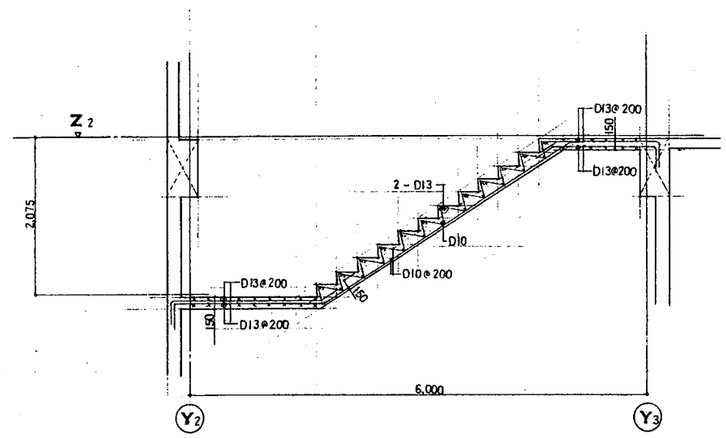
三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

三浦町公民館新築工事	4.7	34033
鉄骨 小屋 伏図・詳細図	1:100 1:30	2010

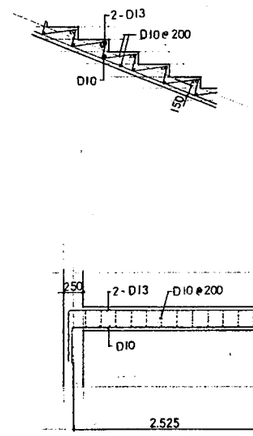
基礎 配筋図 1:40



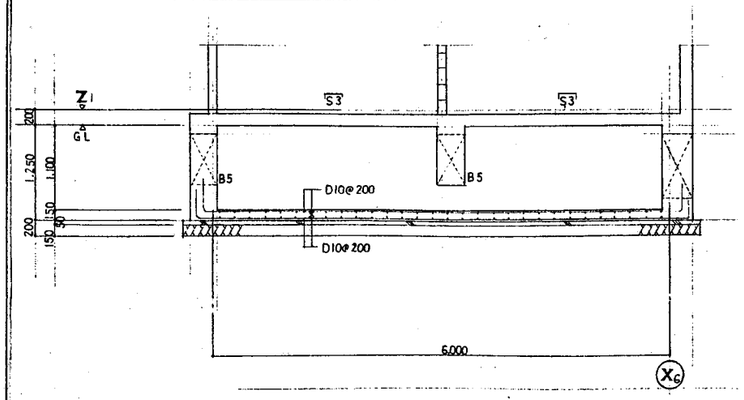
配筋図 1:40



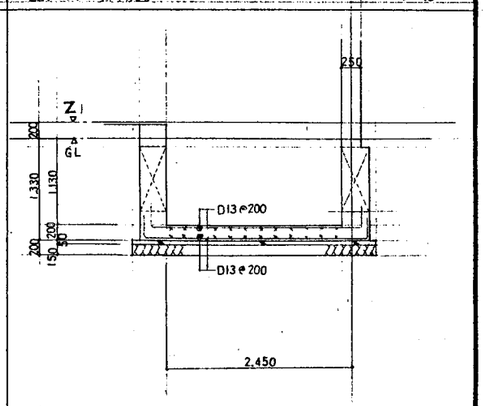
配筋図 1:40



便所 ピット 配筋図 1:40



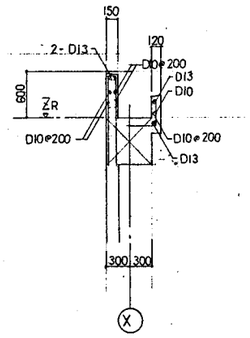
ELV ピット 配筋図 1:40



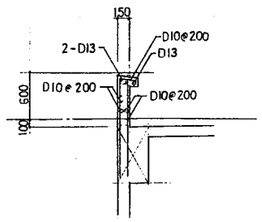
三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

峻工	三浦町公民館新築工事	4.7	27033
	基礎・雑 配筋図	1:40	2011

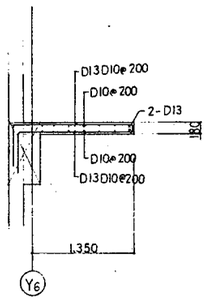
パラペット 配筋図 1:40



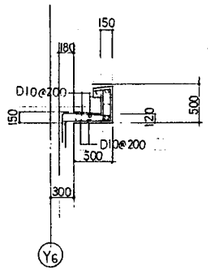
パラペット 配筋図 1:40



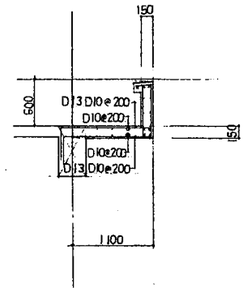
CS1 配筋図 1:40



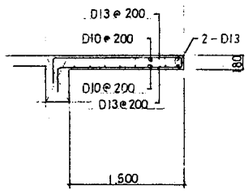
CS2 配筋図 1:40



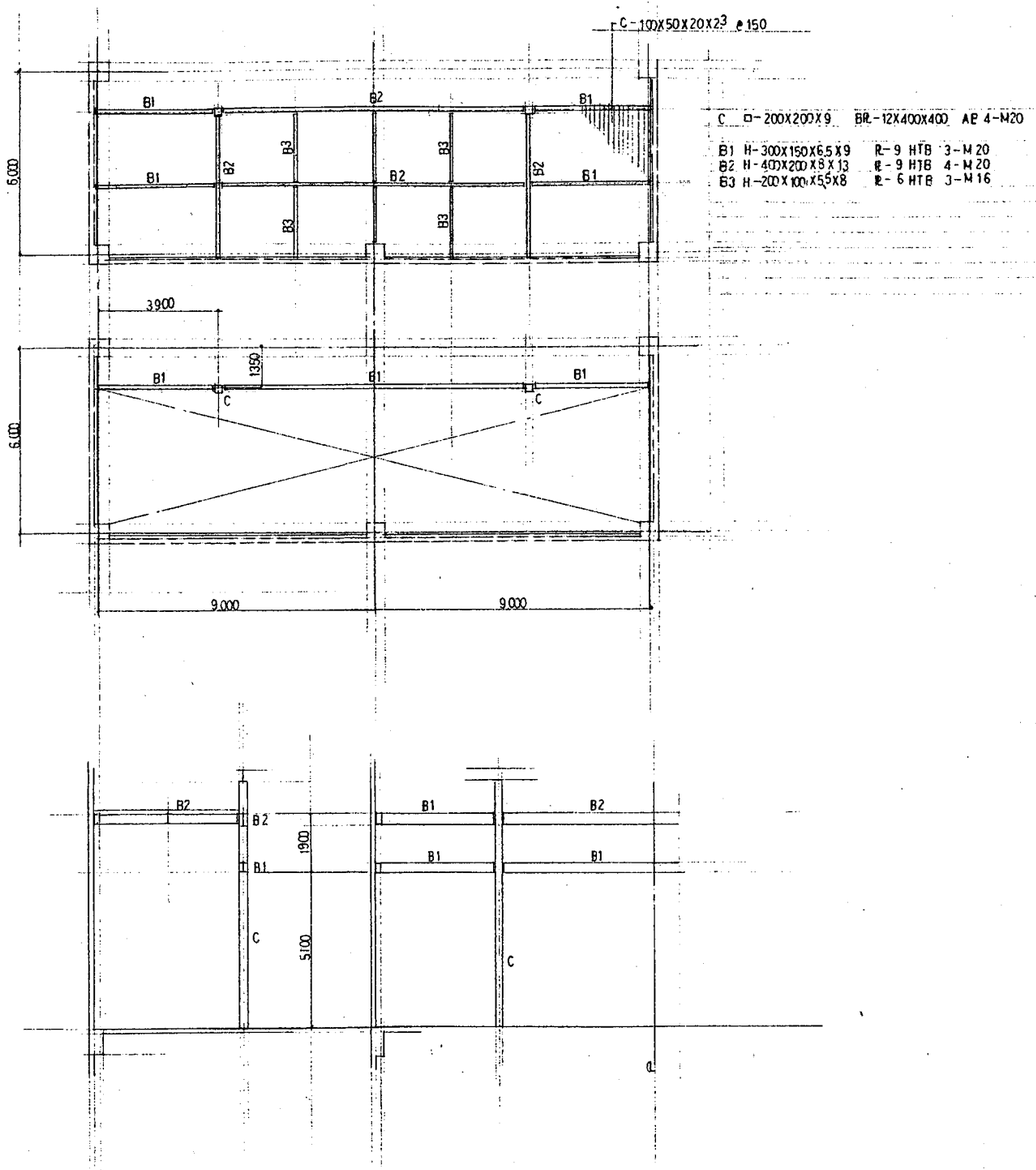
CS3 配筋図 1:40



CS4 配筋図 1:40

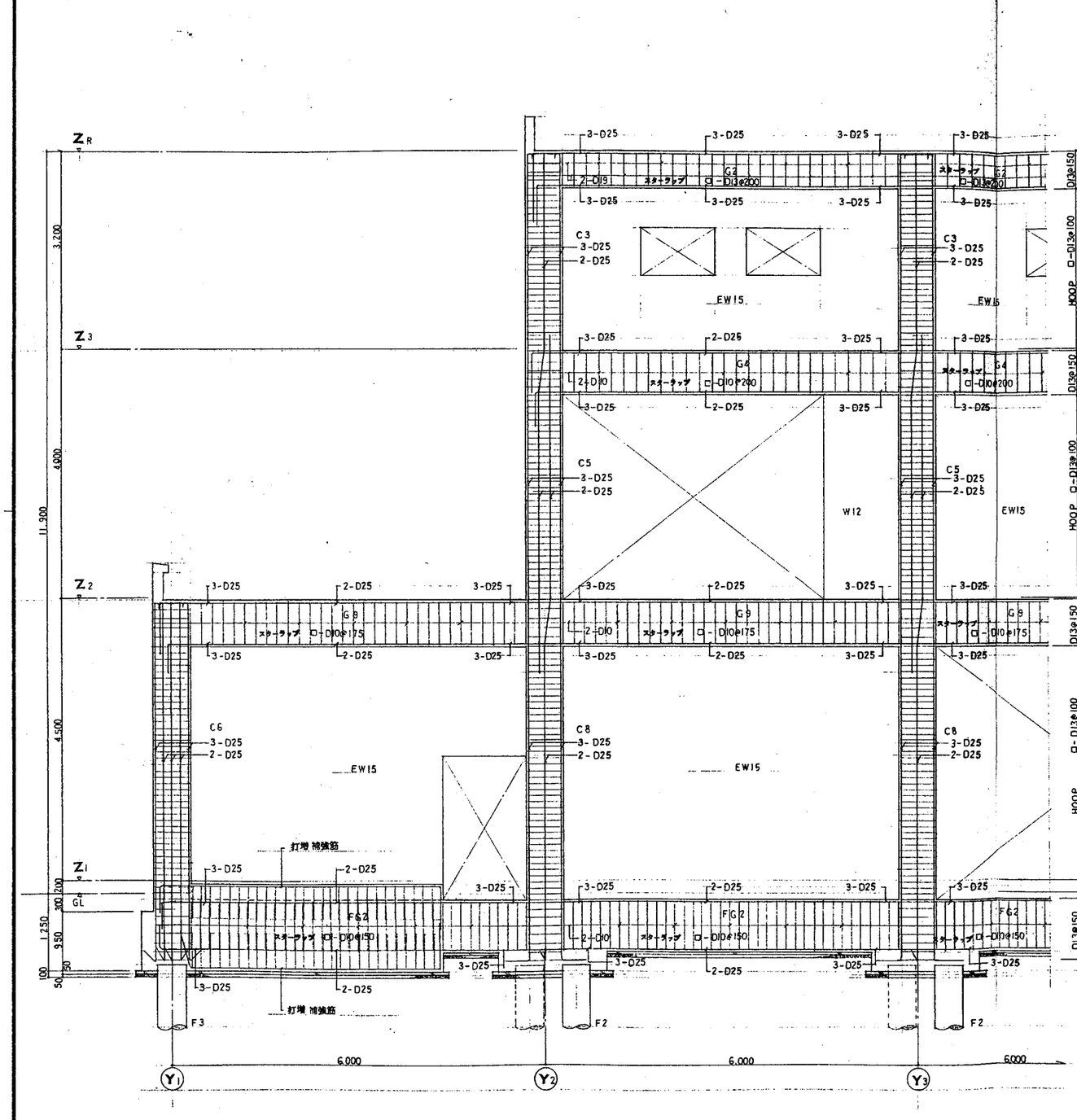


ステージ廻り

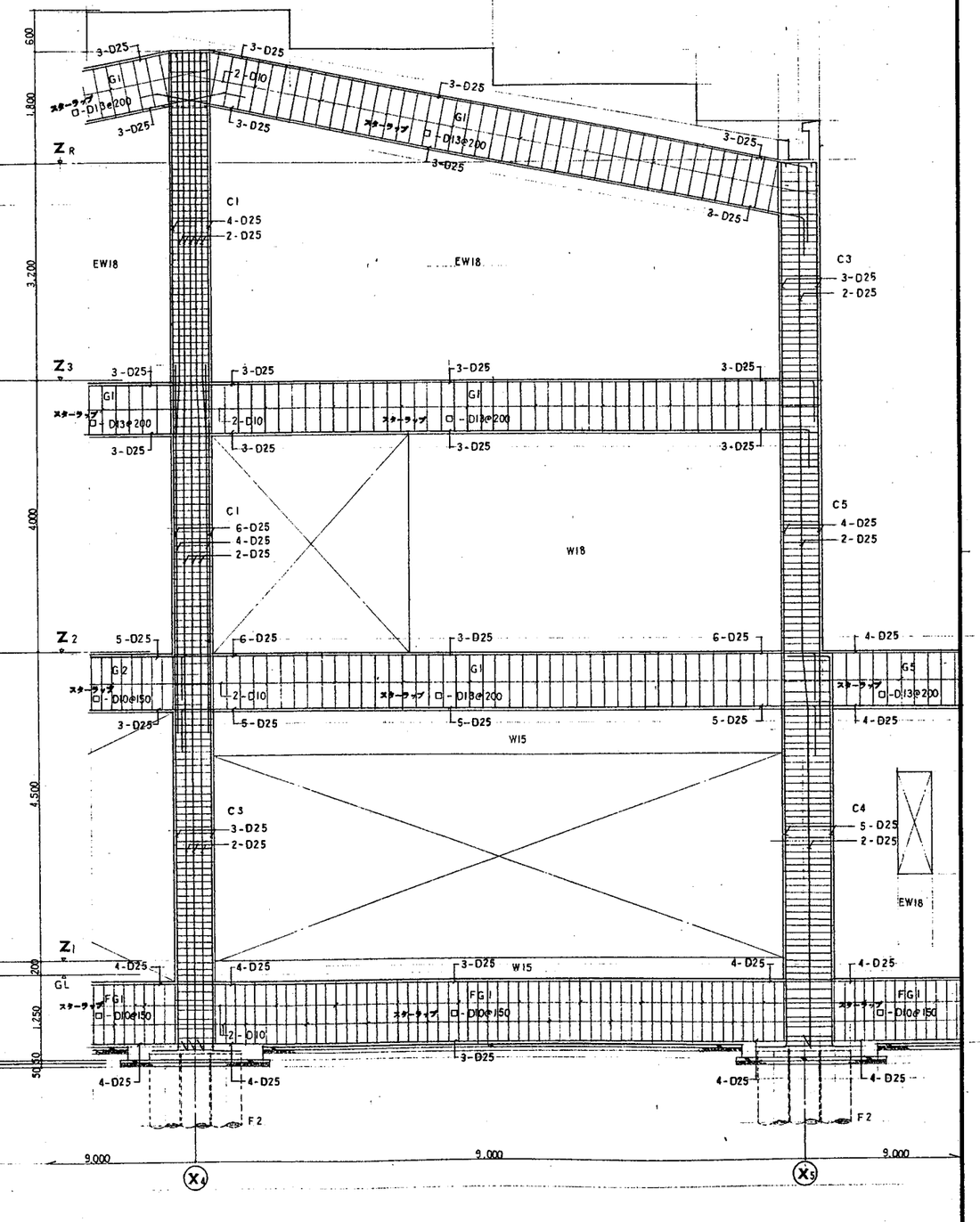


三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

設工	三浦町公民館新築工事	4.7	34033
	雑 配筋図	1:40	2012



X3 通架構配筋図 1:40

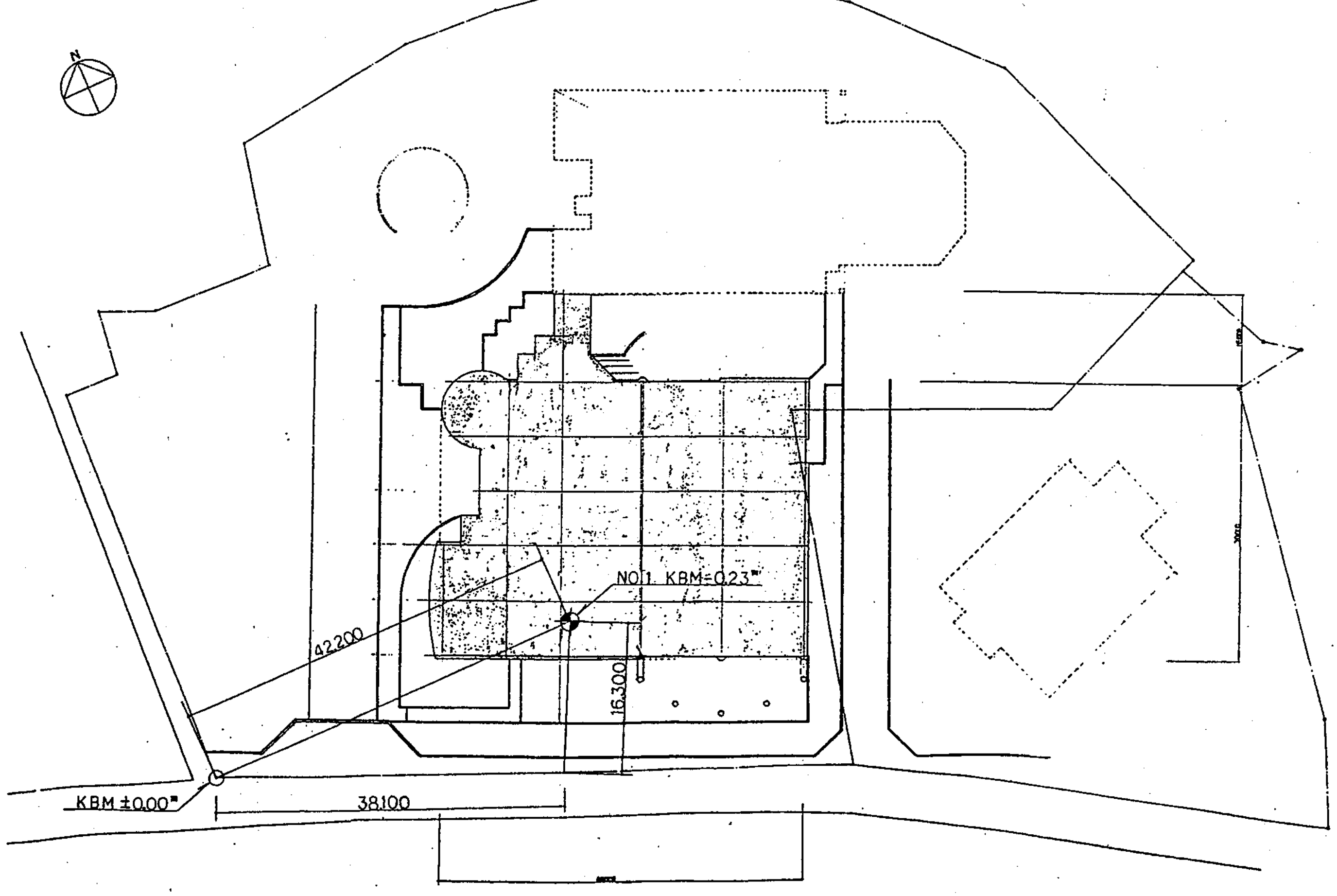


Y6 通架構配筋図 1:40

三島設計事務所
MISHIMA ARCHITECTS OFFICE

竣工図	三瀦町公民館新築工事	4.7	34033
	架構配筋図	1:40	2013

調査位置図
S＝1：400



ボーリング柱状図

調査名 三潴町公民館新築工事地質調査

事業・工事名

ボーリングNo　　シートNo

ボーリング名	NO.1	調査位置	福岡県三潴郡三潴町	北緯	
発注機関	三潴町教育委員会	調査期間	平成4年5月18日～平成4年5月20日	東経	
調査業者名	株式会社 三島設計事務所 電話（ ）	主任技師		現場代理人	
コア鑑定者	広松康伸	ボーリング責任者	古川哲也		
孔口標高	KBM −0.23 m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南
地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種 試錐機	YSO−1型	ハンマー落下用具	マニラロープ
総掘進長	m	エンジン	NS−75型	ポンプ	V6−S

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
−1.03	0.80	0.80	砂混り盛土	茶褐			表部25cmはアスファルトと砕石. 茶灰色のローム状表土
−3.98	2.95	3.75	火山灰質砂	淡褐灰	極ゆるい		火山灰砂の二次堆積物. 軽石(浮石)を少量点在. 砂の粒径は不均一. 中砂分主体 含水中～多い.
−5.23	1.25	5.00	砂質シルト	淡黄灰		軟い	砂質系シルトで粘性低い. 含水中位～やや少い. ややかたく凝灰質.
−6.93	1.70	6.70	礫混り砂	暗灰褐	中位		含水多い. φ5mm以下の小礫混入. 中砂主体. 粒径不均一.
−8.98	2.05	8.75	砂質シルト	淡黄灰		中位	φ5mm以下の小礫点在 含水中～少い. 粘性中位. かたいシルトで凝灰質.
−9.98	1.00	9.75	シルト質砂	黄灰	ゆるい		含水多い. 砂は細～中砂.
−11.73	1.75	11.50	砂質シルト	淡黄褐		中位	含水中～少い. 粘性中位. かたいシルト
−12.98	1.25	12.75	シルト混り砂	暗黄灰	中位		火山灰質の細砂主体. 含水少い. 砂の粒径均一で細粒.
−15.73	2.75	15.50	砂質シルト	淡灰～淡灰褐		かたい	パミスの小礫を若干混じる. 含水中～やや少い. 砂質系のシルトで粘性は中位～低い. 下部砂分多い.
−16.53	0.80	16.30	砂	褐灰	中位		含水多い. 粗砂を主体の火山灰質砂.
−22.53	6.00	22.30	火山灰質砂	淡灰～灰褐	密～中位～密		含水中～少い. 全体にパミス含む. 砂は細粒砂で粒径やや均一. 全体にシルト質砂状.
−25.58	3.05	25.35	砂礫	黄灰～暗灰	極密		亜円レキ～亜角レキで礫径φ2～15mm主体. 最大礫径は25mm程度 砂は粗～中砂主体. 含水多い.
−26.63	1.05	26.40	細砂	暗黄灰	中位		粒径不均一 含水やや少く凝灰質.
−29.13	2.50	28.90	固結シルト	淡黄灰～淡緑黄灰		かたい	上部は砂分多い. 半固結状で凝灰質の硬いシルト 所々短柱状にコア化する. 含水少い.
−30.23	1.10	30.00	礫混りシルト質砂	淡褐灰	中位		亜角～亜円礫で径15mm以下の礫混入. 砂は細砂主体. 全体に凝灰質で含水少い.

孔内水位(m)／測定月日：▽ 1.73

標準貫入試験

深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)
1.15～1.45	3	3	3	9
2.15～2.45	1	1	1	3
3.15～3.45	1/15		1/11	2
4.15～4.45	1	2	2	5
5.15～5.45	7	7	7	21
6.15～6.45	4	4	5	13
7.15～7.45	2	3	2	7
8.15～8.45	3	3	3	9
9.15～9.45	2	2	2	6
10.15～10.45	2	2	2	6
11.15～11.45	2	2	2	6
12.15～12.45	4	5	7	16
13.15～13.45	4	4	4	12
14.15～14.45	2	2	2	6
15.15～15.45	2	3	3	8
16.15～16.45	3	5	7	15
17.15～17.45	7	11	14	32
18.15～18.45	7	10	10	27
19.15～19.45	10	11	12	33
20.15～20.45	6	6	8	20
21.15～21.45	14	16	17	47
22.15～22.45	7	12	20	39
23.15～23.45	19	24	20	63
24.15～24.45	16	17	20	53
25.15～25.45	13	7	5	25
26.15～26.45	4	5	8	17
27.15～27.45	3	5	8	16
28.15～28.45	4	5	8	17
29.15～29.45	4	7	8	19
30.15～30.45	7	8	9	24

N値 —○—

原位置試験（深度、試験名および結果）　試料採取（深度、試料番号、採取方法）　室内試験　掘進月日：5/18、5/19、5/20

三島設計事務所 MISHIMA ARCHITECTS OFFICE	竣工	三潴町公民館新築工事	4.7 / 34033
		地質調査配置図・柱状図	2014